

2024 年度

事業報告及び財務諸表

自 2024 年 4月 1日
至 2025 年 3月31日

2024 年度事業報告書

目次

I	法人の概況	1
II	総括	4
III	会務の概況	7
IV	事業本部事業報告	10
	事業推進本部	10
	交流推進本部	21
	人材育成事業本部	26
	技術本部	35
	ET事業本部	94
	プラグフェスト実行委員会	97
V	支部事業報告	99
	北海道支部	99
	東北支部	101
	関東支部	103
	中部支部	107
	北陸支部	109
	近畿支部	110
	九州支部	116
VI	事業報告の附属明細書	119
	2024 年度財務諸表	120

I 法人の概況

1. 設立年月日 昭和 61 年 8 月 7 日(1986 年 8 月 7 日)

2. 定款に定める目的

本会は、組込みシステム(組込みソフトウェアを含めた組込みシステム技術をいう。以下同じ。)における応用技術に関する調査研究、標準化の推進、普及及び啓発等を行うことにより、組込みシステム技術の高度化及び効率化を図り、もって我が国の産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 組込みシステム応用技術に関する品質、生産性、信頼性、セキュリティ等に関する技術開発及び標準化の推進
- (2) 組込みシステム技術に関する人材育成、地域振興及び国際交流の推進
- (3) 組込みシステムに係る技術・環境・経営及び貿易・投資に関する調査研究並びに情報の提供
- (4) 組込みシステム技術などに関する内外関係機関との情報交流及び連携の推進
- (5) 組込みシステム応用技術の普及啓発
- (6) 本会の会員に対する福利厚生に関する事業の推進
- (7) その他本会の目的を達成するために必要な事業

4. 日本標準産業分類

G3912 組込みソフトウェア業

5. 会員の状況

2025 年 3 月 31 日現在

	当期末	前期末	前期末増減
正 会 員	131	130	+1
支部会員	17	16	+1
学会会員	4	4	0
個人会員	9	9	0
賛助会員	28	29	-1
合 計	189	188	+1

6. 主たる事務所、支部の状況

(主たる事務所) 東京都中央区入船 1-5-11 弘報ビル 5 階

(支部)

北海道支部 北海道札幌市中央区北 1 条東 2 丁目 5-6 HIS 北 1 条ビル
HIS ホールディングス(株) 内

東北支部 岩手県盛岡市上堂 3 丁目 8-44 (株)イーアールアイ 内

関東支部 東京都中央区入船 1-5-11 弘報ビル 5 階

中部支部 愛知県名古屋市東区東桜 2-2-1 高岳パークビル
萩原電気ホールディングス(株) 内

北陸支部 福井県福井市問屋町 3-111 (社)アフレル 内

近畿支部 大阪府大阪市淀川区宮原 4-1-4KDX 新大阪ビル (株)Bee 内

九州支部 福岡県福岡市中央区天神 2-13-7 福岡平和ビル 4 階

7. 役員に関する事項

別紙のとおり

8. 職員に関する事項

2025 年 3 月 31 日現在

職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
4 名	0 名	51.25 歳	16.25 年

9. 許認可に関する事項

特になし

<別紙>

一般社団法人 組込みシステム技術協会 役員・顧問
(2025 年 3 月 31 日現在)

(役職)	(支部)	(氏 名)	(常勤・非常勤)	(会社名等)
会長	近畿	竹内 嘉一	非常勤	住友電工システムソリューション(株)
副会長	関東	渡辺 博之	非常勤	(株)エクスマーシオン
副会長	関東	佐野 勝大	非常勤	サイバートラスト(株)
専務理事	(員外)	武部 桂史	常勤	(一社)組込みシステム技術協会
理事	北海道	森 操	非常勤	HIS ホールディングス(株)
理事	東北	水野 節郎	非常勤	(株)イーアールアイ
理事	関東	秋山 員利	非常勤	(株)パトリオット
理事	関東	岩永 智之	非常勤	グローバルイノベーションコンサルティング(株)
理事	関東	鴨林 英雄	非常勤	(株)DTS インサイト
理事	関東	國井 雄介	非常勤	(株)クレスコ
理事	関東	坂上 真市	非常勤	日本システム開発(株)
理事	関東	佐々木 道夫	非常勤	(株)CIC
理事	関東	砂田 裕一	非常勤	JRC エンジニアリング(株)
理事	関東	竹岡 尚三	非常勤	(株)アックス
理事	関東	中村 憲一	非常勤	アップウインドテクノロジー・インコーポレイテッド
理事	関東	額賀 敏明	非常勤	(株)コア
理事	関東	原田 篤	非常勤	(株)ビッツ
理事	関東	廣田 豊	非常勤	TDI プロダクトソリューション(株)
理事	関東	ファン・マヌエル・エステベス	非常勤	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)
理事	関東	福重 一彦	非常勤	(株)メタテクノ
理事	中部	青木 義彦	非常勤	(株)サンテック
理事	中部	伊藤 秀和	非常勤	東海ソフト(株)
理事	中部	渡邊 泰治	非常勤	(株)バッファロー
理事	北陸	小林 靖英	非常勤	(株)アフレル
理事	北陸	新海 章	非常勤	(株)インテック
理事	近畿	安藤 亘	非常勤	イーエルシステム(株)
理事	近畿	勝見 哲也	非常勤	(株)Communication Technologies Inc.
理事	近畿	塩路 直大	非常勤	(株)Bee
理事	近畿	杉本 浩	非常勤	スキルシステムズ(株)
理事	九州	柳井 智雄	非常勤	柳井電機工業(株)
理事	(員外)	奥村 哲彦	常勤	(一社)組込みシステム技術協会
理事	(員外)	角口 勝彦	非常勤	(地独)東京都立産業技術研究センター
理事	(員外)	清水 徹	非常勤	東洋大学
理事	(員外)	大和 靖博	非常勤	
理事	(員外)	横田 英史	非常勤	ET ラボ
監事	関東	塚田 英貴	非常勤	(株)エヌデーデー
監事	(員外)	小森谷 豊	非常勤	(税)レインボー
名誉顧問	関東	種村 良平	非常勤	(株)コア
顧問	中部	松尾 隆徳	非常勤	東洋電機(株)
顧問	関東	築田 稔	非常勤	
顧問	関東	長谷川 恵三	非常勤	CIC ホールディングス(株)

理事：35 人（内訳：会長 1 人、副会長 2 人、専務理事 1 人、理事 31 人）
監事：2 人 顧問：4 人

Ⅱ 総括

2024年度は第1中期計画（2022年度3ヶ年計画）の最終年度となります。施策1～6で構成されており、重点実施項目は積み残しと課題が残っているものの、おおむね達成された評価になっております。積み残しと課題については第2中期計画に踏襲し引き続き解決していきます。

EdgeTech+2024West（グランフロント大阪）は予定通りの開催ができました。また、EdgeTech+2024（パシフィコ横浜）では来場者数は昨年度並みでしたが、売上は昨年度比115%となり順調に推移しています。

各本部の委員会、支部活動も活発に行われ十分成果のあった1年となり、第2中期計画に繋げることのできる下地は出来たと評価しています。

以下に2024年度の事業本部活動内容を抜粋して報告します。

事業推進本部

各支部会に参加し、本部支部の連携強化と情報共有を行った。

JASA ビジョン 2030 第1中期計画（2022年度3ヶ年計画）の3年目の推進と総括を行った。

他団体との連携として一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）様と勉強会を開催した。

広報委員会

協会機関誌（BulletinJASA）の発行を行った。

政策提案委員会

経産省情報産業課との定例会を開催し、IPA様との意見交換会を行った。

経営者サミット委員会

トップリーダー倶楽部をEdgeTech+展（大阪、横浜）に合わせて2回開催した。

交流推進本部

国際交流委員会

台湾視察を行った。EdgeTech+2024での「JASA グローバルフォーラム」の開催、海外人財採用セミナーの実施、一般財団法人国際情報化協力センター（CICC）様との情報交換を行った。

ビジネス交流委員会

北海道地域交流セミナー、東北地域交流セミナー（後援者の派遣）、九州地域交流セミナー、中国地域交流セミナー（広島）を開催した。

人財交流委員会

管理者・幹部候補育成（セミナー4回、報告会2回）を開催した。新卒求人活動支援（交流祭典）は関東、近畿で開催した。業界研究セミナーはWebinarで開催し

た。

人材育成事業本部

ETEC 事業推進委員会

ETEC 試験事業（クラス 1、2）を例年通り実施した。

教育研修コンテンツ事業推進委員会

有料セミナーは新規を 3 講座、オンデマンドを 5 講座行った。

寄附講座事業（海外人材インターンシップ事業）は受け入れ企業 2 社、インターンシップ生 4 名で実施した。

ET 技術者教育委員会

ET ロボコン 2024 は 198 チームの参加があった。

JASA イノベーションチャレンジ実行委員会

仮説検証ブートキャンプ 2024 は 17 社 59 名の参加があった。

技術本部

各委員会の 2023 年度の成果を成果発表会として発表した。

EdgeTech+West2024（大阪）、EdgeTech+2024（横浜）で JASA 技術本部セミナーを行った。

安全性向上委員会

有料セミナー（安全設計セミナー）を開催した。

組込みシステムセキュリティ委員会

IPA 様より運用とメンテナンスを引き継いだ IoT セキュリティ教材の JASA 版の更新を行った。IoT セキュリティ国際安全基準適合の認証取得、対応認証事業のプレスリリースを実施し、オンラインセミナーコンテンツの素案の検討をおこなった。

コモングラウンド委員会

有識者を招いてコモングラウンド、デジタルツインの勉強会を行った。また福岡モノづくりフェア 2024 に出展した。

ドローン WG は、Toppers 箱庭 WG とドローンのシミュレータの利活用に関して共同研究を行った。

スマートライフ WG は、スマイルガチャのプロトタイプをアップデートし、EdgeTech+2024（横浜）で展示した。

応用技術調査委員会

OSS 活用 WG は、若年技術者教育としてハンズオンセミナーを実施した。LSI 開発用 OSS の利用促進のための調査を行った。

アジャイル研究 WG は、成果を EdgeTech+展で発表した。

AI 研究 WG は、AI に関連するトピックスを WG で情報共有し、Deep Learning の製品に組み込める技術者の育成を行った。

プラットフォーム構築委員会

OpenEL 活用 WG は、IoT DEP の連携と国際標準化作業を行っている。

組込み DevOps プラットフォーム WG は、組込み DevOps PF 仕様（2024 年度版）、

「組込み開発分野での生成 AI 活用」に関するドキュメントの作成を行った。
ハードウェア委員会

RISC-VWG は、JASA 会員向け RISC-V Webinar を 3 回開催した。JASA 会員が昨年度開発したボードに対して追試できる手順チュートリアル Web ページを日・英バイリンガルのコンテンツでリニューアル公開した。RISC-V 協会主催の RISC-V Day Tokyo 2024 Summer に成果のデモ機を展示した。

ET 事業本部

EdgeTech+West2024（グランフロント大阪、来場者数 5,885 名、出展社 125 社、カンファレンス 38 セッション、オンライン聴講者 3,434 名）、EdgeTech+2024（パシフィコ横浜、来場者数 32,427 名、出展社 343 社、カンファレンス 144、オンライン聴講者 18,851 名）を開催した。横浜では「オートモーティブ ソフトウェア エキスポ」が大盛況でした。

プラグフェストは、春は 13 社 45 名、秋は 20 社 45 名の参加で堅調であった。

各支部は支部会及び支部ごとのイベント、セミナー、国内外視察を行った。

Ⅲ 会務の概況

1. 総会

社員総会(第38回)2024年6月7日(木) 大手町サンケイプラザにて以下に示す議案が諮られ、承認可決された。

<決議事項>

- 〔第1号議案〕 2023年度事業報告書(案) 承認の件
- 〔第2号議案〕 2023年度財務諸表(案) 承認の件
- 〔第3号議案〕 入会促進キャンペーンの延長承認の件

<報告事項>

- 〔報告事項1〕 2024年度事業計画及び収支予算について
- 〔報告事項2〕 支部の在り方について

2. 理事会

2024年5月21日から2025年3月13日にわたり、計5回の理事会を開催した。

➤ 第225回理事会

2024年5月21日(火) 於WEB会議

議事

- | | | |
|-------|---------------------|------|
| 第1号議案 | 2023年度事業報告書(案)の承認 | 【審議】 |
| 第2号議案 | 2023年度財務諸表(案)の承認 | 【審議】 |
| 第3号議案 | 理事及び理事会社への支払い状況について | 【審議】 |
| 第4号議案 | 会社役員賠償責任保険契約の承認依頼 | 【審議】 |
| 第5号議案 | 支部の在り方について・ | 【報告】 |
| 第6号議案 | 社員総会について | 【報告】 |
| 第7号議案 | 新入会員の承認について | 【審議】 |
| 第8号議案 | その他 | 【報告】 |
| | ・後援/協賛等受諾行事 | 【報告】 |
| | ・役員関連行事日程表 | 【報告】 |

➤ 第226回理事会

2024年6月7日(金) 大手町サンケイプラザ

議事

- | | | |
|-------|-------------------------|------|
| 第1号議案 | 新入会員企業の承認について | 【審議】 |
| 第2号議案 | イノベーション投資の促進に関する研究会について | 【報告】 |
| 第3号議案 | その他 | 【報告】 |
| | ・後援/協賛等受諾行事 | 【報告】 |
| | ・役員関連行事日程表 | 【報告】 |

➤ 第227回理事会

2024年9月11日(水) ANAクラウンプラザホテル福岡

- | | | |
|-------|--------|------|
| 第1号議案 | 事業本部報告 | 【報告】 |
| 第2号議案 | 支部報告 | 【報告】 |

第 3 号議案	新入会員の承認について	【審議】
第 4 号議案	就業規程、給与規程 改正について	【審議】
第 5 号議案	次期専務理事候補について	【審議】
第 6 号議案	その他	【報告】
	・ 後援、協賛等受諾の報告	
	・ 役員関連行事日程表	

➤ 第 228 回理事会

2024 年 12 月 24 日(木) WEB 会議

議事

第 1 号議案	各事業本部報告	【報告】
第 2 号議案	各支部活動報告	【報告】
第 3 号議案	上期予算遂行状況について	【報告】
第 4 号議案	第 1 中期計画(2022 年度 3 ヶ年計画)の実績報告(速報)	【報告】
第 5 号議案	2025 年度事業計画及び予算計画の作成のお願い	【報告】
第 6 号議案	賀詞交歓会について	【報告】
第 7 号議案	新入会員企業の承認	【審議】
第 8 号議案	その他	【報告】
	・ 後援、協賛等受諾の報告	
	・ 役員関連行事日程表	

➤ 第 229 回理事会

2025 年 3 月 13 日(木) WEB 会議

議事

第1号議案	2025 年度事業計画案(案)	【審議】
第 2 号議案	2025 年度予算(案)	【審議】
第 3 号議案	入会キャンペーンの延長について	【審議】
第 4 号議案	事業本部報告	【報告】
第 5 号議案	支部報告	【報告】
第 6 号議案	新入会員の承認について	【審議】
第 7 号議案	その他	【報告】
	・ 後援、協賛等受諾の報告	【報告】
	・ 役員関連行事日程表	【報告】

3. 会員の變動状況

前年度期末会員数は、188 であった。下記のとおり、期中において、入会が 12 あり、退会が 11 であったため、本年度期末会員数は189 社となった。

新入会員

1.	キーサイト・テクノロジー株式会社	(正会員/関東)
2.	株式会社イーエムエス	(正会員/東北)
3.	K-Best Technology 株式会社	(正会員/関東)
4.	株式会社 STELAQ	(正会員/関東)
5.	住友電工システムソリューション株式会社	(正会員/近畿)
6.	株式会社 NTT データ MSE	(正会員/関東)
7.	ビ・エモーション A.I.株式会社	(正会員/関東)
8.	株式会社 bubo	(正会員/近畿)
9.	株式会社 D・Ace 大阪支社	(支部会員/近畿)

- | | | |
|-----|------------------------------------|------------|
| 10. | 株式会社タダノ | (正会員/近畿) |
| 11. | 株式会社シー・エヌ・エス | (正会員/北海道) |
| 12. | デジタル・インフォメーション・テクノロジー株
式会社 函館分室 | (支部会員/北海道) |

退会会員

- | | | |
|-----|--------------------|-----------|
| 1. | BTC Japan 株式会社 | (正会員/関東) |
| 2. | 株式会社 OrbisBrain | (正会員/関東) |
| 3. | 株式会社ソフトム | (正会員/近畿) |
| 4. | 株式会社星光 | (正会員/近畿) |
| 5. | NextDrive 株式会社 | (正会員/関東) |
| 6. | 株式会社ビー・メソッド | (正会員/関東) |
| 7. | 株式会社永栄 | (正会員/関東) |
| 8. | 株式会社ミックウェアオートモーティブ | (正会員/関東) |
| 9. | 株式会社ウェーブ | (正会員/関東) |
| 10. | 株式会社インテック | (支部会員/北陸) |
| 11. | 三井住友信託銀行株式会社 | (賛助会員/関東) |

IV 事業本部報告

事業推進本部

1. 活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

『JASA ビジョン 2030』と 3 ヶ年計画の定着と推進

- ①JASA 会員企業の経営者にとって必要とされる知識、人脈、協創の場を提供
- ②業界マップ(カオスマップ)の整備による協業の推進と、アライアンスの推進
- ③広報活動の再検討(JASA ホームページ、Bulletin JASA、JASA パンフレット)
- ④官、国内外企業、学生に対する JASA ブランド・ロイヤリティの向上
- ⑤「経営者支援」活動の立上げ

2. 各事業についての報告(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細：事業予算案)

第 1 中期計画(2022 年 3 ヶ年計画)の推進

四半期ごとに WEB 会議を実施

半期ごとにリアル会議を実施

★事業推進本部会議

第 1 回 2024 年 4 月 16 日 13:00～14:30 ハイブリッド会議

2023 年度実施報告

2024 年度予算説明 及び 新組織説明

第 1 中期計画(2022 年 3 ヶ年計画)推進状況報告

第 2 回 2024 年 7 月 2 日 13:00～14:30 ハイブリッド会議

第 1 中期計画(2022 年 3 ヶ年計画)推進状況報告

2025 年 3 ヶ年計画案作成のための課題について議論

CIAJ との連携報告

第 3 回 2024 年 10 月 22 日 13:00～14:30 ハイブリッド会議

2025 年度の課題について

第 1 中期計画(2022 年度 3 ヶ年計画)報告

2025 年度予算方針について

第 4 回 2025 年 1 月 7 日 中止

★AI 活用の DevOps 委託研究(約 2 億円)提案 ➡ 不採用 ソフトバンクに決定

2024 年 9 月 18 日 採択審査委員会

★CIAJ 連絡会議

2024 年 8 月 20 日 次回 CIAJ-JASA 情報交換会について 次回 1 月末

テーマ、場所に関しては、双方で案をだすこと

【事業No.2】支部訪問

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

本部と支部の連携強化、情報共有

各支部に1回訪問し、支部の課題、本部の情報提供を実施する

(支部と調整要)9月北海道 7月近畿 8月関東 8月東北 10月九州 12月北陸 5月中旬部

★2024年5月15日 中部支部会

★2024年8月24日 関東支部会 懇親会
懇親会(クルーザー)

★2024年8月26日 東北支部会
JASA 東北支部新体制
マルチもの盛岡＋交流セミナー

★2024年9月11日 九州(地方理事会)

★2024年9月18日 近畿支部会

北海道支部、北陸支部への訪問 調整要

【事業No.4】他協会との情報交換

CIAJ との情報交換

2024年1月24日 情報交換会

1. Society5.0の実現へ向けたエッジテクノロジーの役割
JASA コモングラウンド委員会 委員長 國井 雄介 氏
2. 通信トラフィックデータの有効活用と委員会の活動について
CIAJ トラフィックデータ活用委員会 委員長 西井 浩士 氏
3. JASA-Linux Foundation とのエンジニア教育プログラムの共同検討
JASA 副会長 佐野 勝大 氏
4. 電機・電子業界「カーボンニュートラル行動計画」進捗報告
CIAJ 環境委員会幹事/温暖化対策連絡会 CIAJ 代表委員 濱川 雅之 氏
*全体意見交換後、立食形式による懇親会を開催

2024年3月14日 情報交換会反省会、今後の進め方

3. 活動成果/成果物

第1 中期計画(2022年3ヶ年計画)の成果把握

課題 ・人材不足、リスクリテラシー、倫理教育

- ・JASA 会員のメリットの明確化(情報収集、人材育成、異業種交流など)
- ・地方では自分の業務拡大につながる、支部間連携のような企画が欲しい
- ・中小企業では、幹部が出張等できない場合が多いので、セミナーは、年間通して受講できるようにしてほしい
- ・技術予測などの JASA のトレンドを作成したい

その他 40 周年記念イベントとして万博便乗のイベント提案あり

4. 今後の予定[2025年4月1日～2025年6月30日]

第1回 2025年5月7日 13:00～14:30 ハイブリッド会議

2025 年予算内容確認

5. その他特記事項

JASA 改革プロジェクトとの連携

広報委員会

1. 活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

JASA ホームページを情報ハブとして、技術本部や EdgeTech+などの協会活動にメリハリを付けて取り上げるとともに、情報をアップデートし情報発信力を強化する。

Bulletin JASA では、情報ニーズの高い技術本部に焦点を当てる。読まれる機関誌を目指し配布先を拡充する。

EdgeTech+の「+」部分の企業や大学への配布を企画・立案する。

会員企業間や非会員企業とのマッチング、会員企業の広報に活用する会員情報管理システムの第3期開発を終える。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細：事業予算案)

BulletinJASA とホームページの編集会議、広報戦略のすり合わせと実行計画策定

日 時 2024 年 4 月 23 日(火) 16:00～17:00

場 所 Web 会議

参加者 6 名/5 社

概 要 BJ89 4 月号の振り返り、BJ90 7 月号のメニューを議論

成 果

納本された BJ89 4 月号の PDF を見ながら反省会。進行が遅れ気味だった点を反省。4 月号で恒例の技術特集は「生成 AI」「無線ネットワーク」「IoT セキュリティ」の3本立て。力作ぞろいで予算よりも3ページオーバー。裏表紙に組織図を掲載するなどの工夫で全体では予算通りの32ページに。企業訪問はコンセプトアンドデザイン、大学訪問は日本大学理工学部。EdgeTech+West で配布する BJ90 7 月号は EdgeTech+West のプレビューがメイン。イノベーションチャレンジ後継の「仮説検証ブートキャンプ」、新規連載の「技術本部紹介」などについて議論。2024 年度の広報委員会予算について情報共有。

日 時 2024 年 5 月 29 日(水) 16:00～17:00

場 所 Web 会議

参加者 7 名/6 社

概 要 BJ90 7 月号のメニュー、EdgeTech+West 会期中の大学・企業の取材について議論

成 果

BJ90 7 月号は、EdgeTech+West での配布を見込んで締め切りを2週間早める。配布を含め2300部を印刷。今号から技術本部の連載を開始。第1回はドローンWGとRISC-VWGに決定。大学訪問は慶應義塾大学 山崎教授。企業訪問は休載。技術本部の成果発表会の結果を Information 欄で速報。EdgeTech+West 会期中の企業訪問はハネロン、大学訪問は近畿大学理工学部決定。EdgeTech+の営業状況、トッブリーダー倶楽部の講演内容などについて情報交換。

日 時 2024 年 6 月 27 日(木) 16:00～17:00

場 所 Web 会議

参加者 5 名/4 社

概 要 BJ90 7 月号の振り返り、BJ91 10 月号のメニューについて議論

成 果

締め切りが 1 週間早まった BJ90 7 月号は、進行が厳しかったものの無事納本。BJ90 の PDF を見ながら反省会。「仮説検証ブートキャンプ」と「連載 技術本部」の寄稿の質が高く助かる。BJ91 10 月号は EdgeTech+のプレビューやカオスマップがメイン。企業訪問はハネロン、大学訪問は近畿大学理工学部。「連載 技術本部」の第 2 回は、セキュリティ、コモングラウンド、AI WG、OpenEL の 4 本立ての予定。このほか支部活動や CIAJ との共同セミナー、人材育成本部の活動など盛りだくさん。

日 時 2024 年 7 月 30 日(木) 16:00～17:00

場 所 Web 会議

参加者 7 名/6 社

概 要 BJ91 10 月号のメニューについて議論、EdgeTech+West の情報共有

成 果

BJ91 10 月号は EdgeTech+のプレビューとカオスマップがメイン。企業訪問はハネロン、大学訪問は近畿大学理工学部。「連載 技術本部」の第 2 回は、セキュリティ、コモングラウンド、AI WG、OpenEL の 4 本立ての予定。このほかトップリーダー倶楽部や支部活動の報告、CIAJ との共同セミナー、人材育成本部の拓殖大学訪問など盛りだくさん。ページ数は通常よりも 8 ページ増の 32 ページを見込む。EdgeTech+West は来場者 5800 人超で前年比 33%増。セミナーも好調。特に生成 AI のセミナーはいずれも大盛況。トップリーダー倶楽部の反応も良かった。EdgeTech+West ではポップを立てて購読申し込みの勧誘。数社から申し込み。BJ92 1 月号は定番の新年挨拶や景況アンケートなど。企業訪問は柳井電機、大学訪問は九州産業大学が候補(9 月に開かれる福岡での理事会の時に取材)。

日 時 2024 年 8 月 30 日(金) 16:00～17:00

場 所 Web 会議

参加者 7 名/6 社

概 要 BJ92 1 月号のメニューと協会案内、JASA 創立 40 周年企画について議論

成 果

BJ92 1 月号は定番の新年挨拶や景況アンケートなど。企業訪問は柳井電機、大学訪問は九州産業大学(9 月に開かれる福岡での理事会の時に取材)の予定。「連載 技術本部」の第 3 回は、安全性向上、スマートライフ、OSS 活用が候補。EdgeTech+は今年も自動車(SDV : Software Defined Vehicle)、生成 AI が目玉。EdgeTech+West の結果、横浜のカンファレンス委員について情報共有。協会案内と JASA 創立 40 周年企画について議論。

日 時 2024 年 9 月 19 日(火) 16:00～17:00

場 所 Web 会議

参加者 6 名/5 社

概 要 BJ91 4 月号のメニューを議論、BJ92 の企業と大学の訪問先検討、ほか

成 果

BJ91 10 月号のメニューを検討。企業訪問はハネロン、大学訪問は近畿大学 蔭山助教。いずれも EdgeTech+West に出展。EdgeTech+West のレビューと EdgeTech+のプレビューと出展者のカオスマップを掲載。EdgeTech+の会場で配布するため、締切は通常よりも 2 週間ほど遅らせる。連載技術本部は組込みシステムセキュリティ委員会、コモングラウンド委員会、AI 研究 WG、OpenEL 活用 WG。BJ92 1 月号の

メニューを検討。大学訪問はET ロボコンでお世話になっている九州産業大学 安武芳紘教授&澤田直教授。連載技術本部は、安全性向上、スマートライフ WG、OSS 活用 WG。その他は1月号の定番メニューを中心にする。EdgeTech+の営業状況とトップリーダー倶楽部のテーマ、広報委員会の委員募集について情報交換。

日 時 2024 年 10 月 29 日(火) 16:00~17:00

場 所 Web 会議

参加者 6 名/5 社

概 要 納本された BJ91 10 月号の振り返り、BJ92 4 月号のメニュー検討、ほか
成 果

BJ91 10 月号は 32 ページ建てと通常よりも 8 ページ増。EdgeTech+関連を含め、JASA の活発な活動を盛り込めた。BJ92 1 月号のメニューは新年挨拶など定番メニューと EdgeTech+関連のレビュー記事が中心。連載技術本部(安全性向上、スマートライフ WG、OSS 活用 WG)、台湾視察、沖縄視察を盛り込む。BJ92 4 月号は恒例の技術特集。デジタルツインをテーマに「箱庭」関連の寄稿を検討。連載技術本部はアジャイル研究 WG と組込み IoT モデリング WG。EdgeTech+とトップリーダー倶楽部、広報委員会の委員募集について情報交換。EdgeTech+で配布する協会案内について議論。10 月 25 日に開催された DSF(Design Solution Forum)の内容について報告。広報委員会の委員募集について意見交換。

日 時 2024 年 11 月 26 日(火) 16:00~17:00

場 所 Web 会議

参加者 7 名/6 社

概 要 BJ92 1 月号と BJ92 4 月号のメニュー、JASA 40 周年、2025 年度予算について議論
成 果

BJ92 1 月号は 1 月 16 日の賀詞交歓会で配布予定。のメニューは新年挨拶など定番メニューと EdgeTech+関連のレビュー記事が中心。連載技術本部(安全性向上、スマートライフ WG、OSS 活用 WG)、台湾視察、沖縄視察を盛り込む。顧問弁護士のコラムと企業訪問は休載。通常よりも 4 ページ増の 28 ページ建てを予定。BJ92 4 月号は恒例の技術特集で、テーマはデジタルツイン。「箱庭」関連の寄稿で構成予定。連載技術本部はアジャイル研究 WG と組込み IoT モデリング WG。大学訪問先は岩手県立大学堀川研究室、企業訪問先は 12 月の理事会で承認予定の会社を検討。EdgeTech+の結果について報告。2025 年度における施策と広報委員会の新規委員募集について情報交換。JASA 創立 40 周年企画として、歴代会長や専務理事、事務局長といった功労者インタビューの連載を検討。JASA 創立 40 周年の冊子に掲載。

日 時 2024 年 12 月 26 日(木) 16:00~17:00

場 所 Web 会議

参加者 6 名/5 社

概 要 BJ92 1 月号の進捗確認、BJ93 の技術特集について議論、ほか
成 果

BJ92 1 月号の進捗を確認。1 月号は定番の新年挨拶、景況アンケートのほか、EdgeTech+関連記事、連載技術本部などで構成。大学訪問はET ロボコンを授業に活用している九州産業大学。原稿の集まり具合を確認。前号 BJ91 の締切が遅かったせいで、今号の作業の進捗が遅れ気味。1 月 16 日の賀詞交歓会での配布を再確認。BJ93 4 月号は恒例の技術特集。今回はデジタルツインをテーマに取り上げることを決定。冒頭は東京理科大デジタルツインラボの松尾教授による「デジタルツイン概論」、その後に箱庭(森氏)の仕組み、箱庭の応用例コモングラウンド(國井氏)とドローン(牧野氏)で構成。大学訪問は RISC-V WG に参加している東京農工大の中條先生。このほか、EdgeTech+の結果報告、2025 年度予算、JASA 創立 40 周年などについて情報を交換。

日 時 2025 年 1 月 21 日(火) 16:00～17:00

場 所 Web 会議

参加者 7 名/6 社

概 要 納本された BJ92 1 月号の振り返り、BJ93 4 月号のメニュー検討、ほか

成 果

BJ92 1 月号は 28 ページ建てと通常よりも 4 ページ増。1 月 16 日の賀詞交歓会で無事に配布。景況アンケートの回答数が 57 社。ご回答いただいた各社に感謝いたします。今回は「社長アンケート」と銘打って、回答数を増やし、資料性をさらに高めたい。EdgeTech+関連を含め、JASA の活発な活動を盛り込めた。BJ93 4 月号の技術特集「デジタルツイン」の原稿発注状況を確認。東京理科大デジタルツインラボの松尾教授、箱庭ラボの森代表、コモングラウンド委員会の國井氏、ドローン WG の牧野氏に発注済み。連載技術本部はデバイス WG と DevOps WG で構成。これで技術本部の全ての委員会と WG をカバー。2025 年度予算で冊子を作成する予定。企業訪問先が決まらず。事務局に古参企業を含めて検討を依頼。2025 年度予算、JASA 創立 40 周年などについて情報を交換。2025 年予算は、BJ に関する読者アンケート調査(お礼に Amazon ギフト券)、地方支部取材のための旅費交通費の増額、技術本部紹介の小冊子、理事改選と組織変更に伴う協会パンフレットなどに予算を積む。支部長への広報委員の推薦依頼について議論。

日 時 2025 年 2 月 18 日(火) 16:00～17:00

場 所 Web 会議

参加者 8 名/7 社

概 要 BJ93 4 月号のメニューと進捗確認

成 果

近畿支部の森安さん(Bee)が今回から出席。BJ93 4 月号は JASA 改革プロジェクト、JASA ビジョン第 1 期の総括、技術特集、連載技術本部の最終回、ロボコン告知、会社訪問、大学訪問など盛りだくさん。この号からマンガを休載。会社訪問は東信システムハウス、大学訪問は東京農工大の中條准教授。コモングラウンド委員会とドローン WG が大阪万博のヘルスケアパビリオンで行うデモ(4 月 29 日は BJ94 7 月号掲載)。

日 時 2025 年 3 月 28 日(金) 16:00～17:00

場 所 Web 会議

参加者 7 名/6 社

概 要 BJ93 4 月号の進捗確認と BJ94 7 月号のメニュー検討

成 果

北海道支部の奥山さん(HIS ホールディング)が今回から出席。BJ93 4 月号は JASA 改革プロジェクト、JASA ビジョン第 1 期の総括、技術特集「デジタルツイン」、連載技術本部の最終回、ロボコン告知、会社訪問、大学訪問など盛りだくさん。この号からマンガを休載。会社訪問は東信システムハウス、大学訪問は東京農工大の中條准教授。ページ数は 40 ページ。BJ94 7 月号は EdgeTech+West で配布。JASA の組織改編や新任役付き理事の挨拶、技術本部成果発表会、支部・委員会活動の紹介など。

【事業No.2】会員情報管理システム(第 3 期:JASA ビジョン施策 5)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

会員企業間および非会員企業とのマッチング、カオスマップ作成、会員企業の広報に資する。

【事業No.3】協会広報(ホームページ)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

JASA の情報ハブとして、JASA の活動を潜在的会員やステークホルダーに効果的にアピールする。

【事業No.4】協会広報(Bulletin JASA)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

機関紙「Bulletin JASA」の発行。発行時期は4月、7月、10月、1月。JASA の活動をステークホルダーに伝える広報的な役割だけではなく、JASA ホームページへの良質なコンテンツ供給源として、会員企業のブランディングに資するメディアとして活用する。



【事業No.5】協会広報(協会案内)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

組織変更や JASA ビジョン、技術本部紹介などを反映した新たなパンフレットを製作。

3. 活動成果/成果物

特になし

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日]

月に1回の委員会開催

5. その他特記事項

JASA からの退会や転職などの理由で広報委員会の委員が減少(4人減)しており補充が喫緊の課題となっている。委員会はリモートで開催しており地方からの参加が可能なので、各支部から最低1名の参加をお願いしたい。2025 年から近畿支部と北海道支部から参加していただき、委員会での議論が活性化している。

政策提案委員会

1. 活動概要(2024 年度の事業方針:事業予算案)

- ①政府(経産省)施策との情報交換会の実施
- ②IPA との情報交換会の実施
- ③支部との連携による地方経産局等との連携推進

2. 各事業についての報告(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

政策提案委員会定例会

JASA として、官への提言等を議論する

第1回 2024年4月24日 15:00～17:00

- ①2024年度決定予算説明
- ②2023年度実施施策ご説明
- ③経産省との情報交換内容説明
- ④その他 J9 内容紹介

第2回 2024年7月 中止

第3回 2024年10月17日 16:00～17:00

- ①イノベーション税制の状況
- ②DevOps プラットフォーム関連委託事業 失注
- ③生成AI時代のDX推進に必要な人材・スキルの考え方 2024(経産省)
- ④2025年度施策提案
 - 技術委員会 箱庭WGの設立検討
 - リナックスファインデーション、NECなどとの連携実施
 - 人材不足から大学との連携強化
 - 海外人材の要望と受入れ企業の支援策

第4回 2024年12月20日 予算審議(メールベースで実施)

【事業No.2】経済産業省定例会

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

経産省との情報交換(予算決定時期、中間、来年度予算時期)

行政の施策と連携した施策を立てるために、情報交換を3回定期的に行う

- 1) 2024年5月21日 11時～12時 経産省訪問
「イノベーション投資促進法」実施に関する説明
- 2) 2024年6月4日 11時～12時 経産省訪問
DevOps プラットフォーム開発コンセプト意見交換
- 3) 2024年6月24日 16時30分～18時「イノベーション投資促進法」オブザーバー参加
- 4) 2024年7月4日 14時～15時 経産省訪問
DevOps プラットフォーム関連(生成AI)委託研究申請について
- 5) J9(経産省、IPA、JISA、SAJ、JAPET、JCSSA、JUAS、SOFTIC、JASA)
第1回 2024年4月17日 経産省より下記説明があった
 - ・中小企業の賃上げに向けた労務費の転嫁の状況
 - ・産業構造審議会 経済産業政策新機軸部会(デジタル社会の実現・・・)

第2回 2024年7月9日 経産省より下記説明があった

- ・デジタル人材(未踏、AI人材育成)
- ・生成AI時代のDX推進に必要な人材・スキルの考え方 2024
- ・デジタルガバナンスコードの見直し

第3回 2024年10月29日 経産省から以下の説明があった

- ・DX ガバナンスコード 3.0
- ・第4次産業革命スキル習得講座(Reスキル講座)
- ・AI 倫理教育の徹底

- ・第4回デジタル人材育成推進協議会(IT 関連学科の増設など)
- ・生成 AI 開発力強化(補助金)

第4回 2024年1月28日 経産省から以下の説明があった

- ・令和6年予算、令和7年当初予算案
- 地方若手人材発掘育成支援(akatuki プロジェクト)
- デジタル基盤整備事業(スキル標準 DSS、マナビ DX)
- ・次世代半導体小委員会
- ・企業 DX 推進施策

【事業No.3】IPA 情報交換会

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

IPA とくに社会基盤センターとの連携を密にする

セキュリティ、アーキテクチャ関連の IPA の動きに関連して情報交換を実施する

IPA意見交換会 2025年1月16日

3. 活動成果/成果物

経産省、IPA との人脈形成ができ、補助金、講演依頼などの交流ができている

4. 今後の予定[2025年4月1日～2025年6月30日]

政策提案委員会 第1回 2025年4月8日 中止

J9 第1回 2025年5月20日

5. その他特記事項

特になし

経営者サミット委員会

1. 活動概要(2024年度の事業方針:事業予算案)

会員企業の経営者にとって必要とされる知識、人脈、協創の場を提供する

2. 各事業についての報告(2024年4月1日～2025年3月31日)

【事業No.1】定例会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細)

トップリーダー倶楽部運営会議

日 時 2024年4月24日(水) 16:00～17:00

場 所 WebEX

参加者 8名/8社

概 要 2024年度トップリーダー倶楽部の開催概要検討

成 果 開催概要の検討(第1回)

テーマ: ブランド経営

日 時: 2024年7月11日(木) 13:00～17:00

場 所: グランフロント大阪 北館 B2F (EdgeTech+West2024 会場)

講師案: 横河電機 阿部様、京都先端科学大学 森様

日 時 2024 年 5 月 20 日 (月) 15:00～16:00
場 所 WebEX
参加者 8 名/8 社
概 要 2024 年度トップリーダー倶楽部の開催概要検討
成 果 講演テーマの決定
①「マーケティング・マインドによる企業価値向上」横河電機 阿部様
②「B2B ビジネスのトランジション変容とブランド・オートポイエティック
が生み出す 可能性」京都先端科学大学 森様

日 時 2024 年 6 月 26 日 (水) 15:00～16:00
場 所 WebEX
参加者 8 名/8 社
概 要 2024 年度トップリーダー倶楽部の開催概要検討
成 果 開催概要の検討(第 2 回)
テーマ: 生成 AI
日 時: 2024 年 11 月 20 日 (水)
場 所: パシフィコ横浜 ANNEX (EdgeTech+2024 会場)
講師案: 京大・弁護士 羽深宏樹様、日立製作所 吉田順様

日 時 2024 年 7 月 25 日 (木) 15:00～16:00
場 所 WebEX
参加者 8 名/8 社
概 要 2024 年度トップリーダー倶楽部の開催概要検討
成 果 第 1 回の状況報告と第 2 回の講師検討
第 1 回の講演については、ブランド経営の事例などが非常に参考になった。
第 2 回の講師案について日立製作所 吉田様は確定

日 時 2024 年 8 月 28 日 (水) 15:00～16:00
場 所 WebEX
参加者 6 名/5 社
概 要 2024 年度トップリーダー倶楽部の開催概要検討
成 果 第 2 回の段取り取り決め、参加者が増えないので、追加での動員について

日 時 2024 年 10 月 21 日 (水) 11:00～12:00
場 所 WebEX
参加者 8 名/8 社
概 要 2024 年度トップリーダー倶楽部の開催概要検討
成 果 第 2 回の講師検討
講師案: 日立製作所 吉田順様、IPA、AISI 小田切未来様

日 時 2024 年 11 月 21 日 (木) 16:00～17:00
場 所 EdgeTech+会場
参 加 4 名/4 社
概 要 第 2 回トップリーダー倶楽部反省会
成 果 ①集客力がない ②内容的には高評価 ③開始日、コストなど見直しが必要

日 時 2025 年 1 月 16 日 (木) 10:00～11:30
場 所 JASA 会議室+WEB 会議

参加 6名/6社
概要 集客、テーマ、運営方法について
成果 ①EdgeTech+の前日、別会場で ②2人縛りを排除 ③予算、体制の確認

日時 2025年2月19日(水)15:00～17:00
場所 コア事務所+WEB会議
参加 7名/7社
概要 予算の確定、次回トップリーダー倶楽部アイデアだし
成果 ①集客力がない ②関西万博視察による集客 ③7月23日に実施

日時 2025年3月25日(火)15:00～17:00
場所 WEB開催
参加 8名/9社
概要 次回トップリーダー倶楽部の見直し
成果 ①集客力がない ②関西万博視察もチャンス ③視察コース等の案

【事業No.2】経営者支援の施策4のJASA会員企業の経営者にとって必要とされる

①知識 ②人脈 ③協創 の場を提供する。

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

経営者支援の施策4のイベントとして、トップリーダー倶楽部を年2回実施

2024年度第1回トップリーダー倶楽部開催

日時 2024年7月11日(木)14:00～17:30

場所 EdgeTech+West2024 開場

講演 企業価値を高めるブランドの創生

①マーケティング・マインドによる企業価値向上

横河電機 常務執行役員マーケティング本部長 阿部剛士氏

②B2B ビジネスのトランジション変容とブランド・オートポイエティック
が生み出す可能性

京都先端科学大学 国際学術研究院 教授 森一彦氏

参加者 27名/15社(予算 40名/20社)

収支 予算 収入 520,000 支出 779,740 収支 -259,740

実績 収入 390,000 支出 682,340 収支 -292,340

評価 5点満点 阿部様 4.7 森様 4.3 パネル 4.6

2024年度 第2回トップリーダー倶楽部

テーマ 実用に入った”生成AI”を経営に生かす!

日時 2024年11月20日(水)10:00～14:30

場所 パシフィコ横浜ハーバーラウンジ(EdgeTech+2024会場)

講演

①「安全・安心で信頼できるAI・生成AIの実現に向けて」
IPA小田切未来様 評価4.6/5

②「生成AIとともに日立が実現するAI Transformation」
日立製作所 吉田順様 評価4.7/5

③パネルディスカッション 横田広報委員長 評価4.7/5

参加者 25名/13社

3.活動成果/成果物

2024年7月11日(木)EdgeTech+West2024にて第1回トップリーダー倶楽部(大阪)開催

2024 年 11 月 2 日(水)EdgeTech+にて第 2 回トップリーダー倶楽部開催

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日～2025 年 6 月 30 日]

定例会議 毎月開催

交流推進本部

国際交流委員会

1.活動概要(2024 年度の事業方針:事業予算案)

委員会の定期開催

海外人財採用セミナー(2 回実施: 7 月/1 月(ハイブリッド))

JASA グローバルフォーラム&国際交流委員会の情報発信

海外視察による海外動向の情報入手

2.各事業についての報告

【事業No.1】委員会の定期開催

2024 年 4 月 12 日(金) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 10 名+事務局

今年度の国際交流委員会全体の内容検討、各進捗確認

スピーチ: ウズベキスタンの最新 ICT 動向

一般財団法人国際情報化協力センター(CICC) 岡田様

2024 年 6 月 13 日(木) 16:00～17:20 ハイブリッド開催 参加 11 名+事務局

今年度の国際交流委員会全体の内容検討、各進捗確認

2024 年 8 月 23 日(金) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 11 名+事務局

今年度の国際交流委員会全体の内容検討、各進捗確認

2024 年 10 月 7 日(月) 15:00～17:30 ハイブリッド開催 参加 12 名+事務局

今年度の国際交流委員会全体の内容検討、各進捗確認

委員会スピーチ 台湾概況 TCA 駐日代表 吉村章氏

2024 年 12 月 20 日(金) 16:00～17:30 ハイブリッド開催 参加 10 名+事務局

今年度の国際交流委員会全体の内容検討、各進捗確認

2025 年 2 月 21 日(金) 16:00～17:30 ハイブリッド開催 参 11 名+事務局

今年度の国際交流委員会全体の結果報告、来年度予算案の確認及び検討

【事業No.2】海外人財採用セミナー(2 回実施: 7 月/1 月(ハイブリッド))

2024 年 7 月 10 日(水) 14:00～16:10 場所:拓殖大学 八王子国際キャンパス 恩賜記念館

+懇親会

スピーチ:「海外人財採用活動のご案内」(岩永)

「専門学校(IT)による外国人財の採用事例」

学校法人実学教育学園 フォーラム情報アカデミー専門学校(植木様)

※人財交流委員会と共催

2024 年 11 月 1 日(水) 13:00～14:30 場所:JASA

UZBEKISTAN 視察団意見交換 (CICC: 岡田様他、UZBEKISTAN デジタル庁 Member)

※当初は JASA 全体に案内することも考えたが、時間的な余裕がなく国際交流委員会内で実施

【事業No.3】JASA グローバルフォーラム&国際交流委員会の情報発信

日 時: 2024 年 11 月 21 日(木) 14:00～16:45

テーマ：グローバルサウスのリーダーインドの動向と日本の取り組み

場 所：ハーバーラウンジ B

①キーノート（JICA:松本勝男氏(元インド局長)）

：日本のインドに対する戦略的取り組み

②講演 1(横浜インドセンター会長:ナリン・アドバニ氏)

：日印ビジネスラボの現状

③講演 2(慶応義塾大学:武鑑氏(元ソニー・インディア・ソフトウェア・センサー社長))

：激変するインド IT 業界とイノベーション

④講演 3(茨城県立土浦第一高等学校・附属中学校 校長:プラニク・ヨゲンドラ氏)

：インド人から見た日本人

⑤講演 4(Indo-Sakura Software Japan 株式会社 代表取締役:パスワン・アトユル氏)

：日本企業の課題を解決するインドの潜在的なエネルギー

※会場目視で 45 名ほど

※アンケート回答は 26 名 (JASA 会員参加は 5 名、JASA に興味あり情報が欲しい 5 件)

【事業No.4】海外視察による海外動向の情報入手

台湾で実施(2024 年 10 月 23 日(水)～26 日(土) 3 泊 4 日)

台北コンピューター協会(TCA)の全面的支援

日台交流員会・新竹サイエンスパーク・工業技術研究所(ITRI)等訪問

参加者: 22 名

現地での交流会 30 名位 (TCA 側 6 名+2 名)

3.活動成果/成果物

上記事業 No.2～4 のとおり。特筆事項はなし。

4.今後の予定(一部実績)

2025 年 4 月 7 日(月) 16:00～17:30 ハイブリッド開催 参加 12 名+事務局

2025 年 4 月 21 日 アルメニア、パキスタン、スリランカからの ICT 企業代表団対応(GIC 様内)

JASA 説明、GIC 様・TDIPS 企業説明～質疑応答

2025 年 6 月 13 日 委員会開催 今期活動計画具体化

ビジネス交流委員会

1.活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

各地支部と連携した情報発信

JASA 認知度の向上

企業間のビジネスマッチングや事業創造の機会を創出

新規会員獲得の推進

2030 ビジョン達成のため、従来セミナーの支部への引継ぎ

2.各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

2024 年 4 月 10 日(水) 16:00～17:00 リアル開催 参加 8 名

今年度の交流セミナー全体の内容検討、各進捗確認

2024 年 5 月 22 日(水) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 6 名
 今年度の交流セミナー全体の内容検討、講師候補の検討、各進捗確認
 2024 年 6 月 19 日(水) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 7 名
 企画されている交流セミナーのテーマの方針検討、各進捗確認
 2024 年 7 月 24 日(水) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 8 名
 北海道、九州交流セミナーの内容、講師の選出、打診の状況確認
 2024 年 8 月 21 日(水) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 6 名
 東北セミナー最終確認、北海道、九州交流セミナーの詳細確認、各進捗確認
 2024 年 10 月 3 日(水) 16:00～17:00 リアル開催 参加 6 名
 北海道交流セミナーの振り返り、九州交流セミナーの詳細の確認、
 2024 年 11 月 13 日(水) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 9 名
 中国地域セミナーの確認。JASA の来年度からの事業計画についての考え方について
 2024 年 12 月 11 日(水) 16:00～17:00 リアル開催 参加 7 名
 2025 年度計画と予算の検討、中国地域交流セミナーの役割確認、各進捗確認
 2025 年 1 月 8 日(水) 16:00～17:00 ハイブリッド開催 参加 8 名
 中国地域セミナーの確認。JASA の来年度からの事業計画についての考え方について
 2025 年 2 月 5 日(水) 16:00～17:00 リアル開催 参加 7 名
 中国地域セミナーの確認の結果報告、2025 年度計画と予算の確認、
 2025 年 3 月 12 日(水) 16:00～17:00 リアル開催 参加 9 名
 次年度事業の確認とセミナー講師、テーマなどについて議論、

【事業No.2】北海道交流セミナー
 実施済、活動成果で報告

【事業No.3】東北交流セミナー
 実施済、活動成果で報告

【事業No.4】北陸交流セミナー
 本年度は未開催

【事業No.5】九州交流セミナー
 実施済、活動成果で報告

【事業No.6】中国(広島)交流セミナー
 実施済、活動成果で報告

【事業No.7】JASA ビジョン 地域他団体との連携強化
 各セミナー開催時に対応

3. 活動成果/成果物

【事業No.2】北海道交流セミナー
 2024 年 9 月 20 日(金) 15:00 ～ 18:00 交流会 18:00 ～ 20:00 TKP ガーデンシティ
 札幌駅前 ホール 5C
 9 月 14 日(木) 15:00～ 札幌 にてリアル開催しました。参加者 71
 名(来賓 8 名、講師 2 名、講演・運営 8 名、参加者 53 名)と盛大のうちに無事に終了
 しました。
 講演は、株式会社ソシオラボ 代表取締役、大阪大学招聘 准教授 中川郁夫様より「DX
 を実現するための、生成 AI 活用のヒント」、北海道大学名誉教授・総長特命参与

山本強様より「AI＋半導体で創出する北海道の新産業」という題目で行われました。
同会場にて交流会も開催され、来賓、講演者、参加者の間で交流が図れました。
JASA 入会希望： 入会検討 5 名

【事業No.3】東北交流セミナー

2024 年 8 月 26 日(月) 13:30～ 盛岡市と共催。いわて県民情報交流センター アイーナにてハイブリッド開催されました。
参加者：52 名(リアル：31 名、オンライン：21 名)でした。
JASA からは、株式会社ソシオラボ 代表取締役、大阪大学招聘 准教授 中川郁夫様より「DX を実現するための、生成 AI 活用のヒント」、盛岡市からは「サイボーズ株式会社 東北営業 G 所長 田澤宏尚様より「お隣さんから学ぶ Kintone 活用ストーリー」の 2 講演で実施されました。
交流会も開催され、楽しく有意義な交流ができました。
他、詳細は東北支部活動報告より

【事業No.5】九州交流セミナー

2024 年 10 月 16 日(水) 14:30 ～ 16:30 交流会 17:00 ～ 18:30
マリンメッセ福岡 A 館 2 階にて開催されました。
参加者 40 名(来賓 6 名、講師 2 名、講演・運営 7 名、参加者 25 名)
登壇者は、株式会社ソシオラボ 代表取締役、大阪大学招聘 准教授 中川郁夫様より「DX を実現するための、生成 AI 活用のヒント」
Google サイバーセキュリティ研究拠点長 内山 純一郎様より「AI 時代のゼロトラストと国家安全保障：九州の半導体産業を守る」という題目で行われました。

交流会は会場隣接の福岡港国際ターミナル内ハーバービレッジで開催され、JASA ブース出展社の方も来られ、賑やかに交流ができました。
JASA 入会希望：話を聞いてみたい 1 名

【事業No.6】中国(広島)交流セミナー

2025 年 1 月 24 日(金) 15:00～18:00 交流会 18:00 ～ 19:30 にてリアル開催しました。
参加が 33 名、関係者、スタッフを入れると 38 名となりました。広島県情報産業協会様、メイドインひろしま IoT 協議会の皆様にも動員のご協力をいただきました。また、中国経済産業局様の後援、広島県 商工労働局の協力を賜りました。
登壇者は、大阪大学 招へい准教授 中川 郁夫 氏より「DX を実現する為の、生成 AI 活用のヒント」、株式会社インタフェース 代表取締役社長 國司(くにし)晃 氏より「地方の中小企業でもここまでできる! (～ 技術を突き詰めながら企業価値を発展させる考え方 ～)」についてお話をいただきました。また、ビジネス交流委員会の浅川委員より JASA の紹介がされました。交流会も来賓のご挨拶で開催され、約 90 分、来賓・講演者・参加者間の交流が図れました。

アンケート結果

・セミナー内容

非常に良い 63% 良い 33% あまり良くない 3% 良くない 2%

・JASA 入会希望

入会希望:1 社(入会申込有) 入会検討:3 社、2 団体

4. 今後の予定(一部実績)

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

2025 年 4 月 9 日(水) 16:00～17:00 (リアル開催)

2025 年 5 月 14 日(水) 16:00～17:00 (リアル開催)
2025 年 6 月 11 日(水) 16:00～17:00 (リアル開催)

人財交流委員会

1. 活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

会員の新卒求人活動支援
会員の管理者・幹部候補育成支援と人財交流
学生の業界認知度の向上

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

2024 年 4 月 8 日 Web 開催 7 名出席

各事業の個々の目的・概要・目論見を確認し、事業毎に推進者を設置して、管理を行うことにした。

2024 年 5 月 14 日 Web 開催 9 名出席

事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。

2024 年 6 月 11 日 Web 開催 7 名出席

事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。

2024 年 7 月 16 日 Web 開催 8 名出席

事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。

2024 年 8 月 28 日 Web 開催 10 名出席

事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。

2024 年 9 月 17 日 Web 開催 8 名出席

各事業の個々の目的・概要・目論見を確認し、事業毎に推進者を設置して、管理を行うことにした。

2024 年 10 月 15 日 Web 開催 12 名出席

事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。

2024 年 11 月 12 日 Web 開催 10 名出席

事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。

2024 年 12 月 10 日 Web 開催 9 名出席

事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。

2025 年 1 月 14 日 Web 開催 8 名出席

事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。

2025 年 2 月 14 日 Web 開催 10 名出席

事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。

2025 年 3 月 18 日 Web 開催 9 名出席

事業ごとに推進者を中心に事業を推進し、報告・相談調整を行った。詳細は各事業報告を参照。

【事業No.2】管理者・幹部候補育成

実践リーダー研修として、JASA 会員以外の参加者も募集し年間 4 回のセミナーと 2 回の報告会を計画し、32 名の参加者を 7 チームに分けて、7 月 20 日、10 月 5 日、12 月 8 日、2 月 5 日に 4 回の Web によるセミナーとグループワークを実施。他に 8 月 23 日に中間報告会、3 月 5 日に最終報告会として東京大阪会場での報告会と懇親会を実施した。グループ毎の自発的な WEB のコミュニケーションと会場での発表および交流会により人財交流を行うことができた。

【事業No.3】新卒求人活動支援 関東

関東圏の学生と学校関係者を中心に、業界・協会の認知、会員企業と交流、学校関係者との継続的な関係構築を図るため、11 月 15 日(水)に Edge Tech+会場で学生および学校関係者

を集め、JASA 出展企業ブースの見学ツアーおよび JASA 企業紹介および交流会を開催した。見学ツアー・企業紹介では JASA 会員企業 12 社、学生・学校関係者は 22 名参加し、交流会では JASA 会員企業 34 名、学生・学校関係者は 31 名が参加した。2024 年度以降の継続的な関係構築を継続する。

【事業No.4】新卒求人活動支援 近畿

関西圏の学生と学校関係者を中心に、業界・協会の認知、会員企業と交流、学校関係者との継続的な関係構築を図るため、10 月 18 日(水)に近畿支部秋季セミナー後に交流祭典を開催した。

学生・学校関係者向けに組込みシステム業界紹介を行い、その後に交流会を行い企業と学生・学校関係者間の交流を図った。JASA 会員企業 55 名、学生 17 名の合計 80 名が参加し交流することができた。次年度に実際の採用活動に生かせるよう継続して施策を検討する。

【事業No.5】新卒求人活動支援 業界研究セミナー

全国規模で学校・学生にアプローチするためWEBで12月9日土曜日に開催した。

事前に業界を説明する動画を公開することで組込みシステム業界の知を行い、当日はJASA会員企業の会社紹介を実施した。資料請求・エントリー受付も行い、学生・学校から多く活用いただいた。参加企業は10社、学生・学校関係者は17名の参加があった。参加学校・学生の範囲、規模を大きくするための2024年度は委員会内の各事業を組み合わせで効率的な広報を行う。

【事業No.6】求人情報掲載

会員の求人情報を随時 JASA ホームページに継続して掲載

【事業No.7】業界情報発信

JASA 機関誌「Bulletin JASA」を、広報委員会の協力を得て、年 4 回、全国約 200 校に配送。

【事業No.8】学校教育参画・支援

文科省が定めた専門学校の「実践教育」に合わせ、現在以下の7校の教育事業に参画。

日本電子専門学校、HAL(東京/名古屋/大阪)、新潟情報専門学校、つくばビジネスカレッジ、早稲田文理専門学校。また、ICT CONNECTの情報収集を実施した。

3. 活動成果/成果物

上記事業 No.2～8 のとおり。特筆事項はなし。

4. 今後の予定[2025 年 5 月 1 日～6 月 30 日]

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

2025 年 5 月 20 日 Web 開催 各事業の実施について検討を行う

2025 年 6 月 17 日 対面および Web のハイブリッド開催 各事業の実施について検討を行う

5. その他特記事項

なし

人材育成事業本部

ETEC 事業推進委員会

1. 活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

業界団体としての、あるべき人材育成事業の追求

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)
2024 年度開催なし。

【事業No.2】試験運用(ETEC クラス 1)
2023 年度比 85.3%。コロナ禍下がった受験数ですが、持ち直したものの、受験繁忙期 3 月の前年単月比で 43%までさがったことだけが要因。

【事業No.3】試験運用(ETEC クラス 2)
2023 年度比 117.1%。3 月繁忙期は横倍だが、上期末の受験数が 1.5 倍となったことが功を奏した。

【事業No.4】ツール作成
第 1 四半期に作成したツール(成績証明書発行・郵送消耗品)で通年対応

【事業No.5】試験版改定
ETEC クラス 2 の設問改変について、2025 年度に対応することに変更

【事業No.6】認知拡大
特段対応無し

【事業No.7】需要開拓
特段対応無し

【事業No.8】学習書籍制作
特段対応無し

3. 活動成果/成果物

4. 今後の予定[2025 年度]

- ① ETEC クラス 2 について、過去受験データの回答分析を行い、その分析結果を元に 2025 年度に設問の差替を行う。
- ② ETEC クラス 1 書籍について出版準備

5. その他特記事項

特段無し

教育研修コンテンツ事業推進委員会

1. 活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

人材育成/人材開発事業強化
教育コンテンツの整備
会員参加し易い有料セミナーの拡充
会員企業における人材育成課題のヒアリング

2. 各事業についての報告(2024 度)

【事業No.1】会議

- ・2024 年 4 月 15 日(月)(Web 会議) 6 人出席 今年度研修講座計画策定
- ・2024 年 5 月 13 日(月)(Web 会議) 4 人出席 今年度研修講座内容検討
- ・2024 年 6 月 17 日(月)(Web 会議) 6 人出席 今年度研修講座内容検討
- ・2024 年 7 月 22 日(月)(Web 会議) 6 人出席 今年度研修講座実施詳細検討
- ・2024 年 8 月 19 日(月)(Web 会議) 7 人出席 今年度研修講座実施詳細検討
- ・2024 年 9 月 24 日(火)(Web 会議) 4 人出席 今年度研修講座実施詳細検討
- ・2024 年 10 月 21 日(月)(Web 会議) 5 人出席 EdgeTech+における人材育成パネルディスカッションの企画
- ・2024 年 11 月 18 日(月)(Web 会議) 7 人出席 下期のオンライン研修準備
- ・2024 年 11 月 21 日(木)EdgeTech+人材育成パネルディスカッション実施 聴講者:約 70 名
- ・2024 年 12 月 16 日(月)(Web 会議) 5 人出席 Edgetech+イベント振り返りと次年度に向けた検討
- ・2025 年 1 月 20 日(月)(Web 会議) 6 人出席 Q4(1-2 月)実施研修内容確認、次年度研修内容・予算検討
- ・2025 年 02 月 17 日(月)(ハイブリッド) 6 人出席 リアル会場:日本システム開発(名古屋)次年度研修内容検討
- ・2025 年 03 月 17 日(金)(Web 会議) 5 人出席 次年度研修講座計画策定、予算確定

【事業No.2】有料セミナー運営システム

受講料の課金システムを備えた Webinar プラットフォーム“EventHub”の継続利用

【事業No.3】人材育成

昨年度継続オンデマンド講座実施中、今年度研修講座を実施に向け対応中。
(3.活動成果/成果物)。

【事業No.4】人材開発

今年度研修講座を実施に向け対応中。(3.活動成果/成果物)。

【事業No.5】調査

なし

3. 活動成果/成果物

◆今年度新規講座

①2025 年 1 月 29 日、2 月 5 日

ハードウェア知識(ソフトウェアエンジニア向け) 参加 43 名(うち会員 42 名) 受講料 450,890 円

②2025 年 2 月 13 日、2 月 27 日

OSS ライセンス基礎 参加 18 名(うち会員 16 名) 受講料 205,370 円

③プロジェクトマネジメント基礎 参加 26 名(うち会員 26 名) 受講料 417,450 円

第 1 日目 プロマネの全体像:2025 年 2 月 12 日(水)

第 2 日目 プロマネ工程管理①:2025 年 2 月 25 日(火)

第 3 日目 プロマネ工程管理②:2025 年 2 月 28 日(金)

第 4 日目 プロマネ要員管理:2025 年 3 月 4 日(火)

第 5 日目 プロマネ品質管理:2025 年 3 月 5 日(水)

第 6 日目 プロマネの実践技法:2025 年 3 月 19 日(水)

中計 参加 87 名(うち会員 84 名) 受講料 1,073,710 円

◆オンデマンド講座(昨年度以前実施分録画再生) 今年度実施分

①2024 年 9 月 5 日～2025 年 3 月 23 日

IoT セキュリティ 参加 5 名(うち会員 4 名) 受講料 30,690 円

- ②2024 年 9 月 5 日～2025 年 3 月 23 日
アジャイル開発導入基礎講座 参加 3 名(うち会員 3 名) 受講料 15,345 円
- ③2024 年 9 月 5 日～2025 年 3 月 23 日
アジャイル開発実践講座 参加 3 名(うち会員 2 名) 受講料 20,460 円
- ④2024 年 9 月 5 日～2025 年 3 月 23 日
要件定義シリーズⅠ 参加 20 名(うち会員 17 名) 受講料 117,645 円
- ⑤2024 年 9 月 5 日～2025 年 3 月 23 日
要件定義シリーズⅡ 参加 18 名(うち会員 18 名) 受講料 92,070 円
- 中計 参加 49 名(うち会員 44 名) 受講料 276,210 円

◆今年度講座開発および講師委託費用

- ①ハードウェア知識(ソフトウェアエンジニア向け) 330,000 円
- ②OSS ライセンス基礎 222,710 円
- ③プロジェクトマネジメント基礎(PMBOK ベース)462,000 円
- 合計 1,014,710 円

【収支合計】335,210 円

4. 今後の予定

1) 2025 年度実施講座内容検討

◆新規予定講座

- ①生成 AI 関連 1 Q2
- ②ハードウェア知識(ソフトウェアエンジニア向け) Q3
- ③Linux Foundation とのコラボレーション講座 Q4

◆オンデマンド講座実施(昨年度以前実施分録画再生) 上半期対応:2025 年 4 月～8 月末

- ① プロジェクトマネジメント講座(オンデマンド)
- ②要件定義講座①(オンデマンド)
- ③ 要件定義講座②(オンデマンド)
- ④ OSS ライセンス基礎講座(オンデマンド)
- ⑤ IoT セキュリティ講座(オンデマンド)
- ⑥アジャイル基礎講座(オンデマンド)
- ⑦ アジャイル開発実践講座(オンデマンド)

2) 毎月の委員会にて各種検討。

3) 支部会へのリアル参加にて育成、研修の要望ヒアリング継続。

4) 会員向け講座参加案内発信および運営会議、支部会での案内。

外国人技術者教育研修WG

1.活動概要(2024 年度の事業方針:事業予算案)

人材育成/人材開発事業強化

- ①人材不足対策として外国人エンジニアの確保支援
- ②外国人エンジニア採用におけるノウハウの獲得
- ③外国人エンジニアが日本で働きやすい環境づくり

2. 各事業についての報告

【事業No.1】スリランカインターンシップ

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)様の補助事業(寄附講座)に採択され実施

1:現地で日本のソフトウェア開発基礎および品質管理座学や日本文化を実施:6 月

- 2: 受入れ企業とマッチング(オンライン面談)を実施: 7月～8月
3: 日本でインターンシップ実施: 10月～12月(受入れ企業2社4名で実施)
受入れ企業:
・株式会社ハイスポット様 1名
・株式会社日新システムズ様 3名

【事業No.2】新規開拓国との情報交換
来年度にむけ、国内大学の留学生への調査検討

3.活動成果/成果物

①海外人材インターンシップ、採用のノウハウの蓄積

4.今後の予定

＜インターンシップ修了者の採用活動＞

- ・株式会社ハイスポット様 修了者の、採用に向けて継続的にコンタクト
- ・株式会社日新システムズ様 修了者の、採用について2025年12月を計画中

＜来年度のインターンシップ事業について＞

2025年3月18日(火)に来年度(2025年度)に一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)様の補助事業への応募について、関心のある会員企業(11社)の参加意向の最終確認を行なった。

結果、1社1名となり、最低予定人員を下回ったため来年度のスリランカインターンシップについては実施を見送ることとした、不参加理由について。

- ・受け入れ体制の不備
 - ・時期が合わない
 - ・参加したインターンシップ生の評価が完了していない
 - ・年度末もあり受入れ部署との調整が出来無い
- などの回答であった。

＜留学生への調査＞

日本国内の大学へ留学している留学生を対象に、就職意識のヒアリングなど行い、来年度以降の採用マッチング実施に向け、調査を進めていく。

ET 技術者教育委員会

1.活動概要(2024年度の事業方針：事業予算案)

複雑化する組込み開発の人材育成を目的としたコンテスト「ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト」の企画および運営全般

2.各事業についての報告

【事業No.4】ET 技術者教育委員会(ET ロボコン)

全国地区大会及びチャンピオンシップ大会における競技会と付随する技術教育・モデリングワークショップなどの実施・運営

3.活動成果/成果物

ETロボコン2024開催発表会: 2024年2月14日(火)13:00～15:00、ZOOM、参加150名

参加チーム・スポンサー募集: チーム募集期間 2024年2月14日～4月21日、スポンサー(全国・地区)

2024実施概要: 全体 198チーム (エントリークラス 55 プライマリークラス 121 アドバンスド 22)

1) 実施イベント		ETロボコン2024
今年は全国70イベントを開催		
・開催発表会(オンライン)	1回	
・参加検討者向け座談会(オンライン)	2回	
・参加チームキックオフ会(オンライン)	1回	
・技術教育フォロー会(オンライン/リアル会場)	22回	
※地区独自イベント含む		
・モデル相談会(オンライン/リアル会場)	8回	
・EdgeTech+ West 2024出展(リアル会場)	1回	
・試走会(エントリークラス/オンライン)	2回	
・試走会(リアル会場)	22回	
・エントリークラス大会(オンライン)	1回	
・一競技会、モデリングワークショップ		
・地区大会(リアル会場)		
・一競技会、モデリングワークショップ	9回	
・チャンピオンシップ大会		
・テスト走行、競技会、モデリングワークショップ	1回	

全国企画会議：

2024年12月7日(土)～8日(日)、九段会館テラスおよびオンライン、参加者40名

内容:ETロボコン2025開催に向けた実行委員会議

ETロボコン2025開催発表会(オンライン開催):

2025年2月14日(金) 15:00～17:00、参加者173名

「ETロボコン産学連携の新たな模索:関連グループ会社も含めた共創型人材育成とは？」について
SCSK株式会社及びSCSKオートモーティブH&S株式会社、愛知工業大学にご講演頂いた。

4.今後の予定

ETロボコン2025 参加チーム募集中、4月18日(金) ※継続申し込み中

補足資料

2) 地区大会	ETロボコン2024
①北海道地区(7チーム) <ul style="list-style-type: none"> ■地区特別協力：北海道情報大学、公立はこだて未来大学、日本工学院北海道専門学校 ■運営協力：NECソリューションイノベータ株式会社 ■地区スポンサー：株式会社マイナビEdge 	
②東北地区(18チーム) <ul style="list-style-type: none"> ■自治体（岩手県、盛岡市、滝沢市）のバックアップ ■地区特別協力：いわて組込みシステムコンソーシアム ■地区スポンサー：株式会社マイナビEdge、アルプスアルパイン株式会社 	
③東京・北関東地区(47チーム) <ul style="list-style-type: none"> ■地区特別・運営協力：株式会社 NS・コンピュータサービス、新潟経営大学、早稲田大学、東海大学、テクノプロ・デザイン社 ■地区運営協力：早稲田大学グリーン・コンピューティング・システム研究機構、TDCソフト株式会社 ■地区スポンサー：バンドワイドコーポレーション日本支社、株式会社TRADECREATE 	
④南関東地区(24チーム) <ul style="list-style-type: none"> ■地区特別・運営協力：神奈川工科大学、情報科学専門学校 ■地区スポンサー：株式会社シーイーシー、株式会社図研、神奈川工科大学 	

2) 地区大会



⑤ 東海地区(35チーム)

- 地区特別協力：
株式会社デンソー、
静岡大学情報学部組込みシステムアーキテクト研究所、
愛知工業大学、株式会社アドヴィックス、
浜松職業能力開発短期大学校
- 地区スポンサー：株式会社F U J I



⑥ 関西・北陸地区(26チーム)

- 地区特別協力：
株式会社富士通ラーニングメディア
- 地区スポンサー：
株式会社大阪エヌデーエス、
株式会社富士通ラーニングメディア



14

2) 地区大会



⑦ 中四国地区(13チーム)

- 地区特別・運営協力：福山大学
- 地区スポンサー：ひろしま自動車産学官連携推進会議



⑧ 九州北地区(11チーム)

- 地区特別協力：
九州産業大学、
NPO法人九州組込みソフトウェアコンソーシアム、
一般社団法人情報処理学会九州支部、
学校法人コア学園 唐津ビジネスカレッジ
- 運営協力：九州産業大学
- 地区スポンサー：株式会社マイナビEdge



※2024年の地区大会は、九州南地区と合同で実施しました。

15

2) 地区大会



⑨ 九州南地区(6チーム)

- 地区特別協力：
独立行政法人 国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校
- 地区スポンサー：株式会社ソフト流通センター



※2024年の地区大会は、九州北地区と合同で実施しました。

⑩ 沖縄地区(12チーム)

- 運営協力：琉球大学
- 地区スポンサー：株式会社ヴィッツ沖縄



16

3) エントリークラス大会



エントリークラスについては、昨年に引き続きシミュレータでの競技会を実施しました。

全地区の参加チームがオンライン上で集まり、東日本地域・西日本地域に分かれて競技を実施しました。

大会当日は、**56チーム**が競技を披露しました。



17

4) チャンピオンシップ大会



【日程】2024年11月20日(水)、21日(木)、22日(金)
【会場】パシフィコ横浜アネックスホール
EdgeTech+ 2024会場で開催



【トピックス】

- ・ **フィジカル部門に参加した、143チームの上位32チームが出場**
 - ・ 11/21(木)競技会を実施
 - ・ 前日11/20(水)は同会場にてテスト走行を実施
 - ・ EdgeTech+ 2024会場で開催し、集客を狙う
 - ・ 競技会の様子はZoomにてライブ配信
- ・ **3日目(11/22(金))にワークショップを実施**
 - ・ 著名な審査員方による解説や参加者との議論を行う教育の場として活用
 - ・ 各審査員によるモデリング相談所の開設
 - ・ ETロボコン参加者以外の一般の方も聴講可能

18

4) チャンピオンシップ大会



■ 競技会



4) チャンピオンシップ大会			ETロボコン2024	ETロボコン
■競技会 表彰結果 (プライマリークラス)				
プライマリークラス(競技)				
順位	チーム名	所属		
優勝	A I S A N P R I D E	愛三工業株式会社		
準優勝	てなろぼ★がらいまい	株式会社システナ 大阪支社 ロボット制御WG		
第3位	ヒット&ラン	八戸工業大学 工学部		
プライマリークラス(モデル)				
順位	チーム名	所属		
見るべきモデル大賞	ロボットAI好き家	曙ブレーキ工業株式会社 開発部門 電動開発部		

20

4) チャンピオンシップ大会			ETロボコン2024	ETロボコン
■競技会 表彰結果 (アドバンストクラス)				
アドバンストクラス(競技)				
順位	チーム名	所属		
優勝	HELIOS	株式会社アドヴィックス		
準優勝	Smart Slackers	九州産業大学 理工学部		
第3位	D:Drive	株式会社デンソー		
アドバンストクラス(モデル)				
順位	チーム名	所属		
エクセレントモデル	D:Drive	株式会社デンソー		
ゴールドモデル	HELIOS	株式会社アドヴィックス		
シルバーモデル	ちいはや	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社		
アドバンストクラス(総合)				
順位	チーム名	所属		
総合 優勝	HELIOS	株式会社アドヴィックス		
総合 準優勝	D:Drive	株式会社デンソー		
総合 第3位	Smart Slackers	九州産業大学 理工学部		

21

4) チャンピオンシップ大会			ETロボコン2024	ETロボコン
■競技会 表彰結果 連携先による表彰				
特別賞	チーム名	所属	選定基準	
IPA賞	HELIOS	株式会社アドヴィックス	「信頼性の向上」を観点として、 優れた設計を行っているチームを表彰	
TOPPERS賞	HELIOS	株式会社アドヴィックス	優れた設計・実装技術をもつチームを表彰	
若手奨励賞	Smart Slackers	九州産業大学 理工学部	学生を対象として、 優秀な成績を収めたチームを表彰	

22

JASA イノベーションチャレンジ実行委員会

1. 活動概要(2024 年度の事業方針:事業予算案)

2024 年度は、イベント内容を抜本的に見直し、より多くの参加チームを募れるような内容に変更するとともに、引き続き運営費用の削減を図ることにより、継続的なイベントの実施と赤字運営からの脱却を目指す。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

- ・2025 年 1 月 20 日 仮説検証ブートキャンプの振り返り
- ・2025 年 2 月 14 日 仮説検証ブートキャンプ 2025 企画会議
- ・2025 年 2 月 19 日 仮説検証ブートキャンプ 2025 実行委員会
- ・2025 年 3 月 12 日 仮説検証ブートキャンプ 2025 実行委員会

【事業No.2】DX 推進に貢献できるビジネス指向人材の育成を目的としたコンテストの企画および運営全般(旧 DX イノベーションチャレンジ)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

仮説検証ブートキャンプ ～VUCA ワールドを制する短期集中トレーニング～

主催 一般社団法人組込みシステム技術(JASA)

共催 特定非営利活動法人人間中心設計推進機構(HCD-Net)

一般社団法人人間中心社会共創機構(HCS 共創機構)
後援 経済産業省、デジタル庁、情報処理推進機構 (以上申請中)
企画・運営 仮説検証ブートキャンプ実行委員会
参加企業 17 社、59 名

実践形式 フィールドワーク

- ◆第1回:2024年 9月 24日(火)13:00～17:00
- ◆第2回:2024年 10月 22日(火)13:00～17:00
- ◆第3回:2024年 11月 05日(火)13:00～17:00

企画 プレゼンテーション

2024年 11月 22日(金)、成果発表となる、参加者 10 チームによる企画プレゼンテーションを開催

●参加チーム(発表順)

ねりまもりん、OSK³(オーエスケキューブ)、仮説検証 108 回、のぶこ 案内人進め! Go-Getters!、チーム雰囲気まじめ、ドローン・エイド、絆(きずな)セブン理想のスイッチ企画チーム、ひまわり組

●受賞チーム

- ・最優秀賞:進め! Go-Getters! 「もしものとき情報で大切な人を守る Unite(ユナイト)」
- ・優秀賞:ドローン・エイド「ドローン・エイド～ドローンによる災害支援システム～」
理想のスイッチ企画チーム「集合スイッチ～簡単操作でつなぐ、家族の今ここ～」
- ・HCD ファシリテーター賞:ねりまもりん「地域お助け「守鈴」(まもりん)」
- ・オーディエンス賞:ひまわり組「大切な人の今がわかり、次の動きを提案してくれるヒマワリナビゲータ」

Edge Tech+2025 関連イベント 「仮説検証ブートキャンプ」説明会 開催要領

参加をご検討頂いている企業の皆様へ

開催説明会を以下の要領で開催しますので、奮ってご参加ください。

■「仮説検証ブートキャンプ」2025年度も開催決定！

「Edge Tech+」は、これまで、時代に合わせた人材育成プログラムを提供して参りました。2024年度からは、VUCA（Volatility：変動性、Uncertainty：不確実性、Complexity：複雑性、Ambiguity：曖昧性 呼称：ブーカ）という掴みどころのない時代に、よりの確な目的（事業目標、商品像）を見出すためのスキル「仮説検証」を適切に実践できる新しい人材育成プログラムを提供しました。

そして、ご好評につき、2025年度も開催が決定いたしました。

「仮説検証ブートキャンプ」では、仮説検証の精度を高めるための手段「人間中心デザイン（人の心、生活の本質情報を拠り所とする設計開発手段）」をベースに「利用者の本質的な声」に基づいた、真の仮説検証のスキル習得を目指します。

詳細は「仮説検証ブートキャンプ」公式サイト（<https://hv-bootcamp.biz/>）をご覧ください

■オンライン開催情報：仮説検証ブートキャンプ 説明会

説明会 第1回 開催日：5月19日（月）16時～17時 オンライン

説明会 第2回 開催日：6月25日（水）16時～17時 オンライン

説明会 第3回 開催日：7月16日（水）16時～17時 オンライン

開催方法：オンライン（ZOOM）

説明会は参加費無料

ZOOM登録（各回共通）

<https://us06web.zoom.us/join/HbQJd3l8RVqiU37fyuVu7w>

■開催要領：アジェンダ

1) 仮説検証ブートキャンプ プレゼン審査員長：

慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 委員長
教授 白坂 成功 様 ご挨拶（ビデオメッセージ）

2) 仮説検証ブートキャンプ 実行委員長：

JASA副会長 株式会社エクスモーション代表取締役社長 渡辺 博之 様
～今なぜ「仮説検証」なのか～

3) 仮説検証ブートキャンプ ファシリテータ+事務局：

～仮説検証プログラムの魅力について～

- ・株式会社 明電舎 山口 恒久 様
（人間中心設計推進機構、ビジネス支援事業部長）
- ・株式会社U'eyesDesign 代表取締役 田平 博嗣 様

4) 昨年度の参加状況、参加者アンケート、参加要領、諸手続きについて

※司会進行：仮説検証ブートキャンプ 事務局 皿谷 知之（株式会社ぶらすU.）



申込受付 4月23日～8月8日 公式サイトから
<https://hv-bootcamp.biz/>

技術本部

1.活動概要(2024年度の事業方針)

会議(委員会、WG会議)

技術本部セミナー(EdgeTech+2024)など、技術本部・各委員会の成果を発表する

2.各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

技術本部予算意見交換

日時:2024年5月13日(月)13:00～15:00

場所:JASA 会議室(WEB 会議)

1.活動概要(2024年度の事業方針)

会議(委員会、WG会議)

技術本部セミナー(EdgeTech+2024)など、技術本部・各委員会の成果を発表する

2.各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

第1回技術本部会議

日時:2024年5月13日(月)13:00～15:00

場所:JASA 会議室(WEB 会議)

第2回技術本部会議

日時:2024年9月9日(月)15:00～17:00

場所:JASA 会議室(WEB 会議)

第3回技術本部会議

日時:2024年12月20日(金)15:00～17:00

場所:JASA 会議室(WEB 会議)

技術本部予算会議

日時:2025年1月20日(月)10:00～15:00

場所:JASA 会議室(WEB 会議)

第4回技術本部会議

日時:2025年3月10日(月)15:00～

場所:JASA 会議室(WEB 会議)

【事業No.2】成果発表会

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

各委員会の前年度の活動成果を、会員や一般向けに発表する。

参加者 24 社 40 名

日 時 2024 年 6 月 21 日(金)12:55～17:30

場 所 一般財団法人 日本教育会館 及び WEB 会議

発表委員・WG

12:55～ 開会

13:00～ 安全性向上委員会

13:20～組込みシステムセキュリティ委員会

13:40～ ドローン WG
14:00～ コモングラウンド委員会
＜ 休 憩 ＞
14:35～ スマートライフ WG
14:55～ OSS 活用 WG
15:15～ アジャイル研究 WG
15:35～AI 研究 WG
＜ 休 憩 ＞
16:10～ Open EL 活用 WG
16:30～ RISC-V WG

最優秀 RISC-V WG
優 秀 組込みシステムセキュリティ委員会
優 秀 AI 研究 WG
“特別賞(会長賞)” コモングラウンド委員会

【事業No.3】技術本部セミナー(EdgeTech+West2024)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

EdgeTech+West2024 JASA 技術本部セミナーを開催。

技術本部各委員会の中間成果を中心にセミナーを実施する

2024 年 7 月 12 日 JASA セミナーを実施

JASA 技術本部セミナー(1) 組込みシステムセキュリティ委員会 WG 10:15～11:00

「サイバーセキュリティ動向とセキュリティ対策

～サイバーセキュリティ人材育成カリキュラム、国際認証支援プログラム紹介～」

JASA 技術本部 組込みシステムセキュリティ委員会 副委員長 牧野 進二氏

Web 事前登録者 62 名(オンデマンド配信:63 名)

JASA 技術本部セミナー(2) コモングラウンド委員会 ドローン WG 11:15～12:00

「箱庭ドローンシミュレータの紹介と活用事例

～リアル空間・バーチャル空間を使ったシミュレータの活用～」

コモングラウンド委員会 ドローン WG 森 崇氏

Web 事前登録者 28 名(オンデマンド配信:34 名)

JASA 技術本部セミナー(3) コモングラウンド委員会 12:15～13:00

「Society5.0 の実現へ向けたエッジテクノロジーの役割」

コモングラウンド委員会 委員長 國井 雄介氏

Web 事前登録者 54 名(オンデマンド配信:52 名)

JASA 技術本部セミナー(4)OpenEL 活用 WG 13:15～14:00

「OpenEL が変える組込みシステム開発」

プラットフォーム構築委員会 OpenEL 活用 WG 主査 中村 憲一氏

Web 事前登録者 27 名(オンデマンド配信:46 名)

JASA 技術本部セミナー(5)ハードウェア委員会 RISC-V WG 14:15～15:00

「JASA 版カスタムチップ作りに挑戦」

ハードウェア委員会 RISC-V WG 主査 小檜山 智久氏

Web 事前登録者 10 名(オンデマンド配信:12 名)

JASA 技術本部セミナー(6)応用技術調査委員会 AI 研究 WG 15:15～16:00

「エッジにおける AI 活用研究 2024」

応用技術調査委員会 AI 研究 WG 主査 中村 仁昭氏

Web 事前登録者 94 名 (オンデマンド配信:83 名)

【事業No.4】 技術本部セミナー(EdgeTech+2024)

目的 ・ 業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

EdgeTech+2024 JASA 技術本部セミナーを開催。

技術本部 ・ 各委員会の成果を発表する。

2024 年 11 月 22 日(金) 10:15～17:00 アネックス

S3-01 組込みシステムセキュリティ委員会 10:15～10:45

サイバーセキュリティ動向 SBOM の活用～委員会の取組みと SBOM 動向の紹介～

キーサイト ・ テクノロジー(株) ネットワークエンジニアリング部 千徳 仁氏

聴講者数 73 名(事前予約 168 名)

S3-02 ドローン WG 11:00～11:30

ドローンシミュレータ利活用～箱庭使って、ドローンでデジタルツイン的な体験～

(一社)組込みシステム技術協会 ドローン WG 主査 牧野 進二氏

聴講者数 29 名(事前予約 79 名)

S3-03 コモングラウンド委員会 11:45～12:15

Society5.0 を実現するためのエッジテクノロジーの役割

～コモングラウンド委員会の取組みと自律化工場の PoC 事例紹介～

(株)クレスコ IoT&モビリティ事業部 エマージングテクノロジーオフィス

國井 雄介氏

聴講者数 27 名(事前予約 58 名)

S3-04 スマートライフ WG 12:30～13:00

笑う門には福来る 画像認証による笑顔の認識技術

(株)クレスコ 第二エンベデッドソリューション事業部大阪開発センター

デジタルテクノロジスペシャリスト 加藤 恭弘氏

聴講者数 22 名(事前予約 65 名)

S3-05 アジャイル研究 WG 13:15～13:45

アジャイル成功への道

～品質保証部のアジャイル実践 ・ ダークアジャイルの事例から学ぶ～

萩原北都テクノ(株) 第一ソフトウェアプラットフォームソリューション部

マネージャー 水谷 紘也氏

聴講者数 83 名(事前予約 162 名)

S3-06 AI 研究 WG 14:00～14:30

組込 AI の現状の紹介と、組込みでの生成 AI の可能性について

(株)Bee 最高技術責任者 CTO 中村 仁昭氏

聴講者数 144 名(事前予約 300 名)

S3-07 OpenEL 活用 WG 14:45～15:15

OpenEL が変える組込みシステム開発

アップウィンドテクノロジー・インコーポレイテッド 代表取締役社長中村 憲一氏
聴講者数 51 名(事前予約 77 名)

S3-08 RISC-V WG 15:30～16:00

JASA 版カスタムチップ作りへの挑戦と RISC-V 関連団体との協創

(株)日立産機システム 事業統括本部 事業戦略部 主管技師 小檜山 智久氏
聴講者数 75 名(事前予約 135 名)

S3-09 安全性向上委員会 16:15～17:00

「Engineering a Safer World(STAMP)」翻訳本の紹介とクレーン安全設計応用事例
(公)会津大学 コンピュータ理工学部 名誉教授 兼本 茂氏

(株)タダノ 技術研究所 研究員 林 洋幸氏

聴講者数 29 名(事前予約 68 名)

【事業No.5】技術本部・各委員会の成果を発表する

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

EdgeTech+2024 JASA ブースにおいて、PR 活動を行う。

主に JASA 会員に対する AI 技術振興を行う。

スタートアップの先端技術の情報を JASA 会員で共有できるように支援する

事業活動なし

【事業No.5】技術本部・各委員会の成果を発表する

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

EdgeTech+2024 JASA ブースにおいて、PR 活動を行う。

主に JASA 会員に対する AI 技術振興を行う。

スタートアップの先端技術の情報を JASA 会員で共有できるように支援する

安全性向上委員会

組込みシステムセキュリティ委員会

コモンブランド委員会

スマートライフ WG

ドローン WG

OSS 活用 WG

OpenEL 活用 WG

RISC-V WG

が展示を実施した

3.活動成果/成果物

4.今後の予定[2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日]

安全性向上委員会

1.活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

- AI や IoT(含むセキュリティ)に代表される複雑システムの機能安全の課題や国際規格についての調査・研究を行う。成果は積極的に情報発信していく。
- STAMP モデルをコア技術とした安全設計や事故分析の事例を蓄積し、技術者の啓発活動に役立てる。
- 安全設計にかかわる仕様書において、その論理性や非機能要件の明示化にかかわる問題点を整理して改

善のための議論をする。

- 上記で得た知見を整理し、セミナーなどでの啓発活動を行う。加えて、有識者に指導をいただき、さらに知見を高める。そのためにも、大学、研究機構、IPAなど外部組織・団体との技術交流、連携を積極的に推進する。
- 「つながる社会での機能安全」、「安全仕様化」、「啓発・連携」の3つを委員会内WGとして設置する。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

- 定例会にて各WGの活動を行う。
- JASA 内での他の委員会(特にセキュリティ委員会)との合同での研究会を行い、Safety & Security の考え方をまとめる。
- STAMP-WS への投稿。
- 安全設計セミナーの開催。
- 上記を通じ、委員各位の知見を深めるとともに JASA 会員企業へ複雑システムの安全設計に関する考え方の普及啓発を行う。

日 時 2024 年 4 月 19 日(金) 14:00~17:00

場 所 JASA 会議室&WEB会議 (ハイブリッド)

参加者 18 名/10 社

概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論

「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携 WG

・安全仕様化 WG

通信が絡む故障パターンについて説明と議論。

・啓発・連携 WG

技術成果発表会に向けた準備(発表者、発表内容)

・協業(株タダノ)

クレーン作業(荷物のつり上げ~目的地点への移送完了)前提を通した STAMP 分析を議論。安全要件(コンポーネント):対策を機能/運用/教育に分類して整理

・安全設計セミナーWG

今年度 2 回実施で計画(日時、実施方式等)検討

第 1 回は、委員長を中心に集客 PJ を立ち上げる

成 果

・セミナー計画

・(株タダノ)における安全性分析事例

日 時 2024 年 5 月 17 日(金) 14:00~17:00

場 所 JASA 会議室&WEB会議 (ハイブリッド)

参加者 14 名/9 社

概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論

「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携 WG

・安全仕様化 WG

動画通信の不整合パターンについて説明と議論。

・啓発・連携 WG

技術成果発表会の発表内容レビュー

・協業(株タダノ)

クレーン作業(荷物のつり上げ~目的地点への移送完了)前提を通した STAMP 分析を議論。安全要件(コンポーネント):全 CA の分析と対策との対応整理

・つながる社会での機能安全 WG

翻訳中の Nancy G. Leveson の「Engineering a Safer World」について紹介
タイトル「システム理論による安全工学～想定外に気づくための思考法 STAMP～」

成 果

- ・(株)タダノにおける安全性分析事例

日 時 2024 年 6 月 21 日(金) 14:00～17:00

場 所 WEB会議

参加者 16 名/10 社

概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論
「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携 WG
・安全設計セミナーWG
・上期セミナー計画詳細化(内容、方式、分担)
最近の安全に関する事例など(STAMPの視点から)の紹介を追加

成 果

- ・セミナー計画

日 時 2024 年 7 月 19 日(金) 14:00～17:00

場 所 JASA 会議室&WEB会議 (ハイブリッド)

参加者 15 名/10 社

概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論
「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携 WG
・つながる社会での機能安全 WG
論文紹介と議論
①Systems-Theoretic Safety Assessment of Teleoperated Road Vehicles (2021)
②日本大学授業資料(大学院の授業で使用)
安全分析手順と STPA 手順についてアップデートした勘所のパートを紹介と議論
・協業(株)タダノ
クレーン作業(荷物のつり上げ～目的地点への移送完了)前提を通した
STAMP 分析を議論。システム安全要求まとめと実証実験時の(写真)紹介
・安全設計セミナーWG
上期セミナー計画詳細化(内容、方式、分担)
第 2 回を終日とし、午前：講演、午後：ハンズオン
講演に「最近の事故に関する分析の可能性について」を追加

成 果

- ・セミナー計画
- ・(株)タダノにおける安全性分析事例

日 時 2024 年 8 月 23 日(金) 14:00～17:00

場 所 JASA 会議室&WEB会議 (ハイブリッド)

参加者 13 名/11 社

概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論
「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携 WG
・安全仕様化 WG
人が絡むシステムの 安全制約逸脱シナリオ導出手法 - STAMP/STPA を使いこなすために - について説明と議論。
・つながる社会での機能安全 WG

論文紹介と議論

「Google NotebookLM で STPA してみた」で生成 AI を使って STPA 分析してみた結果の紹介と議論

・協業(株タダノ)

クレーン作業（荷物のつり上げ～目的地点への移送完了）前提を通した STAMP 分析を議論。 ロスシナリオと対策纏め

9 月に機械学会で安全分析成果の発表とデモ（クレーンの遠隔操作）を予定

・啓発・連携 WG

東京都産業技術研究センター(TIRI)から共同研究募集(補助金付き)の紹介
ET 展の発表とパネル展示について検討

成 果

- ・(株タダノ)における安全性分析事例

日 時 2024 年 9 月 27 日(金) 14:00～17:00

場 所 JASA 会議室 & WEB

参加者 13 名/11 社

概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論

「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携 WG

・啓発・連携 WG

Edge-Tech 展に向けた準備(講演:発表者、発表内容、展示パネル)

・協業(株タダノ)

成果確認のための現地訪問計画について議論

・安全設計セミナーWG

下期計画（日時、実施方式等）検討

JASA 外の専門家（早稲田小松原教授、ビブロジー福島様）実務経験者（(株タダノ)）にも講演をお願いする。

成 果

- ・セミナー計画

- ・(株タダノ)における安全性分析事例

日 時 2024 年 10 月 18 日(金) 14:00～17:00

場 所 JASA 会議室 & WEB

参加者 12 名/10 社

概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論

「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携 WG

・安全仕様化 WG

通信が絡む故障パターンと安全制約逸脱シナリオについて説明と議論。

・啓発・連携 WG

Edge-Tech 展に向けた講演:発表者、発表内容、展示パネルの詳細議論

Bulletin JASA 寄稿(委員会活動紹介)内容議論

・協業(株タダノ)

現地成果確認結果の共有と分析・支援活動の振り返り

・安全設計セミナーWG

下期計画（日時、実施方式等）検討

JASA 外の専門家（早稲田小松原教授、ビブロジー福島様）実務経験者（(株タダノ)）から依頼承諾を得てプログラム詳細議論。

成 果

- ・セミナー計画

- ・(株)タダノにおける安全性分析事例
- ・Edge-Tech 展 パンフレット、講演内容、パネル

日 時 2024 年 11 月 22 日(金) 13:00～14:00
 場 所 村田製作所様会議室(みなとみらいイノベーションセンター会議室)
 参加者 12 名/10 社
 概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論
 「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携 WG
 ・啓発・連携 WG
 Bulletin JASA 寄稿(委員会活動紹介)内容議論最終確認
 Edge-Tech 展来ブース者対応(フォロー)議論
 ・協業(株)タダノ
 活動を継続していくために JASA 会員になっていただいた。
 ・安全設計セミナーWG
 残りの TO DO LIST (外部招待講演者関係と PR 依頼関係)を確認

成 果

- ・セミナー計画
- ・JASA 会員獲得

日 時 2024 年 12 月 13 日(金) 14:00～17:00
 場 所 JASA 会議室 & WEB
 参加者 14 名/10 社
 概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論
 「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携 WG
 ・啓発・連携 WG
 AI/IOT安全性シンポジウム 2024 参加報告
 ・安全仕様化 WG
 VDM++を用いた安全制約逸脱シナリオ導出方法の提案と議論
 ・安全設計セミナーWG
 学生の無料参加を認める。ただし別窓口で受けることに決定。

成 果

- ・セミナー計画
- ・安全制約逸脱シナリオ導出技術向上

日 時 2025 年 1 月 17 日(金) 14:00～17:00
 場 所 JASA 会議室 & WEB
 参加者 16 名/10 社
 概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論
 「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携 WG
 ・全体
 来年度事業計画の議論
 ・啓発・連携 WG
 協業(株)タダノ成果の遠隔クレーン制御システムの安全分析について論文化検討
 安全工学学会誌(安全工学:総説)に提案決定
 JASA の STAMP ページ(安全性向上技術)について議論
 論文紹介 2 件と意見交換

成 果

- ・来年度事業計画
- ・STAMP ページ実施案

日 時 2025 年 2 月 21 日(金) 14:00～17:00

場 所 JASA 会議室 & WEB

参加者 17 名/10 社

概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論
「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携WG

・啓発・連携WG

STAMP ページ(STAMP 広場)に関する議論

コンテンツ増加策と提供ライセンスについて検討

安全工学会に総括記事投稿予定内容の紹介

・安全設計セミナーWG

第 1 回実施の振り返りと第 2・3 回計画の確認

一般 10 名、学生 2 名参加

成 果

・STAMP ページ実施案

日 時 2025 年 3 月 14 日(金) 14:00～17:30

場 所 JASA 会議室 & WEB

参加者 17 名/10 社

概 要 安全性向上に関する報告及び技術論と普及のための計画に関する議論
「つながる社会での機能安全」WG、安全仕様化WG、啓発・連携WG

・啓発・連携WG

STAMP ページ(STAMP 広場)に関する議論

ページの履歴管理、事務局負担軽減について検討

・安全設計セミナーWG

振り返り

第 1 回：一般 10 名、学生 2 名参加 WEB

第 2 回：一般 5 名、学 1 名参加 リアル

第 3 回：一般 6 名、学生 1 名参加 WEB

・「つながる社会での機能安全」WG

情報共有

(株)タダノ事例から TIPS を抽出

分析事例紹介「岩手県の山火事をヘリを使って消火する活動の安全性分析」

成 果

・STAMP ページ実施案

・安全設計セミナーを通した安全分析手法の普及

・2025 年度計画

【事業No.2】つながる社会での機能安全」WG

目的

つながる社会での機能安全の課題検討、特に AI・IoT(含むセキュリティ)がかかわる複雑システムの安全にかかわる課題を検討する。

業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

・AI/IoT エッジの安全について理解を深める。

・Safety & Security(S&S)の考え方をまとめ、外部に発信する。

・STAMP/STPA/CAST にかかわる事例を集め、つながる社会での機能安全に役立つ考え方としてまとめる。

【事業No.3】安全仕様化WG

目的

委員会活動の成果を発信し、社会啓発に資する。また、委員会内の交流を促進する。

業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

- ・Safety & Security(S&S)の考え方をまとめ、外部に発信する。
- ・安全が関わる要求を仕様化するプロセスを研究し、プロセスモデル又は手法を提案する。啓発・学術活動として、セミナー講師の派遣、学会や技術誌への投稿を行う。
- ・安全誘導型設計プロセスモデルを重点課題とし、自主的に活動し、相互啓発を図る。
- ・手法として、意図・要求記述手法や、形式検証手法、安全解析手法に取り組む。
- ・AI/IoTエッジの安全について理解を深める。
- ・STAMP/STPA/CAST にかかわる事例を集め、つながる社会での機能安全に役立つ考え方としてまとめる。

【事業No.4】啓発・連携WG

目的

委員会活動の成果を発信し、社会啓発に資する。また、委員会内の交流を促進する。

業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

- ・安全設計セミナー、STAMPセミナーの開催
- ・STAMP-WS開催支援
- ・合宿の企画(9月または10月)
- ・外部との交流の中からオープンイノベーションの機会を増やしていく。
- ・会合は原則、委員会と一体で進めるが、議案は独立に扱う。

【事業No.5】安全設計セミナーWG

目的

委員会活動の成果を発信し、安全技術の普及を行う。

業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

- ・安全設計セミナーの開催(JASA 内、企業出張)
- ・STAMP/STPAを中心に行う。
- ・聴講者との交流も深める。
- ・開催要領作成、開催支援は委員会と一体で進める。

3. 活動成果/成果物

- STPA 適用に関する知見の拡大と獲得
- ㈱タダノにおける安全性分析事例
- ㈱タダノを JASA 会員にリクルート
- 広報誌(STAMP 広場)設置

4. 今後の予定[2025 年 4 月 18 日～3 月 13 日]

- 2025 年 4 月 18 日(金)第 1 回委員会(JASA 会議室)
- 2025 年 5 月 16 日(金)第 2 回委員会(JASA 会議室)
- 2025 年 6 月 20 日(金)第 3 回委員会(JASA 会議室)
- 2025 年 7 月 18 日(金)第 4 回委員会(JASA 会議室)
- 2025 年 8 月 22 日(金)第 5 回委員会(JASA 会議室)
- 2025 年 9 月 19 日(金)第 6 回委員会(JASA 会議室)
- 2025 年 10 月 17 日(金)第 7 回委員会(JASA 会議室)
- 2025 年 11 月 21 日(金)第 8 回委員会(場所未定)
- 2025 年 12 月 19 日(金)第 9 回委員会(JASA 会議室)
- 2026 年 1 月 16 日(金)第 10 回委員会(JASA 会議室)
- 2026 年 2 月 20 日(金)第 11 回委員会(JASA 会議室)

組込みシステムセキュリティ委員会

1. 活動概要(2024 年度の事業方針:事業予算案)

1. IoT セキュリティの国際安全基準適合の認証取得、対応認証事業の運営

2023 年度にセキュア IoT プラットフォーム協議会と立ち上げた「IoT セキュアプログラム」(IEC62443 ベースの認証)を運営していき、認定事業を有償運営し、収益に繋げる。

2. JASA 版「組込みセキュリティ教材」の運営

委員会に参加している企業にて、開発したセキュリティ教材を運営しえいき、有償セミナーを実施し、収益に繋げる。開発コンテンツは、改変/受講者のレベルに合わせて、変更しながら運営を実施する。

3. サイバーセキュリティ国際規格の動向調査、セミナーコンテンツ開発、コンテンツの配信(有償化)

2023 年度中に開発が完了しなかった EU EN303 645 規格、米国の NISTIR8259 など国際情勢を見ながら、IoT 機器向けの規格調査を行い、コンテンツを開発し、オンラインで有償配信を行い、収益に繋げる。

4. 外部組織との情報交換、セミナー活動

都立産業技術センターとの共同セミナーの開催、セキュア IoT プラットフォーム協議会との共同セミナーの開催などを通じて、中小企業向けの啓発活動を実施する。その他、団体との連携は随時実施する。

5. 委員会活動、JASA 内の WG、委員会との連携活動

EdgeTech+での講演による会員企業の知名度アップと中小企業向けの啓発活動を実施する。

委員会は、月 1 回の開催を実施する。JASA 内での他の委員会、WG とともにセキュリティ部分で連携を図る。

2. 各事業についての報告

【事業No.5】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

- ・毎月 第二木曜日、年 12 回のハイブリットでの開催
- ・都産技研との共同開催を行い、都産技研とのセキュリティー啓発活動をする。

(1) 2024 年度 第 1 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日 時 2024 年 4 月 11 日(木) 16:00~17:30

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 15 名

概 要 以下のテーマに沿った議論を実施した。

- ①Bulletin JASA 04 月号の共有
- ②セキュリティ演習、IoT 認定プログラムのプレスリリースの共有
- ③生成 AI 活用したセキュリティ活動
- ④セキュアバイデザインの輪講共有
- ⑤その他
 - ⑤-1 都産技研との共同セミナー検討
 - ⑤-2 Keysight Tech Day のセミナー講演

成 果 ①JASA 機関誌の Bulletin JASA 04 月号の記事内容を共有した。内容としては、セキュリティ演習、IoT 認定プログラムの宣伝に繋がられるような内容として、国際動向から見た認定などを中心に記事を作成した旨を報告した。

②プレスリリースの時期とプレス方法などを協議し、5/13 目標で対応することとした。

- ③今年度から、新たに生成 AI を活用した取組みをすることを委員会にて提案した。活動に協力してくれる委員を募集し、活動を開始する予定となった。
- ④セキュアバイデザインの輪講をしたいとのことで、早川委員が中心になり 4 月より開始した。輪講した結果は、教育コンテンツや書籍にする方向で調整しながら進める予定となった。
- ⑤その他
 - ⑤-1 都産技研と共同セミナーを今年度開催する方向で調整を実施した。1 回目 8 月、2 回目 3 月とし、内容を委員会で議論しながら進めることとなった。
 - ⑤-2 Keysight さんが 8 月に開催する Keysight Tech Day での講演依頼があった。内容を詰めながら進める予定となった。

(2) 2024 年度 第 2 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日 時 2024 年 5 月 16 日 (木) 16:00～17:30

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 15 名

概 要 以下のテーマに沿った議論を実施

- ①各プレスリリース状況の共有
- ②セキュアバイデザインの輪講共有
- ③生成 AI 活用の状況共有
- ④経産省の産業サイバーセキュリティ研究会の資料内容共有
- ⑤その他
 - ⑤-1 経済安全保障推進法
 - ⑤-2 NVD のセキュリティ被害の共有
 - ⑤-3 脆弱性監視用のフレームワークの共有

- 成 果 ①各プレスリリースを 5/13 週にしていたが、5/21 の理事会後にすることとした。5/22 に各プレスリリースをして、反応を見ることとなった。
- ②セキュアバイデザインの輪講を鈴木委員から報告予定であったが、欠席のため延期とした。
- ③生成 AI 活用の状況共有
エクスマーシオンさん、DIT さんの方で活動に協力してくれるとのことで、進め方や世の中の動向を共有した。進め方などは、次回以降の委員会で検討することとした。
- ④経産省の産業サイバーセキュリティ研究会の資料内容共有
4 月にできなかった経産省の資料に関する読み合わせを実施した。
今後のセキュリティ動向などから、委員会で取り上げるテーマなどを議論した。
- ⑤その他
 - ⑤-1 経済安全保障促進法の動向について情報を共有した。
プライバシーデータなどデータの取り扱い方法に関しては注意が必要になりそうであった。
 - ⑤-2 脆弱性情報などを取り扱っている NVD がセキュリティ侵害を受けたらしく、事例の紹介を実施した。
 - ⑤-3 OWASP が展開しているデペンデンシートラックという脆弱性監視用のフレームワークについて情報共有を実施した。

(3) 2024 年度 第 3 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日 時 2024 年 6 月 13 日 (木) 16:00～17:30

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 15 名

概 要 以下のテーマに沿った議論を実施

- ①成果発表会の資料共有
- ②EdghTech+West の展示内容の検討
- ③セキュアバイデザインの輪講の共有

- ④都産技研とのセミナー開催の検討
- ⑤能動的サイバー防御の動向について共有
- 成 果 ①2024 年 6 月 21 日に行われる技術本部の成果発表会での資料について共有した。
内容は、セキュリティ演習、IoT 認定の活動結果を中心に発表することを報告した。
- ②EdgeTech+West の展示内容は、セキュリティ演習、IoT 認定を中心にしたパネルとパンフを配布する方向とした。講演については、飯嶋委員、鈴木委員で検討してもらい、21 日までに決める方向となった。
- ③セキュアバイデザインの輪講は、最終報告を鈴木委員から行って貰った。
最終報告から委員会で書籍化に向けて、ベースの目次を考えることとなった。
- ④都産技研とのセミナー開催について、時期 9/6 に実施することとし、各々テーマを持ち寄って対応することとした。
- ⑤セキュリティ動向として、政府が進めている能動的サイバー防御についての情報共有を実施した。今後、生成 AI などを活用した防御策も必要になると思われるので、動向を追っていくこととした。

(4) 2024 年度 第 4 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日 時 2024 年 7 月 18 日(木) 16:00~17:30

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 15 名

概 要 以下のテーマに沿った議論を実施

- ①EdgeTch+West の講演内容の共有
- ②セキュリティ対策の検討
- ③生成 AI 使ったセキュリティ対策
- ④-1 DIT さんの大阪事業所での講習共有
- ④-2 AI/IoT システム安全シンポジウムの講演共有
- ④-3 Keysight World2024 Tech Day の講演共有

- 成 果 ①EdgeTech+West での講演の共有を実施した。②、③も講演内容に入っており、内容を解説しながら、説明を実施した。
- ②③は、①にて解説を実施し、これらのセキュリティ対策に向けた検討や動向などを議論した。
- ④-1 EdgeTech+West の開催期間で、DIT さんの大阪事業所にてセキュリティ動向の講習を行った内容を共有した。
- ④-2 TOPPERS 箱庭 WG からの依頼で、12 月に行われる AI/IoT システム安全性シンポジウムの講演内容の共有を実施した。
- ④-3 8/2 に行われる Keysight World での講演内容の共有を実施した。ほぼ、EdgeTech+West での講演とは変えないで対応することとした。

(5) 2024 年度 第 5 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日 時 2024 年 8 月 8 日(木) 16:00~17:00

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 15 名

概 要 以下のテーマに沿った議論を実施

- ①情報セキュリティ大学院大学 大久保先生からの講演
- ②UN-R155 でのプロセス解説 IPA 萱島さん
- ③サイバーセキュリティの取組み紹介
- ④ドローンのサイバーセキュリティや型式認証の考え方など共有
- ⑤都産技研とのセミナー開催

- 成 果 ①大久保先生から「機械学習を用いた CVE から CAPEC への関連付け手法の提案」という論文の紹介を行って貰った。機械学習の手法の利用方や、課題点などについての解説をし

ていただいた。委員会で取り組んでいる生成 AI 活動に関してのアドバイスを貰えることとなった。

②UN-R155 でのプロセス解説を萱島さんから行って貰う予定だったが、欠席のため延期。

③J-AUTO-ISAC などでのサイバーセキュリティの取組みや、経産省主導で行う CTF などにての紹介を実施した。

④AI/IoT システム安全性シンポジウムの講演内容として、2020 年度に取り組んだドローンの安全/セキュリティ分析をネタとして、実際のドローンレベル 4 運航にあたって型式認証から講演ネタを考えることとした。(ドローン WG 連携で対応予定)

(6) 2024 年度 第 6 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日 時 2024 年 9 月 18 日(木) 16:00~17:30

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 15 名

概 要 以下のテーマに沿った議論を実施した。

①都産技研との共同セミナー開催の検討

②IoT セキュリティ教育の募集状況共有

③JAPAN Security Summit 2024 セミナー内容の共有

④内閣官房 サイバー安全保障体制整備準備室との意見交換会(事前)

⑤SBOM の利用動向の情報共有

⑥EdgeTech+横浜での展示と講演内容の検討

成 果 ①2024 年 10 月 3 日に都産技研との共同セミナー開催に関しての内容、アブストラクトなどを共有した。

②JASA 版の IoT セキュリティ教育の募集が思ったように集客ができなかったため、募集方法や開催時期を変更することを共有した。

③セキュア IoT プラットフォーム協議会から、JAPAN Security Summit 2024 への講演依頼があり、講演内容の共有を行った。講演自体は 9 月 24 日に録画にて対応する予定。

④9 月 20 日に予定されている内閣官房 サイバー安全保障体制整備準備室との意見交換会の事前として、提供された資料の内容を共有した。

⑤SBOM の利用動向として、SBOM が利用されている国際規格などを共有した。

⑥EdgeTech+横浜での展示、講演内容の検討を実施。展示は、NXP 製の Buggy を利用した改ざん検知/自動復旧のデモとして、実際に走行している場合に改ざんされたデモと改ざん検知/自動復旧するデモの 2 つを実施する予定とした。講演については、キーサイトさんにて、SBOM に関しての講演をして頂くこととした。

(7) 2024 年度 第 7 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日 時 2024 年 10 月 10 日(木) 16:00~17:30

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 15 名

概 要 以下のテーマに沿った議論を実施

①都産技研との共催セミナー結果の共有

②EdgeTech+横浜での講演事前調整

③EdgeTech+横浜での展示方法の検討

④生成 AI 活用に向けた共有

⑤JAPAN Security Summit 2024 講演内容の共有

⑥内閣官房室との情報交換結果の共有

⑦認証支援プログラムの普及活動の検討

成 果 ①2024 年 10 月 3 日に実施した都産技研との共催セミナーの結果を共有頂いた。アンケート結果としては、満足度が高いものであった。テーマを変えて、3 月くらいに再度実施する方向とした。

- ②EdgeTech+横浜での講演の事前として、キーサイトさんから SBOM 関連の講演内容についての共有をして頂いた。
- ③EdgeTech+横浜での展示内容の詳細についての共有を実施した。
- ④組織活性化研究所さんの持っている生成 AI エンジンを活用したセキュリティ分析のための生成 AI 活用に向けた構想に関しての情報共有を実施した。
- ⑤9 月 24 日に対応した JAPAN Security Summit 2024 向けの講演内容の共有を実施した。
- ⑥9 月 20 日に行った内閣官房室との意見交換の結果を共有した。JASA としえ協力できそうな部分としては、セキュリティエンジニアの育成部分が良いため、継続して意見交換を実施していくが必要になってくる。
- ⑦セキュア IoT プラットフォーム協議会の方から、セキュア IoT プログラムの認定支援制度の普及活動においての検討依頼があり、JASA 側で支援できそうな部分を検討していくこととした。

(8) 2024 年度 第 8 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日 時 2024 年 11 月 14 日 (木) 16:00~17:30

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 15 名

概 要 以下のテーマに沿った議論を実施

- ①EdgeTech+横浜での展示、講演内容の最終確認
- ②セキュア IoT プログラムの普及活動における JASA 側での対応内容の共有
- ③情報セキュリティ大学院大学 セキュリティ人材育成プログラムの紹介
- ④サイバーセキュリティの動向に関しての情報共有
- ⑤PSIRT 活動における勘所の情報共有

- 成 果
- ①デモ内容、講演内容の最終チェックを実施。講演資料は 11 月 15 日に提出する予定で推進することを共有した。
 - ②10 月にセキュア IoT プラットフォーム協議会の方から相談があった普及活動について JASA 事務局を入れた進め方の打ち合わせを実施。実施した結果、認定支援プログラムで認定取った場合の利用側のメリットがないと普及に繋がらないとの結果となったことを共有。今後、経済産業省、IPA 様などと議論しながら認定取れた場合のメリットを作った上で、JASA 側での普及活動を行っていくこととした。
 - ③情報セキュリティ大学院大学の久保先生より、大学で展開しているセキュリティ人材育成のプログラムの紹介を頂いた。演習含めて、上流工程の知見や、PwC さんが展開しているセキュリティ人材育成のプログラムの利用もあり、実践的な内容であった。
 - ④サイバーセキュリティ動向として、サイバーレジリエンス法、SDV 時代のプログラミング言語の利用などの情報共有を行った。
 - ⑤サイバーレジリエンス法関連で PSIRT 活動において、早川さんの方から継続的な脆弱性監視方法の質問があった。継続的に監視をするためには、脆弱性情報を組織が利用し易い形で管理することが重要になってくるため、複数の脆弱性情報を組合せた上で、独自管理も必要になっていく例を説明した。

(9) 2024 年度 第 9 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日 時 2024 年 12 月 19 日 (木) 16:00~17:30

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 15 名

概 要 以下のテーマに沿った議論を実施した。

- ①今後の委員会の進め方
- ②書籍構想
- ③日本テクノセンター様からの依頼内容共有
- ④委員長からの伝達事項

- 成 果 ①今後のセキュリティ委員会の進め方として、各テーマやディスカッションの内容などを決めながら進める方向で方針とした。他分野での動向など踏まえてディスカッションする方が知見が増えるなどのメリットもある。第一回は、ドローンの安全性とセキュリティということで「AI/IoT システム安全性シンポジウム」にて発表した資料を題材に、航空法における安全性とセキュリティに関しての共有を実施した。
- ②セキュリティ委員会として、書籍を出すような構想を検討していくことを委員会内で共有した。今まで検討してきた、セキュリティ教材や諸外国の動向などを踏まえて、纏める方針を共有した。
- ③日本テクノセンター様から、組込み向けのセキュリティセミナーの開催についての依頼があり、内容を共有した。実際の開催は未定。
- ④委員長から、Linux Foundation とのコラボした、組込み向けの OSS 教育に関しての資料の共有をした。当委員会としては、OSS に対するセキュリティなどの部分で係る予定。

(10) 2024 年度 第 10 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日 時 2025 年 1 月 22 日 (木) 16:00～17:00

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 15 名

概 要 以下のテーマに沿った議論を実施

- ①25 年度の予算案に関しての共有
- ②MON0ist 様向けの製造業セキュリティ対策の講演の共有
- ③CIAJ 交流会の案内共有
- ④書籍構想の検討

- 成 果 ①25 年度向けの予算案に関しての共有を実施。基本的には 24 年度と変更なく、教育事業、認定事業の普及に力を入れていくことでの予算案とした。
- ②1 月 16 日に MON0ist 様向けに製造業向けのセキュリティ対策に関する講演内容の共有をした。
- ③1 月 24 日に行われる CIAJ 様との交流会の案内を共有した。当委員会からは吉次委員に参加頂くこととした。
- ④書籍構想の検討の 2 回目を実施した。製造業などを踏まえて、IEC62443 などの国際規格などに沿った構想も必要になるのかもしれないなどの意見もあったが、組込み開発向けに特化した内容の方が良さそうなど様々な意見があった。今後、方針を纏めて対応方法検討する。

(11) 2024 年度 第 11 回 組込みシステムセキュリティ委員会

日 時 2025 年 2 月 20 日 (木) 16:00～17:00

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 15 名

概 要 以下のテーマに沿った議論を実施

- ①脆弱性 DB の利用方法についての共有
- ②2024 年度のサイバーセキュリティ動向の共有
- ③CIAJ 様との交流会の共有
- ④書籍構想
- ⑤Security Days Spring 2025 Tokyo
- ⑥来年度活動の共有について

- 成 果 ①脆弱性 DB として利用される NVD が昨今になり、メンテナンス不足が言われ始めており、代替えて利用できる信頼性が高い脆弱性 DB の利用方法に関しての共有をした。
- ②警察庁さんが公開している 2024 年度のサイバーセキュリティ動向の資料を共有し、攻撃の動向などを共有した。
- ③CIAJ 様との交流会に吉次委員に参加してもらい、参加した結果を共有してもらった。通信状態を分析することで、セキュリティの予兆を検知するなどの発表があったとのこと。
- ④書籍構想として、IEC62443 などの国際規格に則る案について、アドバイザー 萱島さんと議論をした結果、IEC62443 などだと、トップダウンでのセキュリティ分析や要件定義などが必要となるため、組込み開発者向けとなると範囲が幅広くなってしまうので、組込み開発に特化した形での纏め方が良さそうという結論になった。2018 年に作成した、製品の Security 検討手引きをベースに再検討する方向とした。
- ⑤委員会に参加しているサイバートラストさんから、Security Days Spring 2025 Tokyo での講演依頼があった。別途、調整を実施する予定
- ⑥来年度の活動について、ドローン WG にて万博対応などあるため、3 月、4 月は委員会活動に力を入れられない旨を共有した。来年度は、私的にも業務が変わる可能性があるため、別途、委員長と相談して活動方法を見直す方向とした。

【事業No.1】IoT セキュリティの国際安全基準適合の認証取得、対応認証事業の運営

- (1)2024 年 5 月 22 日にプレスリリースを実施
- (2)2024 年 7 月 11 日～12 日の EdgeTech+West にて展示、講演対応にて宣伝
- (3)2024 年 8 月 2 日 Keysight World での講演対応にて宣伝
- (4)2024 年 9 月 24 日 JAPAN Security Summit 2024 での講演対応にて宣伝
- (5)2024 年 11 月 22 日 EdgeTech+横浜の講演対応にて宣伝

【事業No.2】JASA 版「組込みセキュリティ教材」の運営

- (1)2024 年 5 月 22 日にプレスリリースを実施
- (2)2024 年 7 月 11～12 日の EdgeTech+West にて展示、講演対応にて宣伝
- (3)2024 年 8 月 2 日 Keysight World での講演対応にて宣伝
- (4)2024 年 9 月 24 日 JAPAN Security Summit 2024 での講演対応にて宣伝
- (5)2024 年 11 月 22 日 EdgeTech+横浜の講演対応にて宣伝

【事業No.3】サイバーセキュリティ国際規格の動向調査、セミナーコンテンツ開発、コンテンツの配信(有償化)

- (1)オンラインコンテンツの素案検討中

【事業No.4】外部組織との情報交換、セミナー活動

外部団体との連携をすることで、セキュリティに関する情報収集、セミナー活動に繋げる。

- (1)2024 年 6 月 21 日 JASA 成果発表会
- (2)2024 年 7 月 12 日 EdgeTech+West 講演
- (3)2024 年 8 月 2 日 Keysight World での講演
- (4)2024 年 9 月 24 日 JAPAN Security Summit 2024 での講演
- (5)2024 年 10 月 3 日 都産技研との共催セミナー実施
- (6)2025 年 1 月 16 日 MONOist 様向け 製造業セキュリティ対策の基調講演

3. 活動成果 / 成果物

特記事項なし

コモングラウンド委員会

1. 活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

政府の掲げる Society5.0 を実現するためには、現実空間とサイバー空間を接続する技術や、産業横断のデータ連携が重要である。しかしながら、現実空間とサイバー空間を接続する場合には、現実空間に配置されるエッジ側(センサ、アクチュエータ等)で検討しなければならない様々な課題がある。

本委員会では、上記課題を組込みの視点から調査、研究し、成果や課題解決に向けた提案の情報発信をしていく。また、課題を解決していくために、様々な業界団体、企業、大学と連携して活動を実施する各 WG の活動は従来どおり継続し、デジタルツインやシミュレータ環境について委員会と連携する。

活動概要

デジタルツイン関連技術(コモングラウンド、デジタルライフライン、箱庭等)の理解を深めるため、以下の活動を実施する。

- 専門家、有識者を招き勉強会、白熱教室を実施
- それらを、実現するための技術調査、課題解決方法の検討
 - 業界団体と連携し、情報交換、共創の場の提供
 - 技術成果発表会、展示会(EdgeTech+、EdgeTech+West 等)でのセミナーの実施
 - 共創プロジェクトの実現
 - JASA デジタルツインデモ作成
 - ドローン WG、スマートライフ WG と連携した活動

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細：事業予算案)

基本毎月定例会議の開催を予定(年 12 回程度の開催)

- ・有識者を招いた講演&勉強会
- ・各種団体との連携
- ・WG の活動状況の展開
- ・コモングラウンド委員会活動報告(デモ進捗)

日 時 2024 年 4 月 22 日(月) 15:00~17:00

場 所 クレスコ会議室

参加者 17 名/12 社

概 要

各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有

- ・コモングラウンド委員会デモ作検討
- ・来年度のデモ作成について
- ・Interface 記事作成
- ・NEDO との連携について
- ・他団体との連携について
- ・MCPC 小林様ドローン計測状況共有
- ・その他、連絡事項
- ・委員会日程について

成 果

上記アジェンダについての情報共有、報告まとめ

日 時 2024 年 5 月 20 日(月) 15:00~17:00

場 所 クレスコ会議室

参加者 15 名/12 社

概 要

■第 1 部 15:00～15:50

1. セミナー 「AR/MR アプリエンジン「iVoRiEngine」紹介
ポケット ・クエリーズ 佐々木様
http://quantize-world.com/pr_ivori/

2. 白熱教室

■第 2 部 16:00～16:00

- ・各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
- ・その他、連絡事項
- ・MCPC 小林様ドローン計測状況共有
- ・NEDO との連携について
- ・コモングラウンド委員会デモ作成検討
- ・九州モノづくりフェアについて

成 果

上記アジェンダについての情報共有、報告まとめ

日 時 2024 年 6 月 17 日(月) 15:00～17:00

場 所 JASA 会議室

参加者 21 名/12 社

概 要

■第 1 部 15:00～16:00

- ・MCPC 小林様ドローン計測状況共有
- ・その他、連絡事項
- ・各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
- ・NEDO との連携について
- ・コモングラウンド委員会デモ作成検討状況共有
- ・九州モノづくりフェアについて

■第 2 部 16:00～17:00

1. スズキ杉村様の取り組み(モビリティ連携基盤)について紹介
2. 白熱教室

成 果

上記アジェンダについての情報共有、報告まとめ

日 時 2024 年 7 月 16 日(火) 15:00～17:00

場 所 JASA 会議室

参加者 16 名/12 社

概 要

1. 各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2. その他、連絡事項
3. NEDO との連携について
4. MCPC 小林様ドローン計測状況共有
5. コモングラウンド委員会デモ作成検討状況共有
6. 九州モノづくりフェアについて

成 果

上記アジェンダについての情報共有、報告まとめ

日 時 2024 年 8 月 26 日(月) 15:00～17:00

場 所 インテック会議室

参加者 23 名/12 社

概 要

■第1部 15:00～15:50

1. セミナー 「Sparklink 紹介」 AZAPA 上竜様
<https://sparklink.org.cn/en/>
2. 白熱教室(ディスカッション)

■第2部 16:00～17:00

1. 各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2. コモングラウンド委員会デモ作成検討
 - デモ作成状況共有
 - Interface 記事
 - コンセプト動画作成
3. MCPC 小林様ドローン計測状況共有
4. NEDO との連携について
5. その他、連絡事項

成 果

上記アジェンダについての情報共有、報告まとめ

日 時 2024 年 9 月 17 日(火) 15:00～17:00

場 所 JASA 会議室

参加者 17 名/12 社

概 要

■第1部 15:00～16:00

1. セミナー① 「Qt の Digital Twin 関連の方向性」 Qt 小宮様
2. セミナー② 「ドローン活用事例紹介」 Blue Innovation 様
3. 白熱教室(ディスカッション)

■第2部 16:00～17:00

1. 各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2. コモングラウンド委員会デモ作成検討
 - デモ作成状況共有
 - コンセプト動画作成状況報告
3. MCPC 小林様ドローン計測状況共有
4. NEDO との連携について
5. その他、連絡事項

成 果

上記アジェンダについての情報共有、報告まとめ

日 時 2024 年 10 月 21 日(月) 15:00～17:00

場 所 JASA 会議室

参加者 15 名/12 社

概 要

■第1部 15:00～16:00

1. セミナー① 「Wi-Fi Halow のご紹介」 メガチップス 西上様
2. セミナー② 「smart building における SDM 紹介」 構造計画研究所 加藤様
3. 白熱教室(ディスカッション)

■第2部 16:00～17:00

1. 各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2. コモングラウンド委員会デモ作成検討

- デモ作成状況共有
- コンセプト動画作成状況報告
- 3. MCPC 小林様ドローン計測状況共有
- 4. NEDO との連携について
- 5. 九州ものづくりフェア振り返り
- 6. その他、連絡事項

成 果

上記アジェンダについての情報共有、報告まとめ

日 時 2024 年 12 月 16 日(月) 15:00～17:00

場 所 JASA 会議室

参加者 23 名/17 社

概 要

■第 1 部 15:00～15:30

1. セミナー① 「1NCE IoT 紹介」
ソフトバンク 西原様
2. 白熱教室(ディスカッション)

■第 2 部 15:30～17:00

1. 各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2. EdgeTech+2024 振り返り
 - デモ共有
 - 今後活動の共有
3. MCPC 小林様ドローン計測状況共有
4. NEDO との連携について
5. 来年度のコモングラウンド委員会について
 - 体制、予算
6. その他、連絡事項

成果

上記アジェンダについての情報共有、報告まとめ

日 時 2025 年 1 月 20 日(月) 15:00～17:00

場 所 JASA 会議室

参加者 19 名/12 社

概 要

■第 1 部 15:00～15:30

1. セミナー① 「マン ・ マシン ・ インターフェイスとしての AI」
令和 AI 坂本様
2. 白熱教室(ディスカッション)

■第 2 部 15:30～17:00

1. 各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2. コモングラウンド委員会デモ作成検討
 - デモ作成状況共有
 - 今後の拡張について
3. MCPC 小林様ドローン計測状況共有状況共有
4. NEDO との連携について
5. 来年度コモングラウンド委員会活動について
 - 予算計画報告
6. その他、連絡事項
 - 第 3 回 JASA-CIAJ 交流会の件

成果

上記アジェンダについての情報共有、報告まとめ

日 時 2025 年 2 月 17 日(月) 15:00～17:00

場 所 JASA 会議室

参加者 19 名/12 社

概 要

■第 1 部 15:00～16:10

1. セミナー① 「Transit Optimal Platform のご紹介」 株式会社 iPX 赤川様
2. 白熱教室①(QA、ディスカッション)
3. セミナー② 「VisualSLAM のご紹介」 RYAN ROBOTICS 様 清水様
4. 白熱教室②(QA、ディスカッション)

■第 2 部 16:20～17:00

1. 各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2. コモングラウンド委員会デモ作成検討
 - デモ作成状況共有
 - 今後の拡張について
3. MCPC 小林様ドローン計測状況共有
4. NEDO との連携について
5. 来年度コモングラウンド委員会活動について
 - 2025 年度予算について
 - 2025 年度日程について
6. その他、連絡事項

成果

上記アジェンダについての情報共有、報告まとめ

日 時 2025 年 3 月 17 日(月) 15:00～17:00

場 所 JASA 会議室

参加者 19 名/12 社

概 要

■第 1 部 15:00～16:10

1. セミナー① 「独自 SDx の取り組み～
あらゆるプロダクトのソフトウェアファースト化を実現する
Plugin 型ソフトウェア空間プラットフォーム」 NTT データ MSE 杉山様
2. 白熱教室①(QA、ディスカッション)

■第 2 部 16:20～17:00

1. 各 WG(ドローン、スマートライフ)情報共有
2. JASA デジタルツインデモ検討
3. MCPC 小林様ドローン計測状況共有
4. NEDO との連携について
5. コモングラウンドリビングラボ訪問フィードバック
6. その他、連絡事項

成果

上記アジェンダについての情報共有、報告まとめ

【事業No.2】EdgeTech+West2024

目的:委員会及び WG の活動を周知し、会員・活動メンバー、連携団体を募る。

概要:

- ・ブース展示:コモングラウンド委員会の紹介、パネル作成、資料配布など
 - ・セミナー実施
- 「Society5.0 の実現へ向けたエッジテクノロジーの役割」

【事業No.3】EdgeTech+2024

目的:委員会及び WG の活動を周知し、会員・活動メンバー、連携団体を募る。

概要

- ・ブース展示:コモングラウンド委員会の紹介、パネル作成、資料配布、デモ展示など
 - ・セミナー実施
- 「Society5.0 の実現へ向けたエッジテクノロジーの役割」

【事業No.4】福岡ものづくりフェア

目的:委員会及び WG の活動を周知し、会員・活動メンバー、連携団体を募る。

概要

- ・ブース展示:コモングラウンド委員会の紹介、パネル作成、資料配布、動画デモなど

【事業No.5】コモングラウンドリビングラボとの連携

目的:コモングラウンドリビングラボ様との情報交換

概要:

- ・委員会活動を紹介
- ・インフラ協調型デジタルツインのエッジ側の要件についてディスカッション
- ・コモングラウンドリビングラボを訪問し、現地視察&情報交換

【事業No.6】ToppersProject 箱庭 WG との連携

目的:箱庭 WG と連携し、OSS である箱庭を JASA デジタルツインデモで活用する。

概要:

- ・箱庭 WG との情報交換
- ・箱庭 OSS の活用
- ・デジタルツインについてのディスカッション

3. 活動成果/成果物

【事業No.1】会議

委員会を月 1 で実施。

ファイル共有やコミュニケーション手段として、GoogleDrive、Discord の整理。

有識者を招いた勉強会。

コモングラウンド、デジタルツインの勉強会。

【事業No.2】EdgeTech+West2024

コモングラウンド委員会の活動について、パネル展示、セミナー実施。

【事業No.3】EdgeTech+2024

コモングラウンド委員会の活動について、セミナー実施。

JASA デジタルツインデモの展示。

【事業No.4】九州モノづくりフェア 2024

コモングラウンド委員会にてパネルとデモ(動画)の展示。

【事業No.5】コモングラウンドリビングラボとの連携

2025 年 2 月 18 日(火) 15:00～16:00 にて、コモングラウンドリビングラボと意見交換会を実施。

2025 年 3 月 3 日(月) 13:00～15:00 にて、コモングラウンドリビングラボを訪問し、施設設備を見学実施。

【事業No.6】ToppersProject 箱庭 WG との連携

箱庭 WG にも参加し、JASA の活動を報告。情報連携を実施。

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日～6 月 30 日]

月 1 回の委員会を実施。

有識者を招いた勉強会の実施。

箱庭を利用した、デジタルツインデモ環境作成。

2025 年 5 月 15 日(木) 2025 年 技術本部成果発表会

5. その他特記事項

- Interface2024 年 10 月号で、箱庭を用いたデジタルツインの記事(前編)を執筆。
- Interface2024 年 12 月号で、箱庭を用いたデジタルツインの記事(後編)を執筆。
- Robot Innovation Week2024 での講演依頼があり、セミナーを実施。
- 箱庭まつり #2 での講演依頼があり、セミナーを実施。
- 2025 年 1 月 24 日 第 3 回 JASA-CIAJ 交流会にてコモングラウンド委員会の発表を実施。
- Interface2025 年 6 月号で、箱庭を用いた JASA デジタルツインの記事を執筆。
- 機関誌 Bulletin JASA にて、コモングラウンド委員会紹介記事を寄稿。

ドローン WG

1.活動概要(2024 年度の事業方針:事業予算案)

- ①TOPPERS 箱庭 WG との連携研究、普及活動(立花エレクトック様、日本航空電子様、NXP 様含めた研究)
2023 年度に開発した、箱庭ドローンシュミレータの活用幅を広げるため、立花エレクトック様、日本航空電子様、NXP 様とドローン開発の利活用に向けた情報交換を実施しながら、箱庭ドローンシュミレータの活用幅を拡張する。箱庭ドローンシュミレータを使った勉強会を企画し、普及活動を実施する。これらの内容活動し、JASA 会員企業に箱庭を使ったシミュレーション応用を発進し、開発における効率化に利用してもらうように活動をする。
- ②ドローンショージャパン様との共同研究
ドローンショージャパン様から、JASA ドローン WG との連携の依頼があり、連携した共同研究にむけた情報交換、箱庭ドローンシュミレータの利活用についての検討をする。
- ③金沢工業大学との共同研究
箱庭ドローンシュミレータでシミュレーションした結果を物理的にフィードバックし、実際の機体での有用性を実証実験する。
- ④WG 活動
不定期になるが、年 数回は実施する。また、箱庭ドローンシュミレータに関して、EdgeTech+での講演を実施し、普及活動を実施する。
- ⑤MCPC 様との電波観測実験
ドローンの工場設備における監視を行うための、電波利活用に向けた共同研究を実施する。

2. 各事業についての報告

【事業No.4】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

・毎月 第二金曜日、年 12 回の Teams での開催

(1)2024 年度 第 1 回 ドローン WG

開催なし

(2)2024 年度 第 2 回 ドローン WG

開催なし

(3)2024 年度 第 3 回 ドローン WG

日 時 2024 年 6 月 13 日(木) 14:30～15:30

場 所 オンラインのみ

参加者 7 名

概 要 ①成果発表会の資料共有

②しまなみ海道の飛行実験の提案書共有

③Bulletin JASA WG 活動紹介記事の共有

④特別講演 経路探索に関する研究発表の共有

⑤EdgeTech+の展示パネル共有

⑥Japan Drone 展の報告

成 果 ①6/21 に行われる成果発表会の資料共有を行った。23 年度に TOPPERS 箱庭 WG と構想したドローンシミュレータの関しての発表を実施する方向とした。

②しまなみ海道の飛行実験について、4 月に愛媛県 今治市に訪問し、今治市役所とのディスカッションを受けて、飛行実験に関する提案を提案するための議論と検討内容の共有を行った。

③Bulletin JASA にて、WG 活動の紹介をすることとなり、記事の内容を共有した。

④都産技研 吉次様より、避難経路探索における粘菌を使った研究発表に関しての講演をして頂いた。

⑤7 月の EdgeTech+West の展示パネルについての共有と、三根さんからの指摘事項の修正を行った。

⑥5 月に岡田さんと訪問した、Japan Drone 展に関しての情報共有を行った。しまなみ海道の飛行実験では、事業化に向けては、大きな機体が必要になりそうなので、機体メーカーを中心に情報収集を行った結果、ペイロード 50Kg～80Kg まで積める機体メーカーとの情報交換ができるパスを作ることができた。箱庭ドローンシミュレータも機体メーカー、ドローンスクールなどに紹介し、評価を得ることができた。これからの活動に繋げていく。

(4)2024 年度 第 4 回 ドローン WG

日 時 2024 年 7 月 18 日(木) 14:30～15:30

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 7 名

概 要 ①万博に向けた取組みと提案の共有

②函館市との取組み方向性の共有

③しまなみ海道の取組みと提案内容の再検討の共有

④TOPPERS カンファレンスの共有

⑤Edgetech+West の発表内容の共有

⑥大阪スマートシティ戦略室との情報交換の共有

- 成 果 ①DIT 岡田さん経由で、TIS さんが持っている万博展示として、大阪ヘルスケアパビリオンの展示ができそうのため、展示内容を岡田さん中心に考えてもらい、展示内容の提案書を作成し、TIS さんに提示と説明を行った旨を共有した。
- ②DIT 成田さん経由で、箱庭ドローンシミュレータを函館市内で活用できないか？との依頼があったため、函館市向けの検討内容についての共有を行った。主にシミュレーションを活用した効率化や、フライトプランの検証などに利用するような提案と、学生向けの教育に活用するような提案を成田さんに行い、函館市とディスカッションする場を作ってもらったこととなった。
- ③しまなみ海道の取組みとして、今治市からビジネスの出口が見えるような提案が欲しいとの再検討依頼があったので、ビジネス化できるようなネタを再検討し、共有した。
- ④TOPPERS カンファレンスで、箱庭 WG の発表があるとのことで、参加を行った。
- ⑤Edgetech+West の発表資料の共有を行った。発表は、TOPPERS 箱庭 WG にて対応頂くこととなった。
- ⑥Edgetech+West 開催中に、TIS さんから紹介あった大阪スマートシティ戦略室との情報交換を行った。箱庭ドローンシミュレータの紹介を行ったところ、災害時のシミュレーション活用をしたいので、大阪府のドローン関連企業などに紹介し、活動に繋がれるようにしていきたいとの意見を頂いた。

(5)2024 年度 第 5 回 ドローン WG

日 時 2024 年 8 月 8 日(木) 14:30~15:30

場 所 ハイブリットでの開催

参加者 7 名

概 要 ①NIRO(新産業創造研究機構)との連携について

②三根さんからの活動報告

③光井さんから活動報告

④しまなみ海道の活動状況共有

⑤函館での取組み活動状況共有

⑥箱庭ドローンシミュレータの開発進捗の共有

⑦箱庭祭り開催の共有

- 成 果 ①しまなみ海道など、今治市などが望んでいるビジネス出口を考えるには、JASA 単独では難しいため、機体メーカーや他の団体と組んで対応することを考えた方が良さそうのため、7/25 の国際ドローン展に参加し、NIRO や機体メーカーなどいろいろな状況の共有を行ったが、機体メーカーとしても、機体を売れるだけの取組みの方が多く、ビジネスとしての出口を考えていくには、ある程度まとめている団体との連携が良さそうとのアドバイスもあり、他団体として NIRO(新産業創造研究機構)との連携を検討する方向とした。
- ②三根さんが取り組んでいる気球の取組みの紹介があった。ドローンとは違って飛行制御などが違うことなどを説明頂いた。大阪では結構取組みが進んでいる模様。ドローンとの組合せなどを考えても面白いとのことだった。
- ③光井さんから、NEDO PJ の状況共有があり、シミュレータとして、箱庭ドローンシミュレータを活用していくことになったらしいとのこと。次年度の NEDO の取組みとしても、ドローンの安全面などを検討するような取組みになりそうとのことを報告頂いた。
- ④金沢工業大学で開発中の VTOL が実験中に落ちたらしく、事故原因などを調査しているとの報告があり、しまなみ海道での活動は一旦ペンディングとなることを報告した。
- ⑤函館出の取組みに関しては、DIT 成田さんが纏めてくれた案で、9 月に訪問し、箱庭ドローンシミュレータの利活用部分を検討することとなるとの報告があった。
- ⑥AR 対応など、箱庭ドローンシミュレータの活用の幅が広がったので、学生向けの教育用途に利用するような構想も考えていくこととした

⑦8/10に TOPPER 箱庭 WG 主催の箱庭祭りが開催する予定との情報共有を行った。

(6)2024 年度 第 6 回 ドローン WG

日 時 2024 年 9 月 18 日 (木) 14:30~15:30

場 所 オンラインのみ

参加者 9 名

概 要 ①NEDO プロジェクト報告
②函館 PJ の報告
③箱庭ドローンシミュレータの進化状況報告
④SESSAME とのデジタルツイン関連セミナー開催共有
⑤万博提案状況の共有

成 果 ①光井さんの方から、NEDO プロジェクトにおける課題内容や検討事項の共有があった。ドローンの航路における位置情報の精度を保つため、4 次元空間情報基盤活用にあたっての情報共有があった。ドローン事故再現にあたっては、外乱となる天候などの対応も必要になってくるとの報告があった。
②9 月 11~12 日で函館市、北斗市に訪問し、ドローンの利活用にあたって、地方自治体での構想や直近での課題などを共有頂いた。直ぐにドローンの機体を使った活動にはならないようであるため、継続して情報交換を続ける。
③AR 技術を使ったデモを使った構想を、はこだて未来大 西沢先生と情報共有、意見交換を実施。西沢先生からは、はこだて未来大での研究テーマとして利用していきたい旨の意見を頂いた。また、FPV を活用して、Google Earth と連携したベンチャー企業がいるとの紹介もあり、ドローンシミュレータの活用幅が広がることから、ご紹介頂けることとなった。その他、今後のドローンシミュレータのロードマップについてのディスカッションを実施し、方向性を検討した。金沢工業大学 伊藤先生との情報交換を 9 月 17 日に実施。Stamp Fly という FPV の機体を作っており、学生向けに FPV を使った制御工学の授業を行っている方で、ドローンシミュレータには非常に興味を持っていたので、資料などの共有を行い、使って頂ける方向となった。
④SESSAME から、デジタルツインをテーマにした 10 月 2 日開催のセミナーへの参加の依頼があり、ドローンシミュレータを使ったデジタルツインのネタで発表を実施する予定を共有した。
⑤万博の提案をイームズロボティクスさんと共同で行うことになったことを共有。9 月 29 日に 共同開催の催事についてのシナリオ検討を行う予定。

(7)2024 年度 第 7 回 ドローン WG

日 時 2024 年 10 月 10 日 (木) 14:30~15:30

場 所 オンラインのみ

参加者 9 名

概 要 ①NEDO PJ 状況共有
②EdgeTech+横浜での展示検討、発表内容の共有
③SESSAME でのセミナー内容の共有
④万博状況共有
⑤OSPF、NIRO の入会に関しての共有
⑥箱庭ドローンシミュレータ状況共有

成 果 ①機体の認証取得に関して、光井さんの方から疑問点や情報収集の方法の検討依頼があった。機体認証に詳しい会社さんとの情報交換をすることとした。
②EdgeTech+横浜での展示内容として、AR ゴーグルを使ったドローン飛行体験、三根さんの方でバルーンを使った飛行デモを実施することとした。セミナーとしては、SESSAME のセミナー内容をブラッシュアップして、発表することとした。
③10 月 2 日に SESSAME のセミナーで講演実施。講演内容の共有を行った。
④イームズロボティクスと共催する催事のシナリオに関しての共有を行った。運営企画会議にて承認貰えるように技術本部長に催事内容の報告の実施。

- ⑤OSPF、NIRO 団体への入会が運営企画会議で承認取れたので、入会を進める方向で事務局と調整を行った。11 月 15 日に NIRO のドローン利活用プラットフォームの全体会議があるため出席する方向で調整を行った。
- ⑥ドローンシュミレータの新機能として、外乱となる風の影響をシミュレーションできる仕組みを対応することとなった。その他、細かい機能改善や、飛行モードの対応を実施する予定となった。10 月末に v2.7.0 としてリリースすることとなった。

(8)2024 年度 第 8 回 ドローン WG

日 時 2024 年 11 月 14 日(木) 14:30～15:30

場 所 オンラインのみ

参加者 9 名

概 要 ①NEDO PJ 情報共有

②EdgeTech+横浜での展示内容の再調整

③万博への取組み調整

- 成 果 ①機体の認証取得に関して、光井さんの方で調査して頂いた内容を共有頂いた。機体認証自体が、規定として抽象度が高いものになっており、機体の重さやペイロードによって、取得方法が変わることが分かったとのこと。10 月 21 日に機体認証のコンサルティング行っている SClabAir さんと情報交換を行った結果では、具体的に機体認証を取るためのガイドラインがある訳ではないようなので、検討の余地があることが分かった。今後、JASA としても機体認証に向けてのガイドラインの整備に係れるような取組みが必要になってきそうとの報告があった。その他、海外動向として、Blue UAS という枠組みもあり、機体を作成するための部品調達基準もあるため、規格の整理をする必要があるとの報告があった。これらの報告を受けて、JASA としてどのような取組みをするかを整理する予定。
- ②三根さんの方から、バルーンの展示内容の変更をすることの共有があった。展示内容をまとめてもらい、事務局と調整することとなった。
- ③万博の催事を行う、催事関係者の顔合わせ会が 10 月 30 日にあり、内容の共有を行った。催事内容については、イームズロボティクスさんと詳細な詰めを実施していくことになるため、検討会の実施予定を調整した。

(9)2024 年度 第 9 回 ドローン WG

日 時 2024 年 12 月 19 日(木) 14:30～15:30

業務対応あり、未開催。

(10)2024 年度 第 10 回 ドローン WG

日 時 2025 年 1 月 22 日(木) 14:30～15:30

場 所 オンラインのみ

参加者 9 名

概 要 ①NEDO PJ の報告

②25 年度予算案の共有

③万博対応の共有

④その他

- 成 果 ①光井さんより、NEDO PJ の状況の共有を頂いた。
- ②25 年度予算は、万博および、TOPPER 箱庭 WG とのコラボを主軸に立案したことを共有した。
- ③万博対応の共有として、下見 1 月 30 日 13:00～ 定期打ち合わせ毎週水曜日 17:00～18:00、シナリオ検証 1 月 28 日 & 2 月 8 日、イームズロボティクスとのコラボシナリオ検証は別途調整、参加メンバーは、7 名となる旨を共有した。JASA としては、ロボット技術をメインに打ち出した内容を検討し、Open EL WG に協力してもらう形で進める方向となった。
- ④その他共有事項として、1 月 24 日 神戸港横断 PJ の第一回会議参加。AI/IoT システム

安全性シンポジウムの資料を共有した。

(11)2024 年度 第 11 回 ドローン WG

日 時 2025 年 2 月 20 日 (木) 14:30~15:30

場 所 オンラインのみ

参加者 9 名

概 要 ①NEDO PJ 情報共有
②万博対応の共有
③神戸港横断 PJ 第一回会議、第二回会議の共有
④その他

成 果 ①光井さんの方から、NEDO PJ の報告共有頂いた。NEDO PJ の継続など踏まえて、ドローン版の JASPER みたいな取組みができないかと相談あったが、経産省や IPA などとの意見を交換してみないと何とも進め方が見えないため、一旦 JASA 内で共有する方向とした。
②万博対応の共有として、現地での視察内容、今後の課題点などの調整を実施した。2 月 28 日までは、催事のシナリオを提出しないとならないため、WG 内でシナリオの最終的な資料の読み合わせを実施した。
③神戸港横断 PJ の第一回会議、第二回会議の内容を共有した。まだ PJ が立ち上がったばかりなので、課題点も多いが、ドローンの利活用に向けた取組みとして継続的に対応する予定。
④2 月 17 日に東京情報大学に訪問。ドローンシミュレータ利活用や STEAM 教育などの題材でドローンシミュレータ活用などのディスカッションを実施した内容を共有した。STEAM 教育のカリキュラム作りは大学側も乗り気だったので、JASA 内でも検討して構想する予定。
⑤その他として、豊通さんと Zipline という機体を使ったドローン利活用の事例を共有。JASA でのドローンシミュレータ利活用方法についての資料の共有を実施した。

【事業No.1】TOPPERS 箱庭 WG との連携研究、普及活動(立花エレテック様、日本航空電子様、NXP 様含めた研究)

- (1)5 月に日本航空電子さんと情報交換実施
- (2)NXP とは継続的に情報交換実施
- (3)TIS さんとは万博展示での情報交換を実施
- (4)大阪スマートシティ戦略室との情報交換、OSPF への参加検討
- (5)DIT さん経由での函館市との情報交換 2024 年 9 月 11~12 日にて実施
- (6)NIRO(新産業創造研究機構)との情報交換、フォーラム参加検討
- (7)OSPF への入会、10 月 18 日に情報交換会実施
- (8)NIRO ドローン利活用プラットフォーム全体会議の参加 2024 年 11 月 15 日
- (9)東京情報大学との情報交換実施 2024 年 9 月 17 日
- (10)SCLabAir との情報交換実施 2024 年 10 月 21 日
- (11)デジタルソリューション様との情報交換実施 2024 年 10 月 24 日
- (12)万博関連打ち合わせ イームズロボティクス様 継続実施 ~2025 年 4 月 29 日まで
- (13)万博催事関係者との顔合わせ会参加 2024 年 10 月 30 日
- (14)Ozora 様との情報交換実施 2024 年 10 月 1 日、2024 年 11 月 21 日
- (15)ヤマハ発動機様との情報交換 2024 年 7 月 17 日
- (16)はこだて未来大学との情報交換 2024 年 7 月 18 日、2024 年 9 月 12 日
- (17)コマス様との情報交換 2024 年 8 月 1 日
- (18)万博現地視察 2025 年 1 月 30 日
- (19)神戸港横断 PJ 会議参加 2025 年 1 月 24 日、2025 年 2 月 14 日

【事業No.2】ドローンショージャパン様との共同研究

(1)箱庭ドローンシミュレータの利活用に関する個別検討中

【事業No.3】金沢工業大学との共同研究

- (1)VTOL 機の実証実験のため、愛媛県 今治市に訪問
- (2)箱庭ドローンシミュレータの開発のための会議を実施(3 回実施)
- (3)VTOL 機体の破損に関する調査を実施

【事業No.4】MCPC 様との電波観測実験

本事業は、MCPC とは連携なし。JASA 単独で対応することで推進する。電波系に強い企業との連携を深めて、電波利用に関する調査を推進することとする。

(1)5 月 アンリツさん訪問 情報交換実施

(2)8 月 Keysight さんと情報交換実施

3.活動成果 /成果物

- (1)2024 年 6 月 21 日 JASA 成果発表会
- (2)2024 年 7 月 12 日 EdgeTech+West での講演
- (3)2024 年 8 月 10 日 TOPPERS 箱庭祭りでの講演
- (4)2024 年 10 月 2 日 SESSAME イベントでの講演
- (5)2024 年 11 月 22 日 EdgeTech+横浜での講演

スマートライフ WG

1. 活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

スマートライフ(安全、家事、健康、医療、介護、子育て)分野における QoL 向上、課題解決のためのソリューションを組み込み視点で検討。

スマートライフに利用できる新規、既存センサ(特にエモーションキャッチセンサ)の調査・研究。

検討したソリューションについて、プロトタイプを作成し、サービスの有用性について実証実験を行う。

その他

スマートライフサービスの実現に向け RC88、トリリオン研、MCPC、都産技研など他パートナーとの協調を進める。

エモーションキャッチセンサを IoT システムに組み込む有効性の検証を行う。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的 ・業務概要(事業計画詳細：事業予算案)

活動計画、進捗状況の確認

月 1 回程度 (原則月末最終木曜日 19:00 - 20:00)

第 1 回スマートライフ WG

日 時 2024 年 5 月 16 日(木) 19:00~20:00

場 所 Teams オンライン会議

参加者 6 名

概 要 2024 活動について 箱庭連携
棚卸の確認

成 果 活動方針、ET-WEST デモ展示案

第 2 回スマートライフ WG

日 時 2024 年 5 月 30 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 7 名
概 要 ET WEST について
顔認識、感情認識テーマの進め方
成 果 活動方針、ET-WEST デモ展示案

第 3 回スマートライフ WG
日 時 2024 年 6 月 27 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 7 名
概 要 ET WEST について
顔認識、感情認識テーマの進め方
成 果 プロトタイプ開発計画

第 4 回スマートライフ WG
日 時 2024 年 8 月 1 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 6 名
概 要 ET WEST 振り返り
これからのスケジュール
顔認識、感情認識テーマの進め方
成 果 活動スケジュール、活動方針

第 5 回スマートライフ WG 会議
日 時 2024 年 9 月 12 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 6 名
概 要 これからのスケジュール
顔認識、感情認識テーマの進め方
成 果 活動スケジュール、活動方針

第 6 回スマートライフ WG 会議
日 時 2024 年 9 月 26 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 6 名
概 要 EdgeTech+2024 のためのプロトタイプ作成、デモ展示検討
成 果 展示デモ案

第 7 回スマートライフ WG 会議
日 時 2024 年 10 月 17 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 5 名
概 要 EdgeTech+2024 のためのプロトタイプ作成、デモ展示検討
成 果 展示デモ案

第 8 回スマートライフ WG 会議
日 時 2024 年 10 月 31 日(木) 19:00～20:00

場 所 Teams オンライン会議
参加者 5 名
概 要 EdgeTech+2024 のためのプロトタイプ作成、デモ展示検討
成 果 展示デモ案

第 9 回スマートライフ WG 会議
日 時 2024 年 11 月 14 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 4 名
概 要 EdgeTech+2024 のためのプロトタイプ作成、デモ展示検討
成 果 展示デモ案

第 10 回スマートライフ WG 会議
日 時 2024 年 11 月 28 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 6 名
概 要 ET 展振り返り
島根大学連携について相談
成 果 活動スケジュール、活動方針

第 11 回スマートライフ WG 会議
日 時 2024 年 12 月 19 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 6 名
概 要 12 月以降の対応内容(島根大学連携)について相談
2025 年度予算案について
成 果 活動スケジュール、活動方針、予算案

第 12 回スマートライフ WG 会議
日 時 2025 年 1 月 30 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 5 名
概 要 2025 年度予算案について
2024 年度、2025 年度活動内容について
成 果 活動方針

第 13 回スマートライフ WG 会議
日 時 2025 年 2 月 27 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 6 名
概 要 2025 年度活動内容について
成 果 活動方針

第 14 回スマートライフ WG 会議
日 時 2025 年 3 月 13 日(木) 19:00～20:00
場 所 Teams オンライン会議
参加者 6 名
概 要 2025 年度活動内容について

成 果 活動方針

第 15 回スマートライフ WG 会議

日 時 2025 年 3 月 27 日(木) 19:00～20:00

場 所 Teams オンライン会議

参加者 7 名

概 要 2025 年度活動内容について

千葉大学 小室先生との打ち合わせ報告

AI キャラ + 音声認識 + 感情認識打ち合わせ報告

成 果 活動方針

【事業No.2】プロトタイプ作成

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

アイデアのデモ展示に向けたプロトタイプ作成。

【事業No.3】EdgeTech+West

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

JASA ブースでの活動紹介でスマートライフ WG の活動を外部に向け発信する。

事業 No.2 のプロトタイプ展示を行う。

【事業No.4】EdgeTech+(パシフィコ横浜)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

セミナーを実施し、スマートライフ WG の活動を外部に向け発信する。

事業 No.2 のプロトタイプ展示を行う。

【事業No.5】実証実験、研究

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

スマイルガチャ等のプロトタイプを作成し、試用する。

島根大学との打ち合わせ、福祉施設への訪問を検討する。

3. 活動成果/成果物

【事業No.1】会議

WG を月 1 で実施し、議論結果のまとめ資料。(ディスカッション結果)

スマイルガチャのプロトタイプ検討、設計資料。

展示会に向けたデモ検討、準備。

APTO 社、島根大学連携について打ち合わせ実施。

【事業No.2】プロトタイプ作成

スマイルガチャプロトタイプ作成済み。

ソースコード、設計資料。

下期に向けてアップデートを検討中。

【事業No.3】EdgeTech+West

スマートライフ WG の活動についてブースでの活動紹介実施。

事業 No.2 のプロトタイプを展示した。

【事業No.4】EdgeTech+2024

スマートライフ WG の活動についてブースでの活動紹介・JASA セミナー発表実施。

事業 No.2 のプロトタイプを展示した。

【事業No.5】実証実験、研究

島根大学との連携活動については、検討の結果実現せず。

企業や大学との連携を WG 内で協議し、関係者に会議に参加していただいている。

4. 今後の予定[2025 年 5 月 1 日～2025 年 6 月 30 日]

月 1 回の WG を実施。

2025 年度の活動テーマを決定し、ET-WEST 展示に向けてデモ作成を実施していく。

新規テーマとして、集団のモニタリングを行う予定。

5. その他特記事項

2025 年度より、加藤恭弘から吉栖孝弘へ主査を交代致します。

応用技術調査委員会

OSS 活用 WG

1. 活動概要(2024 年度の事業方針:事業予算案)

WG 会議、RISC-V OSS エコシステム(OSS)調査、LSI 開発 OSS 調査、OSS 普及セミナー、OSS ドローンの運用も含めた諸事情の調査、広報資料作成、外部発表

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

・隔月、年 6 回(オンライン、都内、関西など)の開催

2024 年 7 月 24 日 定例会議 Web 開催

ハンズオンセミナー開催打ち合わせ、

LSI 開発 OSS 調査の報告と情報交換、

RISC-V 調査の報告と情報交換、ドローン運用に関する情報交換、

ROS 振興の情報交換、

OSS コンソーシアムとの共同活動を 2024 年 3 月で終了した確認

2024 年 8 月 30 日 定例会議 web 開催

ハンズオンセミナー開催打ち合わせ、

LSI 開発 OSS 調査の報告と情報交換、

RISC-V 調査の報告と情報交換、ドローン運用に関する情報交換、

ROS 振興の情報交換。

日本 OSS 推進フォーラムの OSS 鳥瞰図 作成 WG に協力する。JASA OSS 活用 WG で作成している RISC-V OSS 一覧表を、同 WG への提供について議論

2024 年 10 月 21 日 書面にて、情報交換、進捗確認

ハンズオン ・セミナー開催状況報告

LSI 開発 OSS 調査の報告と情報交換、
Linux Foundation と JASA の協調について報告
ET 展の OSS WG ブースに、OSS WG と Linux Foundation の共同として、展示すること
を確認

2024 年 12 月 16 日 Web 開催、情報交換、進捗確認
ハンズオン・セミナー開催状況報告
LSI 開発 OSS 調査の報告と情報交換、
OSS 推論フォーラムとの OSS 鳥瞰図の協調開発について報告
Linux Foundation と JASA の協調について報告
予算について議論

2025 年 2 月 10 日 Web 開催、情報交換、進捗確認
ハンズオン・セミナー開催状況報告

2025 年 3 月 19 日に成果発表会 開催予定
LSI 開発 OSS 調査の報告と情報交換、
OSS 推論フォーラムとの OSS 鳥瞰図の協調開発について報告
Linux Foundation と JASA の協調について報告

【事業No.2】LSI 開発 OSS 調査

目的・業務概要(LSI 開発用 OSS の利用を促進するため、OSS の一覧表をまとめ、それらの使
用方法を調査する)

- ・第 5 回 オープンソースEDAフォーラム に竹岡が出席。
2024 年 7 月 11 日 於: 福岡システムLSI総合開発センター



日本におけるオープンソースEDA※の最新情報を得た。

また、日本でオープンソースEDA※を推進している人々と親交を深めた。

(※オープンソース EDA フォーラムについてはQRコード参照)

2024 年 10 月 18 日 岡村氏 (Open-susi/AIST Sol.), 塚本氏, 小檜山氏 (JASA RISCv) と、
OpenEDA, JASA-Chip, Open-SUSI 活動&協調について議論
OpenSUSI、ISHI 会の活動を支援することを確認

【事業No.3】外部発表

目的・業務概要(WG の活動成果を公表し、活動をアピールする)

- ・技術本部成果発表会 2024 年6月 21 日 にて、成果を報告した。
- ・上述の第 5 回 オープンソースEDAフォーラム にて竹岡が LT 発表
- ・JASA,組込み業界としての、OSS EDA ツールによる、半導体設計 振興の意気込み を発表
- ・ET 展に、Linux Foundation の共同として展示した

【事業No.5】広報資料作成

目的・業務概要(WG の活動成果を公表し、WG の活動をアピールする)

日本 OSS 推進フォーラムの OSS 鳥瞰図 WG と共同で、OSS 鳥瞰図の拡充中
RISC-V OSS 一覧を随時更新中

2025 年 3 月 19 日に OSS ハンズオン・セミナーの成果発表会 開催予定

本 OSS 推進フォーラムの OSS 鳥瞰図 WG と共同で開発中の OSS 鳥瞰図を随時公開

【事業No.6】RISC-V エコシステム調査

目的・業務概要(オープン・ソースな CPU RISC-V を取り巻く環境と OSS を調査する)
RISC-V CPU, RISC-V を搭載した SoC などの新しい情報の報告と情報交換。
須崎氏が開発している日本の TEE などの更新情報共有。
アックスが開発した、独自 RISC-V CPU” 松竹 V” について情報共有
JASA RISC-V WG、RISC-V 協会の活動について情報共有

【事業No.7】OSS 普及セミナー

目的・業務概要(JASA 会員などへの OSS とオープン・ソース・ハードウェアの振興を語る)
若年技術者教育として、ハンズオンセミナーを実施中。
若手/若者に組み込み OSS/OpenSourceHardware 技術を浸透させる。
基本的に JASA 会員を対象(募集は JASA 全国)。
教材費の一部を JASA OSS 活用 WG が負担。
チーム毎にテーマ(仕様)を決めて使用するデバイス・ペリフェラルの選定からソフトウェアの設計・実装を行い、最終的にはデモを含んだ成果発表を行う。

● 2024 年度

- 参加者:7 名
- 全 4 回+成果発表会を予定
 - 第 1 回:2024 年 7 月 17 日(水)
 - 内容
 - 作ってみたいものの発表、チームビルディング
 - OSS 概要説明
 - 3 チーム(3 名、2 名、2 名)になりました
 - 第 2 回:2024 年 9 月 4 日(水)予定
 - デバイス概要説明、ハンズオン
 - チーム毎の検討
 - 第 3 回:2024 年 11 月 27 日(水)
 - 第 4 回:2025 年 2 月 19 日(水)
 - 成果発表会:2025 年 3 月 19 日(水)

【事業No.8】OSS ドローンの運用も含めた諸事情の調査

目的・業務概要(OSS ドローンを飛行させるための、諸事情を調査する)
ドローン運用の免許制度の最新情報を報告、情報交換

3. 活動成果/成果物

RISC-V OSS コレクション。
セミナー実施。
OSS 鳥瞰図の組み込み分野。

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日]

偶数月 第 3 月曜日、ネット会議システムを使用し、遠隔会議として開催予定

5. その他特記事項

特になし

アジャイル研究 WG

1. 活動概要(2024 年度の事業方針)

WG 会員の課題解決による技術及びマネジメント情報の共有と研究成果の情報発信
委員の知見を深めるためのセミナーを開催する。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】WG 開催

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

WG 会員の課題解決による技術及びマネジメント情報の共有と研究成果の情報発信と委員
の知見を深めるためのセミナーを開催する。

オンライン会議で開催

(1) 第 1 回アジャイル研究 WG

日 時 2024 年 4 月 15 日(月) 17:30～18:40

参加者 6 名

内 容 エッジテックで発表する内容の議論

特にアジャイル開発現場への品質保証部のかかわり方について議論

(2) 第 2 回アジャイル研究 WG

日 時 2024 年 5 月 13 日(月) 17:30～18:50

参加者 6 名

内 容 技術本部の成果発表会の内容をどのようにするかを議論

(3) 第 3 回アジャイル研究 WG

日 時 2024 年 5 月 27 日(月) 17:30～18:40

参加者 6 名

内 容 技術本部の成果発表会の内容をどのようにするかを議論

(4) 第 4 回アジャイル研究 WG

日 時 2024 年 6 月 10 日(月) 17:30～18:50

参加者 6 名

内 容 技術本部の成果発表会の内容をどのようにするかを議論

(5) 第 5 回アジャイル研究 WG

日 時 2024 年 7 月 22 日(月) 17:30～18:50

参加者 5 名

内 容 成果発表会のフィードバックとエッジテックの発表内容の更なる詰め

(6) 第 6 回アジャイル研究 WG

日 時 2024 年 8 月 5 日(月) 17:30～18:50

参加者 6 名

内 容 エッジテックの発表内容の更なる詰め特に品質部門の関わり方

(7)第7回アジャイル研究 WG

日 時 2024 年 8 月 26 日(月) 17:00～17:50

参加者 5 名

内 容 エッジテックの発表内容の更なる詰め特に品質部門の関わり方とべからず集の内容

(8)第8回アジャイル研究 WG

日 時 2024 年 9 月 10 日(火) 17:30～18:40

参加者 6 名

内 容 エッジテックで発表する内容の議論
アジャイル開発現場への品質保証部のかかわり方について
どのような内容で発表するか議論

(9)第9回アジャイル研究 WG

日 時 2024 年 9 月 25 日(水) 17:30～18:50

参加者 6 名

内 容 前回と同様エッジテックでの発表について議論

(10)第10回アジャイル研究 WG

日 時 2024 年 10 月 22 日(火) 17:30～18:40

参加者 5 名

内 容 前回と同様エッジテックでの発表について議論

成 果 11 月 22 日のエッジテックの技術本部の成果発表セミナーで水谷主査が発表

(11)第11回アジャイル研究 WG

日 時 2025 年 2 月 4 日(火) 17:30～18:30

参加者 7 名

内 容 エッジテックで発表した内容を確認し、アンケート結果を基に今後の活動
などを議論した

(12)第12回アジャイル研究 WG

日 時 2025 年 3 月 11 日(火) 17:30～18:30

参加者 7 名

内 容 発表会のアンケートの確認を行った
今後、ダークアジャイルの深掘しながら解決策の提示も検討する
ガイドライン作成や書籍化ができるところまでもって行きたい

4.今後の予定

【事業No.1】オンライン W/G を毎月開催

2025 年 4 月 25 日開催

AI 研究 WG

1.活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

研究定例会議(月 1 回)

勉強会(全 5 回(講義:4 回、発表:1 回))

1) Deep Learning を既に理解し開発できる技術者とエッジ AI 活用研究。

2) AI に興味のある技術者を対象に Deep Learning とは何かを理解し、製品に組み込める技術者の育成。
裾野の拡大が目標。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

Deep Learning を既に理解し開発できる技術者とエッジ AI 活用研究

日 時 2024 年 5 月 21 日(火) 18:00～19:00

場 所 Web 会議

参加者 6 名/3 社

概 要 第 41 回 WG(情報共有/進捗確認)

成 果

● 最近の話題の共有

- Python でコードに意図を込める方法
- 深層学習 VS 決定木:テーブルデータ分析の未来
- Docker で構築する機械学習環境【2024 年版】
- Polars と Pandera で実現する高速でロバストなデータ処理

● 進捗確認

- 組込環境で生成 AI
- コンペに挑戦
- 低リソースデバイスで AI
- エッジデバイスで物体認識
- エッジデバイス上で学習
- 強化学習

日 時 2024 年 6 月 18 日(火) 18:00～19:00

場 所 Web 会議

参加者 7 名/4 社

概 要 第 42 回 WG(情報共有/進捗確認)

成 果

● 最近の話題の共有

- 自己教師あり学習によるビジョン基盤モデルの事前学習
- NumPy 2.0、6/16 にリリース —初のメジャーバージョンアップで ABI、API に大幅な変更
- Google Colab で時系列基盤モデルを試す①:Google timesfm
- 自然言語と Vision&Language
- レコメンドアルゴリズム入門:基礎から応用まで実装に必要な知識を解説
- 「1 ビット LLM」の衝撃と可能性——「BitNet b1.58」はなぜ大きな注目を集めたのか?

● 進捗確認

- 組込環境で生成 AI
- コンペに挑戦
- テーマ検討中
- 低リソースデバイスで AI (Vulkan)
- 画像の異常検出
- 競馬 AI

➤ 強化学習

日 時 2024 年 7 月 23 日 (火) 18:00～19:00

場 所 Web 会議

参加者 8 名/4 社

概 要 第 43 回 WG (情報共有/進捗確認)

成 果

● 最近の話題の共有

- 明日使えるかもしれない Loss Functions のアイデアと実装
- 深層ニューラルネットワークの高速化
- 大規模言語モデル (LLM) の技術と最新動向
- 時系列データのための大規模言語モデル

● 進捗確認

- 組込環境で生成 AI
- コンペに挑戦
- 低リソースデバイスで AI (Vulkan)
- テーマ検討中 (生成 AI ?)
- 画像の異常検出
- 競馬 AI
- 強化学習

日 時 2024 年 8 月 27 日 (火) 18:00～19:00

場 所 Web 会議

参加者 6 名/3 社

概 要 第 44 回 WG (情報共有/進捗確認)

成 果

● 最近の話題の共有

- 実践 Data Science シリーズ Python ではじめる時系列分析入門
- Kaggle 役立ちアイテム紹介 (入門編)
- MIT Tech Review: 「オープンソース AI」問題ついに決着、OSI が定義を発表

● 進捗確認

- 組込環境で生成 AI
- コンペに挑戦
- 低リソースデバイスで AI (Vulkan)
- テーマ検討中 (生成 AI ?)
- 画像の異常検出
- 競馬 AI
- 強化学習

日 時 2024 年 9 月 24 日 (火) 18:00～19:00

場 所 Web 会議

参加者 6 名/3 社

概 要 第 45 回 WG (情報共有/進捗確認)

成 果

● 最近の話題の共有

- Segment Anything Model 2 - Speaker Deck]
- MIT Tech Review: GPT-4o を圧倒、オープン AI 新モデル「o1」に注目すべき理由
- MIT Tech Review: AI が自らファクトチェック、グーグル「幻覚」撲滅で新ツール
- MIT Tech Review: 未知の環境でもタスクを完了、ロボット訓練の新 AI モデル

● 進捗確認

- 組込環境で生成 AI

- テーマ検討中(生成 AI ?)
- 低リソースデバイスで AI
- エッジデバイスで物体認識
- 競馬 AI
- 強化学習

日 時 2024 年 10 月 22 日(火) 18:00～19:00

場 所 Web 会議

参加者 6 名/3 社

概 要 第 46 回 WG(情報共有/進捗確認)

成 果

● 最近の話題の共有

- Nishika 音声認識コンペに参加して 2 位になりました！🏆 | 株式会社 AI Shift
- LLM の効率化を支えるアルゴリズム - Speaker Deck
- 日本語版 Gemma 2 2B を公開
- ECCV 2024 Report (Edit Ver.) - 241004ECCV2024Report_finalized.pdf
- MLE-Bench の論文とコードを読んで | ho.lc

● 進捗確認

- 組込環境で生成 AI
- テーマ検討中(生成 AI ?)
- 低リソースデバイスで AI
- 強化学習(JetBot)
- 強化学習(分散強化学習)

日 時 2024 年 11 月 26 日(火) 18:00～19:00

場 所 Web 会議

参加者 7 名/3 社

概 要 第 47 回 WG(情報共有/進捗確認)

成 果

● 最近の話題の共有

- 【PCDUA】第 1 回 国土交通省 地理空間情報データチャレンジの戦い方を考える - たかいとの備忘録
- pandas でよくやる操作、Polars でどうやるの？(Polars: 1.12.0) - Google スライド
- Pandas[GPU] vs Polars[CPU] vs Polars[GPU]
- 情報処理学会関西支部 2024 年度定期講演会「自然言語処理と大規模言語モデルの基礎」- Speaker Deck
- Large Vision Language Model (LVLM) に関する最新知見まとめ (Part 1) - Speaker Deck

● 進捗確認

- 組込環境で生成 AI
- 低リソースデバイスで AI
- テーマ検討中(生成 AI ?)
- 強化学習(JetBot)
- 強化学習(分散強化学習)

日 時 2024 年 12 月 17 日(火) 18:00～19:00

場 所 Web 会議

参加者 7 名/3 社

概 要 第 48 回 WG(情報共有/進捗確認)

成 果

● 最近の話題の共有

- LLM コンペの取り組み方 #Python - Qiita
- 【DeepLearning 研修】Transformer の基礎と応用 -- 第 1 回 Transformer の基本 - YouTube
- RAG-1 グランプリ 10 位解法と振り返り - 質問と関連文書から Q&A システムを設計する | s-miyawaki
- MIT Tech Review: マイクラ内に「AI 文明」、1000 体のエージェントが仕事、宗教、税制まで作った

● 進捗確認

- 組込環境で生成 AI
- 低リソースデバイスで AI
- 生成 AI
- 強化学習 (JetBot)
- 強化学習 (分散強化学習)

日 時 2025 年 1 月 21 日 (火) 18:00~19:00

場 所 Web 会議

参加者 8 名/3 社

概 要 第 49 回 WG (情報共有/進捗確認)

成 果

● 最近の話題の共有

- 金融時系列予測における評価指標に応じた損失関数のデザイン
- vLLM を利用した LLM 推論高速化テクニック - Taste of Tech Topics
- ModernBERT のブログを読んでみた感想
- RAG 開発の超入門【Raggle の QuickStart | Python のソースコードあり】

● 進捗確認

- 組込環境で生成 AI
- 低リソースデバイスで AI
- 生成 AI
- 強化学習 (JetBot)
- 強化学習 (分散強化学習)

日 時 2025 年 2 月 18 日 (火) 18:00~19:00

場 所 Web 会議

参加者 5 名/3 社

概 要 第 50 回 WG (情報共有/進捗確認)

成 果

● 最近の話題の共有

- 100 倍速で実用的な文章ベクトルを作れる、日本語 StaticEmbedding モデルを公開 - A Day in the Life
- 新手法「TAID」を用いた小規模日本語言語モデル「TinySwallow-1.5B」の公開
- sbintuitions/modernbert-ja-130m · Hugging Face
- Pytorch Lightning で TabM 学習・予測 #機械学習 - Qiita
- 生成 AI のせいでプログラマーの仕事はなくなる? 「需要はむしろ増える」とティム・オライリー氏 | テクノエッジ

● 進捗確認

- 組込環境で生成 AI
- 低リソースデバイスで AI
- 生成 AI
- 強化学習 (JetBot)
- 強化学習 (分散強化学習)

日 時 2025 年 3 月 18 日(火) 18:00～19:00
場 所 Web 会議
参加者 8 名/3 社
概 要 第 51 回 WG(2024 年度成果報告会)
成 果 2024 年度成果報告会

【事業No.2】技術者育成

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

AI に興味のある技術者を対象に Deep Learning とは何かを理解し、製品に組み入れる技術者の育成

日 時 2024 年 7 月 3 日(水) 18:00～20:00
場 所 Web 会議
参加者 8 名/5 社
概 要 第 1 回セミナー(Deep Learning 基礎)
成 果

- Deep Learning の説明
- Deep Learning の最近の話題
 - MIT Tech Review: AI は「笑い」を取れるか? プロが LLM にネタを書かせた結果
- Python 基礎と MNIST デモを Google Colaboratory で実施

日 時 2024 年 8 月 21 日(水) 18:00～20:00
場 所 Web 会議
参加者 7 名/4 社
概 要 第 2 回セミナー(Deep Learning 基礎)
成 果

- Neural Network の解説
- Neural Network の学習アルゴリズムの説明
- 課題発表に向けたグループ分け

日 時 2024 年 11 月 13 日(水) 18:00～20:00
場 所 Web 会議
参加者 7 名/4 社
概 要 第 3 回セミナー(Deep Learning 基礎)
成 果

- ハイパーパラメータなど学習にあたってのテクニックの解説
- CNN の解説
- Colab で Keras MNIST の学習結果の可視化デモ
- 課題進捗発表

日 時 2025 年 2 月 12 日(水) 18:00～20:00
場 所 Web 会議
参加者 5 名/3 社
概 要 第 4 回セミナー(Deep Learning 基礎)
成 果

- 課題進捗発表

日 時 2025 年 3 月 24 日(水) 17:00～18:00
場 所 Web 会議
参加者 7 名/4 社

概 要 2024 年度成果報告会
成 果
● 2024 年度成果報告会

3. 活動成果/成果物

特記事項なし

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日～6 月 30 日]

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

Deep Learning を既に理解し開発できる技術者とエッジ AI 活用研究

日 時 2025 年 5 月 20 日(火) 18:00～19:00

場 所 Web 会議

概 要 第 52 回 WG

日 時 2025 年 6 月 17 日(火) 18:00～19:00

場 所 Web 会議

概 要 第 52 回 WG

【事業No.2】技術者育成

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

AI に興味のある技術者を対象に Deep Learning とは何かを理解し、製品に組み入れる技術者の育成

日 時 2025 年 6 月 25 日(水) 17:00～18:00

場 所 Web 会議

概 要 2024 年度成果報告会

5. その他特記事項

特記事項なし

プラットフォーム構築委員会

OpenEL 活用 WG

1. 活動概要(2024 年度の事業方針:事業予算案)

OpenEL を国際標準とするためには、優れた仕様だけでは不十分であり、多くのユーザーに使っていただく必要がある。そのためには、多くのユーザーが使用しているプラットフォームに対応するのが得策である。よって、世界で広く利用されているプラットフォームやデバイスへの対応を行うとともに、一般向けの勉強会を開催する。

また、高度化する組み込みシステム開発において品質と効率を上げるモデルベース開発が求められており、上流から下流まで一貫通貫して開発できることが重要である。これを実現するためにも各レイヤーのツールベンダーを巻き込む必要がある。そして、各ツールで OpenEL をサポートすることにより、インタフェースが統一されるため、モデルからソースコードを自動生成し、さらに自動テストまで行うことが可能になる。ゆえに、OpenEL が組み込みシステム開発において上流から下流まで一貫通貫したソリューションを提供する核となる。さらに、組み込みシステムセキュリティ委員会と連携し、セキュリティ対応を目的として仕様を強化する。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

OpenEL の仕様策定、普及・啓発およびその他の活動計画の立案、国際標準化の可能性の検討
組込みソフトウェア開発技術の調査、アクチュエーターやセンサーに関する技術の調査、講師を招
いての勉強会の開催、OpenEL 仕様書の執筆、実装などの具体的な作業を行う。

・第1回 WG

日 時 2024 年 4 月 22 日(月) 16:00～16:40

場 所 JASA 会議室及び WebEx

参加者 10 名/6 社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告

成 果 金沢工業大学からの提案が経済産業省の「令和 6 年度エネルギー需給構造高度化
基準認証推進事業費」(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))に採択
された。

テーマは「募省 6 遠隔制御システム向け IoT プラットフォームに関する国際標準化」

・第2回 WG

日 時 2024 年 5 月 27 日(月) 15:00～16:25

場 所 JASA 会議室及び WebEx

参加者 9 名/5 社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告、

ISO/IEC JTC1/SC41 ヘルシンキ会議発表資料の確認、

技術本部成果発表会資料の確認

・第3回 WG

日 時 2024 年 6 月 24 日(月) 15:00～16:46

場 所 JASA 会議室及び WebEx

参加者 10 名/7 社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告、

ISO/IEC JTC1/SC41 ヘルシンキ会議の結果報告、

技術本部成果発表会の結果報告

・第4回 WG

日 時 2024 年 7 月 22 日(月) 15:00～16:40

場 所 JASA 会議室及び Teams

参加者 10 名/7 社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告、

ISO/IEC JTC1/SC41 国内委員会の結果報告、セミナーの企画・検討、

EdgeTech+West の結果報告

・第5回 WG

日 時 2024 年 8 月 26 日(月) 15:00～17:30

場 所 JASA 会議室及び Teams

参加者 15 名/8 社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告、

ISO/IEC JTC1/SC41 国内委員会の結果報告、セミナーの企画・検討、

APRIS のご案内および最新のロボット制御(Edge Computing を用いたオフロー
ディング技術)の紹介(芝浦工業大学 工学部情報工学科 教授 菅谷みどり先生)

・第6回 WG

日 時 2024 年 9 月 30 日(月) 15:00～17:00

場 所 JASA 会議室及び Teams

参加者 9 名/6 社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告、
セミナー企画 ・ 検討、コモングラウンド委員会の活動紹介

成 果 コモングラウンド委員会の活動内容について有益な議論ができた。

・第 7 回 WG

日 時 2024 年 10 月 29 日(火) 15:25～16:40

場 所 JASA 会議室及び Teams

参加者 10 名/6 社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告、
ISO/IEC JTC1/SC41 中国会議発表資料の確認、セミナー企画 ・ 検討、
EdgeTech+2024 準備

・第 1 回セミナー

日 時 2024 年 11 月 29 日(金) 15:00～16:00

場 所 JASA 会議室及び Teams

参加者 名/社

講演タイトル

スマートホーム機器の新たな共通規格である Matter とは

講演者

ディジインターナショナル株式会社 代表取締役社長 江川将峰様

テュフラインランドジャパン株式会社 シニアエキスパートエンジニア 齋藤修治様

講演概要

欧米を中心にスマートホームの普及が進んでいるもののメーカー毎にバラバラな通信規格は、普及の阻害要因となっていた。その問題を解決するために誕生したのが「Matter」である。Matter とは、CSA(Connectivity Standard Alliance)が推進する業界統一のオープンソース接続規格で、メーカーを問わず、プラットフォームを超えて IoT 機器間のシームレスな通信を可能にするものである。この Matter のプロトコルによりプラットフォームの枠組みを超え、より便利に IoT 機器の操作ができるようになる。本講演では、スマートホーム、CSA(Connectivity Standard Alliance)、Matter、Matter 対応製品、認証プロセスなどについて紹介いただいた。

・第 8 回 WG

日 時 2024 年 11 月 29 日(金) 16:00～17:00

場 所 JASA 会議室及び Teams

参加者 名/社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告、
ISO/IEC JTC1/SC41 中国会議の報告、セミナー企画 ・ 検討、EdgeTech+2024 報告、
Matter に関する議論

・第 9 回 WG

日 時 2024 年 12 月 17 日(火) 15:00～17:00

場 所 JASA 会議室及び Teams

参加者 10 名/7 社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告、
セミナー企画 ・ 検討、2025 年度事業 ・ 予算の検討、大阪 ・ 関西万博出展の検討

・第 10 回 WG

日 時 2025 年 1 月 28 日(火) 15:00～16:17

場 所 JASA 会議室及び Teams

参加者 8 名/5 社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告、
セミナー企画 ・ 検討、2025 年度事業 ・ 予算の検討、大阪 ・ 関西万博出展の検討

・第 11 回 WG

日 時 2024 年 2 月 25 日(火) 15:00～16:00

場 所 JASA 会議室及び Teams

参加者 10 名/7 社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告、
大阪 ・ 関西万博出展の検討

・第 2 回セミナー

日 時 2025 年 2 月 25 日(火) 16:00～17:00

場 所 JASA 会議室及び Teams

参加者 10 名/7 社 + WG 外：7 名

講演タイトル

SLM とエッジ AI コンピューティングの最前線

講演者

東京エレクトロニクス株式会社 クラウド IoT カンパニー

バイスプレジデント 西脇章彦様

部長 北澤知成様

講演概要

東京エレクトロニクスによる本セッションでは、エッジ AI コンピューティング向けに注目されている SLM(Small Language Model、小規模言語モデル)に関する最新技術動向を解説いただいた。また組込み機器向けの SLM 動向ならびにエッジ AI 活用事例について、具体的なデモを交えて紹介いただいた。

・第 12 回 WG

日 時 2024 年 3 月 25 日(火) 15:00～16:30

場 所 JASA 会議室及び Teams

参加者 7 名/4 社

概 要 OpenEL 移植計画の進捗確認、IoT DEP(Data Exchange Platform)の進捗報告、
大阪 ・ 関西万博出展の進捗報告、
デジタルツイン向けデバイスドライバの要求仕様の検討

【事業No.2】EdgeTech+West 2024

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

OpenEL の普及・啓発活動

EdgeTech+West 2024 にて、OpenEL を用いた組込みソフトウェア開発手法の講演およびデモ展示を行う。

・JASA パビリオン内 OpenEL ブースにて、下記のデモ展示及び説明を行った。

1. シマフジ電機 IoT-Engine RZ/T1(SEMB1401)と加速度センサーADXL345 による Azure IoT Hub へのデータ送信
2. OpenEL を使用したロボット制御アプリケーションの箱庭上でのシミュレーション

・OpenEL ブースへの来場者数は、約 100 名

・JASA セミナーにて、「OpenEL が変える組込みシステム開発」と題した講演を行った。

聴講者数は会場:約 20～25 名

【事業No.3】EdgeTech+2024

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

OpenEL の普及・啓発活動

EdgeTech+2024 にて、OpenEL を用いた組込みソフトウェア開発手法の講演およびデモ展示を行う。

- ・JASA パビリオン内 OpenEL ブースにて、下記のデモ展示及び説明を行った。
 1. シマフジ電機 IoT-Engine RZ/T1(SEMB1401)と加速度センサーADXL345 による Azure IoT Hub へのデータ送信
 2. OpenEL を使用したロボット制御アプリケーションの箱庭上でのシミュレーション
 3. OpenEL を使用した ET ロボコン走行体のライントレースデモ
- ・OpenEL ブースへの来場者数は、約 200 名
- ・JASA セミナーにて、「OpenEL が変える組込みシステム開発」と題した講演を行った。
聴講者数は会場:約 30～40 名

3. 活動成果/成果物

- ・金沢工業大学からの提案が経済産業省の「令和 6 年度エネルギー需給構造高度化基準認証推進事業費」(省エネルギー等国際標準開発(国際電気標準分野))に採択された。
テーマは「募省 6 遠隔制御システム向け IoT プラットフォームに関する国際標準化」
- ・ISO/IEC JTC1/SC41 で新規規格の提案が PWI(Preliminary Work Item(予備業務項目))として承認された。

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日]

WG 開催:4/15(火)、5/27(火)、6/24(火)、7/29(火)、8/26(火)、9/30(火)、10/28(火)、11/11(火)、
12/23(火)、2026/1/27(火)、2026/2/24(火)、2026/3/24(火)

5. その他特記事項

報告事項なし。

組込み IoT モデリング WG

1. 活動概要(2024 年度の事業方針)

昨年度 3 月末を持って、メイン WG およびサブ WG もいったん活動を休止することになりました。

※正確には、随時新しい議題があれば開催という形をとっていたのですが、とくに新しい議題もないため、当面休止とすることにしました。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的: サブ WG の運営に関する作業を委託することで、参加者の負担を軽減し、より活動に注力できるようにする。

概要: サブ WG の開催に関する運営業務の委託。具体的には、次の作業(連絡用 ML の管理、会合開催の連絡、当日の出席・進行補佐、議事録の作成、成果物の管理等)。

休止中の為、報告事項なし

【事業No.2】EdgeTech+West2024

目的:WG の活動および成果の訴求

概要:WG 成果物の一部を用いて、展示会で説明を行う。

休止中の為、報告事項なし

【事業No.3】EdgeTech+2024

目的:WG の活動および成果の訴求

概要:WG 成果物の一部を用いて、展示会で説明を行う。

休止中の為、報告事項なし

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日]

WG を終了したため予定なし

組込み DevOps プラットフォーム WG

1.活動概要(2024 年度の事業方針:事業予算案)

組込み業界のための、新時代の総合的な開発支援環境を策定する。DevOps プラットフォームの具体的な開発までの方向性を決定してゆく。

2.各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

・不定期 開催

・経産省の生成 AI 活用などの公募のための、会員有志による会議

2024 年 5 月 27 日、6 月 14、18 日、7 月 8、17、14、24、25 日に開催。

(2024 年 2 月 13、20 日、3 月 11 日に引き続き)

2024 年 9 月 7 日 に開催。

「組込み開発分野での生成 AI 活用」の議論などを、本 WG が中心となって行った。

2024 年 7 月 4 日は、武部専務に同行して、経産省と「組込み開発分野での生成 AI 活用」に関する意見交換を行った。

2024 年 7 月 29 日に「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業／データ・生成 AI の利活用に係る先進事例に関する調査」の”調査類型 2“に応募した。約 1 億 4 千万円強

<https://www.nedo.go.jp/content/100978966.pdf>

書類審査は通過(2024 年 8 月 20 日)。

ヒアリングが 2024 年 9 月 18 日に実施され落選した。



3.活動成果 / 成果物

・CIAJ と JASA の共催セミナー(2024 年 7 月 26 日、於 CIAJ)にて、JASA 組込み DevOps プラットフォームと、組込み開発用の生成 AI などに関して講演

・7 月 29 日に「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業／データ・生成 AI の利活用に係る先進事例に関する調査」の”調査類型 2“に応募した。この予算で開発した生成 AI などは、組込み DevOpsPF に組み込む予定。

成果物

・組込み DevOps PF 仕様(2024 年度版)

・「組込み開発分野での生成 AI 活用」に関する文書

4.今後の予定[2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日]

不定期開催、WEB 会議として開催予定

ハードウェア委員会

デバイス WG

1. 活動概要(2024 年度の事業方針:事業予算案)

1-1. 事業方針

- ①FPGA によるラダー、ROS (JASA 標準 IP の開発)
- ②RISC-V 以外の新技術の習得
- ③新規参入の FPGA ベンダー (Effinix など) の評価ボードを利用して性能比較ならびに RISC-V の実装方法を確立する
- ④組み込みハードウェアのノウハウ集

1-2. 事業予算案

新 FPGA ボードの性能評価、ならびに FPGA 周辺回路の製作

2. 各事業についての報告

大変申し訳ありません。

2024 年 4 月～8 月はデバイスWG主査の都合により活動が出来ておりません。

3. 活動成果/成果物

活動成果、ならびに成果物はありません。

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日]

5. その他特記事項

デバイスWGの活動について、メンバーと 2024 年 11 月 25 日に話し合いを設け竹岡技術本部長が主査を兼任することとなった。

RISC-V WG

1. 活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

【背景】

- ・ RISC-V はオープンかつロイヤリティフリーの ISA (命令セットアーキテクチャであり、組み込み機器では今後ますます重要性を増す認証やデータの安全性を担保するセキュリティ機能についても技術開発が進んでいることから、JASA として押さえておくべき重要技術の 1 つである。
- ・ 一方、実装にはノウハウが必要で、使いこなせるようになるにはノウハウの積み重ねが必要となる。
- ・ 2020～23 年度に会員が自由に利用できる JASA 版 FPGA 用 RISC-V プラットフォームを開発し公開した。

【方針】

1. オープンな仕様で、会員及び業界が自由に活用できる RISC-V プラットフォームを会員の協力で開発する。
2. 外部関連団体との協創など、開発した RISC-V プラットフォームの普及活動を行い、応用範囲を広げる。
3. 上記活動を通して RISC-V コミュニティに貢献するとともに JASA のプレゼンス向上を図る。
 - ・ 今までの FPGA に加え、SoC にて RISC-V プラットフォームを作り、会員が RISC-V を題材に SoC 開

発可能(=追試可能、カスタマイズ可能)な手順にまとめて Web 公開するとともに応用できる環境を整備する。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】 会議(委員会、WG会議)

目的 ・ 委員間での会合（関連委員会、WG メンバー含む）

概要 ・ 毎月定例会を開催する

・ 会員もしくは外部の RISC-V 有識者による勉強会を実施する

表. 月次 WG 開催状況まとめ

#	回次	年	月	日	曜	開催/休会	会社数	学校数	参加者
1	第57回	2024	4	24	水	ハイブリッド開催	8	2	16
2	第58回	2024	5	23	木	ハイブリッド開催	7	2	17
3	第59回	2024	6	27	木	ハイブリッド開催	7	2	14
4	第60回	2024	7	25	木	ハイブリッド開催	6	1	12
5	第61回	2024	8	27	火	ハイブリッド開催	8	2	15
6	第62回	2024	9	24	火	ハイブリッド開催	8	2	13
7	第63回	2024	10	24	木	ハイブリッド開催	10	0	13
8	第64回	2024	11	28	木	ハイブリッド開催	12	2	18
9	第65回	2024	12	18	水	ハイブリッド開催	8	1	13
10	第66回	2025	1	21	火	ハイブリッド開催	9	1	12
11	第67回	2025	2	27	木	ハイブリッド開催	8	1	15
12	第68回	2025	3	26	水	ハイブリッド開催	12	1	18
						延べ合計	103	17	176

第57回 WG

日 時 2024 年 4 月 24 日(水) 15:00～16:40

場 所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催

参加者 8 社, 2 校 / 16 名 (うち 3 名は会議室に集合)

概 要 1. 年次報告資料について

(1) 活動のサマリと成果物

(2) 成果公開ページの状況

2. JASA 版 RISC-V Chip 開発

(1) キャラベルハーネス調査進捗状況の報告

3. 情報共有、その他

・ 今年度の WG 開催日程

成 果 ・ 昨年度の総括の実施

・ 今年度開発の進捗確認

第58回 WG

日 時 2024 年 5 月 23 日(木) 15:00～16:35

場 所 JASA 会議室と WebEX オンラインによるハイブリッド開催

参加者 7 社, 2 校 / 17 名 (うち 4 名は会議室に集合)

- 概 要
1. 調査進捗状況の共有
 2. 次ステップの進め方の方式議論
 3. 情報共有
 - (1) 第 18 回、第 19 回 Web セミナーの件
 - (2) 技術本部成果発表会の件
 - (3) EdgeTech+West 2024 講演の件
 - (4) 機関紙記事の件

- 成 果
- ・ 調査結果の情報共有
 - ・ 進め方のアイデア議論と方向の決定

第 59 回 WG (第 18 回 RISC-V WG 主催 Webinar に続き開催)

日 時 2024 年 6 月 27 日 (木) 16:10~17:10

場 所 JASA 会議室と WebEX オンラインのハイブリッド開催

参加者 7 社, 2 校 / 14 名 (うち 5 名は会議室に集合)

- 概 要
1. 評価の進捗状況報告
 2. 情報共有
 - (1) 第 19 回 Web セミナーの件
 - (2) 技術本部成果報告結果報告
 - (3) EdgeTech+West 2024 展示/講演の件
 - (4) 機関紙記事の件
 - (5) RISC-V Day Tokyo 2024 Summer 講演の件

- 成 果
- ・ 調査状況の情報共有
 - ・ これからの予定に関する情報共有

第 60 回 WG (第 19 回 RISC-V WG 主催 Webinar に続き開催)

日 時 2024 年 7 月 25 日 (木) 16:10~16:48

場 所 JASA 会議室と Teams オンラインによるハイブリッド開催

参加者 6 社, 1 校 / 12 名 (うち 3 名は会議室に集合)

- 概 要
1. 評価の進捗状況
 2. RISC-V Day Tokyo 2024 Summer での展示内容の件
 3. 情報共有
 - (1) EdgeTech+West 2024 展示/講演の結果報告
 - (2) Bulletin JASA 掲載記事の件報告
 - (3) RISC-V Day Tokyo 2024 Summer 講演内容
 - (4) 無料講習会のお知らせ

- 成 果
- ・ 調査状況の情報共有
 - ・ RISC-V Day Tokyo 2024 Summer 展示方針の決定

第 61 回 WG

日 時 2024 年 8 月 27 日 (火) 15:00~16:45

場 所 JASA 会議室と Teams オンラインによるハイブリッド開催

参加者 8 社, 2 校 / 15 名 (うち 5 名は会議室に集合)

- 概 要
1. JASA 版 RISC-V Chip 開発に関する調査状況報告
 2. チゼル勉強会企画
 3. RISC-V Day Tokyo 2024 Summer 報告
 4. 一社)Open SUSI からの提案
 5. ISHI 会からのトピックス

- 成 果 ・チゼル勉強会企画の議論
・Open SUSI 代表理事からのコラボ提案

第 62 回 WG

- 日 時 2024 年 9 月 24 日(火) 15:00～16:35
場 所 JASA 会議室と Teams オンラインによるハイブリッド開催
参加者 8 社, 2 校 / 13 名 (うち 6 名は会議室に集合)
概 要 1. 評価状況について
2. Chisel Workshop について
3. OpenSUSI とのコラボ案について
4. ISHI 会活動の情報共有について
成 果 ・進捗の確認
・Chisel 勉強会の議論
・RISC-V 関連団体との情報共有

第 63 回 WG

- 日 時 2024 年 10 月 24 日(木) 15:00～17:12
場 所 JASA 会議室と Teams オンラインによるハイブリッド開催
参加者 10 社 / 13 名 (うち 5 名は会議室に集合)
概 要 1. OpenSUSI との連携について
2. 評価状況について
3. 情報共有
(1) 第 20 回 Web セミナーの件
(2) EdgeTech+2024 展示及び講演の件
(3) RISC-V Summit 報告
成 果 ・調査状況の情報共有
・進め方のアイデア議論と方向の決定

第 64 回 WG (WG 後に第 20 回 RISC-V WG 主催 Webinar を開催)

- 日 時 2024 年 11 月 28 日(木) 15:00～15:45
場 所 JASA 会議室と Teams オンラインのハイブリッド開催
参加者 12 社, 2 校 / 18 名 (うち 3 名は会議室に集合)
概 要 1. EdgeTech+2024 報告
2. 評価の進捗状況報告
3. eFabless と OpenSUSI について
成 果 ・テープアウト概略日程の決定
・eFabless 発注手段の整理

第 65 回 WG

- 日 時 2024 年 12 月 18 日(火) 15:00～16:35
場 所 JASA 会議室と Teams オンラインによるハイブリッド開催
参加者 8 社, 1 校 / 13 名 (うち 5 名は会議室に集合)
概 要 1. 評価の進捗状況と次ステップの進め方
2. OpenSUSI とのコラボと来年度のプロジェクト案について
3. 来年度予算案の策定
4. 連絡事項等の情報共有
成 果 ・進捗の確認

- ・ 関連団体とのコラボ案策定
- ・ 来年度予算案の策定

第 66 回 WG

- 日 時 2025 年 1 月 21 日 (木) 15:00～17:12
- 場 所 JASA 会議室と Teams オンラインによるハイブリッド開催
- 参加者 9 社, 1 校 / 12 名 (うち 5 名は会議室に集合)
- 概 要
1. 評価の進捗状況と次ステップの進め方
 2. OpenSUSI とのコラボと来年度のプロジェクト案について
 3. 来年度予算案内容の深耕
 4. 来年度 WG 開催日程について
 5. 今年度成果の Web 化する作業の公募内容
 6. 連絡、情報共有等
- 成 果
- ・ 予算案内容の合意
 - ・ 来年度の WG 日程の決定
 - ・ 今年度成果 Web 公開作業の公募内容案合意

第 67 回 WG

- 日 時 2025 年 2 月 28 日 (金) 15:00～15:45
- 場 所 JASA 会議室と Teams オンラインのハイブリッド開催
- 参加者 8 社, 1 校 / 15 名 (うち 3 名は会議室に集合)
- 概 要
1. RISC-V Day 展示報告
 2. 条件付き認可予算と来年度活動計画について
 3. 評価の進捗状況と次ステップの進め方
 4. 今年度成果のまとめ状況について
 5. OpenSUSI, ISHI 会からののお知らせについて
 6. その他連絡事項
- 成 果
- ・ RISC-V Day 状況及び展示実績の情報共有
 - ・ 来年度の進め方につき方向決定
 - ・ 認可された予算に関する情報共有

第 68 回 WG

- 日 時 2025 年 3 月 26 日 (水) 15:00～17:01
- 場 所 JASA 会議室と Teams オンラインのハイブリッド開催
- 参加者 12 社, 1 校 / 18 名 (うち 6 名は会議室に集合)
- 概 要
1. 評価の進捗状況
 2. Freedom コンパイル環境整備について
 3. オープンソースシリコンを取り巻く状況の整理
 4. OpenSUSI, ISHI 会からののお知らせ
 5. その他連絡事項
- 成 果
- ・ eFabless の状況についてメンバの情報共有
 - ・ 活動方針再検討の議論

【事業No.2】 RISC-V プラットフォーム整備

- 目的 ・ JASA 版 RISC-V プラットフォームの整備と会員への成果公開
- 概要 ・ JASA 会員、他の委員会、WG 等でも活用できるプラットフォームとしての整備

- (1) JASA 版 RISC-V SoC 製作
- (2) 上記の製作手順調査並びに製作作業の実施
- (3) 成果の Web コンテンツ化及びそのメンテナンス
- (4) 上記 SoC の評価ボードの設計製作

活動状況

- ・昨年度に、第 1 弾の JASA 版 RISC-V チップ及びプラットフォーム立ち上げまでのステップを以下(a)～(i)のように計画、現在(a) (b) (e)を終了した
- ・(a) (b) (e)からなる調査の結果、eFabless 社によるオープンソース シリコンでのチップ製作につき新しい知見が得られたため、この知見を活かして効率的に計画を進めるために以降の作業内容を見直した
- ・eFabless でのチップ製作に向け、JASA から米国企業への発注面の課題を解決できる OpenSUSI の発注の仕組みで進めることにした
- ・年度末に近い 2 月に eFabless の活動停止との報を受け、他のチップ製作手段について調査を開始した
- ・開発は一旦止め、並行して JASA としてあるべきチップの議論を開始した
- ・作業公募を行い、今年度の検討成果を RISC-V WG ページからリンクされた WG 成果ページにまとめるため、従来公開分もリニューアルして追加公開した

---2023 年度---

- (a) SoC ハーネス機能調査

---2024 年度---

- (b) SoC ハーネスのユーザー回路デバッグ機能調査
- (c) 省電力 SoC 評価用基板設計
- (d) 省電力 SoC 仕様調査
- (e) SoC 論理生成調査
- (f) SoC チップ実装作業
- (g) ファブに提出する GDS-II ファイル払い出し

---2025 年度---

- (h) IOT 基板設計
- (i) RTOS 移植とクラウド接続

【事業No.3】 外部団体との協創活動

- 目的 ・ RISC-V 協会、その他の外部 RISC-V 関連団体との連携活動を行う
- 概要 ・ WG の活動を RISC-V コミュニティで認知されたものにする
 ・ JASA 会員が個別に外部団体に加入しなくても参加できるようにする
 ・ 特に RISC-V 協会と展示会で協創する

- ・ RISC-V 協会主催の RISC-V Day Tokyo 2024 Summer に参画した
 - (1) 「JASA と WG 活動」について講演した（事業#4 の項に詳細を記載）
 - (2) JASA RISC-V WG コーナーブースを構えて関連の展示を行った
 - (3) イベントへの参加を希望する JASA RISC-V WG メンバー（及び JASA 関係者）向けに参加費用が¥0 になるディスカウントコードを発行いただいた
- ・ RISC-V 協会主催の RISC-V Day Tokyo 2025 Spring に参画した
 - (1) WG 活動状況をパネル展示とデモ展示で紹介した（事業#4 の項に詳細を記載）
 - (2) イベントへの参加を希望する JASA RISC-V WG メンバー（及び JASA 関係者）向けに参加費用が¥0 になるディスカウントコードを発行いただいた

- ・産総研が全額出資する AIST Solutions が立ち上げた「一般社団法人 OpenSUSI*」との協創を開始した

(1) OpenSUSI 幹部に RISC-V WG のメンバーとして登録、参画いただいた

(2) WG 主催 Web セミナーに登壇いただいた（事業#4 の項に詳細を記載）

(3) 今後以下の活動をすべく検討中

- JASA と OpenSUSI との正式な連携
- ロングテール半導体(ASIC)のリアルユーザーの共有 ・発掘
- レファレンス ・デザインの共有 ・展開
- オープン ソース シリコンの国内エコシステム構築

※OpenSUSI: Open Source Utilized Silicon Initiatives

【事業No.4】 広報活動

- 目的
- ・ JASA の RISC-V に対する活動を広報する
 - ・ 会員の RISC-V 理解を深める

概要

【(メンバー ・ 会員対象)WG 主催 Web セミナー開催】

- ・ 定例会(メンバー会議)のタイミングで年 6 回程度開催する
- ・ 会員または招聘者による講演、開発の進捗報告等で会員の RISC-V 理解を深める

【展示会出展】

- ・ EdgeTech+West2024, EdgeTech+2024 への出展

(1) RISC-V WG 主催 Webinar の開催

- ・ JASA 会員向けに Webinar を開催した

表. WG 主催 Web セミナー一覧

#	回次	年	月	日	曜	演題・講師	開催の別	参加者
1	第18回	2024	6	27	木	演題：OpenSUSI と ChipsAlliance のご紹介 講師：株式会社AIST Solutions プロデュース事業本部(エッジAI・半導体) プロデューサー 兼 一般社団法人 OpenSUSI 代表理事 岡村 淳一 氏	WebEX開催	33
2	第19回	2024	7	25	木	演題：1ステージ化RISC-V (RV32IM) による電力効率の追求及び その応用について Efinix社 Sapphire SoCとの融合による高効率動作のご紹介 講師：株式会社ウーノラボ 代表取締役 福島 眞粧美 氏	Teams開催	29
3	第20回	2024	11	28	木	演題：IETFのSecurity AREA と関連技術開発の動向 講師：IETF Security Area SUIT WG Co.Chair 塚本 明 氏	Teams開催	21
							合計	83

第 18 回 RISC-V WG 主催 Webinar 開催

日 時 2024 年 6 月 27 日(木) 15:00～16:00

場 所 WebEX によるオンライン開催

演 題 OpenSUSI と ChipsAlliance のご紹介

講 師 岡村 淳一 氏

株式会社 AIST Solutions プロデュース事業本部(エッジ AI ・半導体)

プロデューサー 兼 一般社団法人 OpenSUSI 代表理事

参加者 33 名

概 要

以下の項目につきご講演いただいた

- ・オープンソースシリコンによるデバイス開発をサポートする、日米のNPO団体である OpenSUSI と ChipsAlliance の活動と今後の展開

第19回 RISC-V WG 主催 Webinar 開催

日 時 2024年7月25日(木) 15:00～16:00
 場 所 Teams によるオンライン開催
 演 題 1 ステージ化 RISC-V (RV32IM) による電力効率の追求及びその応用について
 Efinix 社 Sapphire SoC との融合による高効率動作のご紹介
 講 師 福島 眞粧美 氏
 株式会社ウーノラボ 代表取締役
 参加者 29 名
 概 要
 以下の項目につきご講演いただいた
 ①1 ステージコアの技術紹介：福島氏
 ②応用例として「Ti375 にサブシステムとして 1 ステージコアを実装する」：桜田氏
 ③Efinix 様からのお知らせ：河端氏

第20回 RISC-V WG 主催 Webinar 開催

日 時 2024年11月28日(木) 16:00～17:00
 場 所 Teams によるオンライン開催
 演 題 IETF の Security AREA と関連技術開発の動向
 講 師 IETF Security Area SUIT WG Co.Chair 塚本 明 氏
 参加者 21 名
 概 要
 以下の項目につきご講演いただいた
 ・ IETF の Security AREA と関連技術開発の動向としてセキュアブート、OTA、SBOM 管理、氏が Co. Char を務める SUIT (Software Update for IoT) 等

(2) JASA 技術本部成果発表会で 2023 年度成果を報告

日 時 2024年6月21日(金) 16:50～
 場 所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅日本橋 12 階 12A 会議室
 演 題 2023 年度 RISC-V WG 成果報告
 発表者 RISC-V WG 主査 / 株式会社日立産機システム 小檜山 智久
 概 要 2023 年度の活動成果を報告した
 成 果 最優秀賞をいただいた

(3) RISC-V 協会主催「RISC-V Day Tokyo 2024 Summer」のセミナーに登壇

- ・ RISC-V 協会からの要請により講演を請け、さらにパネル展示とデモ展示を行った

日 時 2024年8月1日(水) 13:00～13:20
 場 所 東京大学 伊藤国際学術研究センター 地下 2 階
 多目的スペース特設ステージ
 演 題 JASA RISC-V チップ計画
 講 師 RISC-V WG 主査 / 株式会社日立産機システム 小檜山 智久
 概 要 以下の項目について講演した
 (1) JASA と RISC-V WG について
 (2) 今年度展示会のご紹介
 (3) RISC-V WG の活動の概要

(4) EdgeTech+West2024でコーナー展示とJASA技術本部セミナー講演を実施

・展示

日 時 2024 年 7 月 11 日 (木)～12 日 (金)

概 要 パネル展示

・講演

日 時 2024 年 7 月 12 日 (金) 11:15～12:00 (J1_02)

場 所 EdgeTech+West2024 講演会場 Room4

演 題 JASA 技術本部セミナー(2)

オープンな仕様で会員が自由に活用できる RISC-V プラットフォーム整備へ

講 師 RISC-V WG 主査 / 株式会社日立産機システム 小檜山 智久

概 要 以下の項目について講演した

(1)RISC-V とは

(2)JASA RISC-V WG について

(3)RISC-V WG の活動の概要

(4)今年度の展示会 JASA の紹介及び JASA RISC-V WG の位置づけ紹介

(5) EdgeTech+2024でコーナー展示とJASA技術本部セミナー講演を実施

・展示

日 時 2024 年 11 月 20 日 (水)～22 日 (金)

概 要 パネル展示及びデモ機展示

・講演

日 時 2024 年 11 月 12 日 (金) 15:30～16:00 (S3-08)

場 所 EdgeTech+2024 アネックスホール F202

演 題 JASA 技術本部セミナー

JASA 版カスタムチップ作りへの挑戦と RISC-V 関連団体との協創

講 師 RISC-V WG 主査 / 株式会社日立産機システム 小檜山 智久

概 要 以下の項目について講演した

(1)JASA について

(2)JASA RISC-V WG の活動について

(3)RISC-V プラットフォーム開発の狙い

(4)まとめ

(6) RISC-V 協会主催「RISC-V Day Tokyo 2025 Spring」に出展

・ RISC-V協会からの要請により出展した

日 時 2025 年 2 月 27 日 (木) 9:00～18:00

場 所 東京大学 伊藤国際学術研究センター 地下 2 階
多目的スペース

概 要 以下について展示した

(1) JASA RISC-V WG 活動のパネル展示

(2) FPGA 版 RISC-V デモ展示

(3) SoC 版 RISC-V デモ展示

3. 活動成果 /成果物 [2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日]

1. 月次定例 WG を 12 回(全てを Teams と JASA 会議室のハイブリッド)で開催し、のべ 103 社 17 校 176 名の参加があった
2. JASA 会員向け RISC-V WG 主催 Webinar を 3 回オンラインで開催し、83 名の参加があった
3. 昨年度までの 3 か年の成果に加え、今年度の JASA 版 RISC-V チップ製作に係る調査結果を閲覧できる Web コンテンツとしてまとめ、リニューアル公開した
4. 2024 年度の成果を技術本部成果報告会で報告し、最優秀賞を受賞した
5. EdgeTech+West 2024 の JASA 本部セミナーで RISC-V WG を紹介した
6. 同 JASA コーナーにパネル展示した
7. RISC-V 協会主催 RISC-V Day Tokyo 2024 Summer で講演を行った
8. 同 RISC-V Day Tokyo 2024 Summer に JASA 成果のデモ機を展示した
9. EdgeTech+2024 の JASA 本部セミナーで RISC-V WG の活動を紹介した
10. 同 JASA コーナーでパネル展示とデモ機展示を行った
11. RISC-V 協会主催 RISC-V Day Tokyo 2025 Spring でデモ機を展示した
12. 一社) OpenSUSI との協創活動を開始した



4. 今後の予定 [2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日]

1. WG/Web セミナー開催
 - ・第 69 回 2025 年 4 月 23 日 (水) 15:00～
 - ・第 70 回 2025 年 5 月 29 日 (木) 15:00～
 - ・第 71 回 2025 年 6 月 25 日 (水) 15:00～
 - ・第 72 回 2025 年 7 月 23 日 (水) 15:00～ 第 21 回 Webinar
 - ・第 73 回 2025 年 8 月 27 日 (水) 15:00～
 - ・第 74 回 2025 年 9 月 24 日 (水) 15:00～ 第 22 回 Webinar
 - ・第 75 回 2025 年 10 月 22 日 (水) 15:00～
 - ・第 76 回 2025 年 11 月 26 日 (水) 15:00～ 第 23 回 Webinar
 - ・第 77 回 2025 年 12 月 17 日 (水) 15:00～
 - ・第 78 回 2026 年 1 月 28 日 (水) 15:00～ 第 24 回 Webinar
 - ・第 79 回 2026 年 2 月 25 日 (水) 15:00～
 - ・第 80 回 2026 年 3 月 25 日 (水) 15:00～ 第 25 回 Webinar

※月例 WG は 5 月、12 月を除き、毎月第 4 水曜日に開催

5. その他特記事項

- ・EdgeTech+2024 にて 3 年目となる「チップミュージアム mini++」を展示した

ET 事業本部

1. 活動概要(2024 年度の事業方針)

JASA の基盤事業として、成長性のある収益事業として発展させる。
 コロナ禍により、JASA の収益の柱である展示会事業がさまざまな課題に直面しているため、以前のような、JASA の強固な収益事業とすべく、新たな展示会としての姿を目指す。

①応用分野の取込み

応用分野を持つ他の展示会や団体との共同開催を図ることで、展示会の規模・内容を強化

②若手来場者の取込み

新たな経済・社会活動を担う若手エンジニアを呼び込むべく、企画・運営体制を刷新

③業界団体ならではのコンテンツ提供

コミュニティのHUB、産業界や社会課題への提案など、業界団体主催ならではの新たな価値を提供

④魅力あるオンライン展示会の実現

with コロナを見据えた、実効力あるオンライン展示の実現とリアル展示との融合化

⑤営業力と出展社支援の強化

大小間向け営業施策の強化と、小間向けの出展支援で、出展社数の大幅増を実現

2.各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

ET 事業本部の運営全般

本部会、推進委員会、各WG(展示会WG、カンファレンスWG)の開催

EdgeTech+及びEdgeTech+Westの企画運営等について、本部会、推進委員会、カンファレンスWG、展示会事務局との運営会議等を適宜開催し、事業遂行と各種企画イベント、カンファレンス構築等を協議した。併せて、企画イベント立案、出展営業戦略等を検討。

- ・出展戦略・営業状況確認
- ・特別企画等「オートモーティブ・ソフトウェアエキスポ」、他
- ・テーマゾーン・パビリオン企画、JASAパビリオンの企画運営
- ・カンファレンス構築と実施要領等
- ・Awardの選考・表彰
- ・会期中の運営要領及び各種イベント実施
- ・会期後の実施報告と今後の運営に向けた提言取り纏め

ET2024カンファレンス委員会の体制、メンバーを刷新し、より集客できるカンファレンスの提供を目指した。

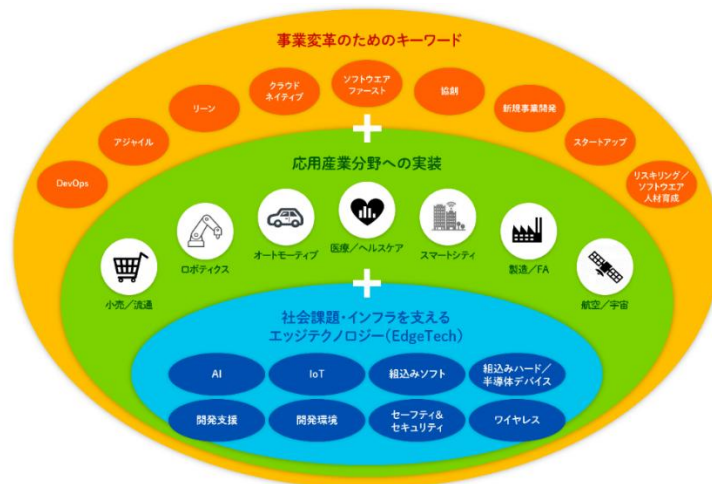
○フェロー(旧委員会メンバーがフェローに就任)

●AI/生成AIアドバイザリーボード

●DXアドバイザリーボード

●オートモーティブソフトウェアエキスポアドバイザリーボード

- ・会期後の実施報告と今後の運営に向けた提言取り纏め



【事業No.2】EdgeTech+West 2024

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
EdgeTech+West 2024 展示会実施に伴う運営委託費等

EdgeTech+West 2024 開催報告
会期 2024 年 7 月 11 日(木)~12 日(金)
会場 グランフロント大阪 北館 B2F コングレコンベンションセンター
コンセプト エッジテクノロジーに新たなプラスで加速する DX と事業変革

来場者数 ()は前回数
来場者数 7 月 11 日(木) 2,883 名(1,886 名)
7 月 12 日(金) 3,002 名(2,483 名)
会場来場者総数 5,885 名(4,379 名)

出展規模 125 社・団体(121 社・団体) 131 小間(131 小間)
カンファレンス 38 セッション(42 セッション)

オンライン開催 | 2024 年 7 月 29 日(月)~8 月 23 日(金)
聴講参加 3,434 名
会場来場者+オンライン: 総来場者数=9,319 名

【事業No.3】EdgeTech+2024

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算)
EdgeTech+2024 展示会実施に伴う運営委託費、事業収入等

EdgeTech+2024 開催報告概要
会期 11 月 20 日(水)~22 日(金)10:00-17:00(21 日は 18:00 迄)
会場 パシフィコ横浜:展示ホール/アネックスホール
イベントコンセプト
事業変革期を迎えた今、エッジテクノロジーに新たなプラスで顧客起点の価値創出を
実現するイベントへ
EdgeTech+2024 [AI/生成 AI で加速する事業変革と産業 DX]
特別企画
「オートモーティブ ソフトウェア エキスポ / Automotive Software Expo」
「画像認識 AI Expo 2024 Fall」,「オープンイノベーションサミット」,「JASA パビリオン」

会期 11 月 20 日(水) ~ 22 日(金)10:00-17:00 (21 日は 18:00 迄)
会場 パシフィコ横浜 展示ホール/ANNEX
来場者数報告 ()は前回数
来場者数 11 月 20 日(水) 8,189 名 (9,206 名)
11 月 21 日(木) 13,837 名(12,969 名)
11 月 22 日(金) 10,401 名(10,953 名)
会場来場者総数 32,427 名(33,128 名)
※初日天候悪化の影響で来場者数が微減

出展社数 343 社・団体(342 社・団体)
カンファレンス数 144 セッション (150 セッション)
カンファレンス 基調講演、オートモーティブ、テーマ別セミナー、JASA セミナー
特別企画 オートモーティブソフトウェアエキスポ、Smart & OT Security Zone

EdgeTech+AWARD 2024、オープンイノベーションサミット横浜
チップミュージアム、EdgeTech+フェスタ、交流祭典 2024 in 関東
ET ロボコン 2024、仮説検証ブートキャンプ

オンライン会期 2025 年 1 月 6 日(月) ～ 1 月 31 日(金)

聴講参加 18,851 名

会場来場者+オンライン：総来場者数＝ 51,278 名

【事業No.4】CES2025参加

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

今後のEdgeTech+運営アイデア獲得のためのCES2025参加

【事業No.5】CES2025ツアー企画

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

会員に向けたJASAならではの情報・付加価値を付けたCESガイドツアーを提供

CES2025 は参加者の訪米スケジュールが確保できず、参加を断念。

CES2026 にて再度検討する。

3. 活動成果/成果物

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日]

EdgeTech+West2025 2025 年 7 月 24 日(木) ～ 25 日(金)

EdgeTech+2025 2025 年 11 月 19 日(水) ～ 21 日(金)

5. その他特記事項

プラグフェスト実行委員会

1. 活動概要(2024 年度の事業方針)

Society 5.0 は、IoT で全ての人とモノが繋がり、情報共有が必要となるが、現在家電業界に於いて世界的に普及している HDMI も根本的な思想は同様で、同一のインタフェースで全ての機器が等しく繋がり、双方向で情報共有を行っている唯一の規格である。

日本プラグフェストは、この HDMI の相互接続検証を日本で実施することを基本とし、国内外の家電メーカーに対し接続検証の場を設け、技術的な課題の共有や品質の向上に努めている。

日本プラグフェストで培われた経験を活かし、Society 5.0 の実現に向け IoT で全ての人とモノが繋がるには何をすべきかを、JASA 会員企業の視点とは別の視点から考察することで課題を克服し易くし、新しい価値の創造を行えるようフィードバックを実施する。

また、日本プラグフェストで使用しているプラットフォームを流用し、Society 5.0 の実現に向けた実証実験や相互検証の場を提供することも検討する。

日本プラグフェスト参加の企業に対しては、JASA 会員企業の認知度の向上及び ET 展への周知や情報提供を行うことで、そのプレゼンスを上げていくことも目的とする。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】会議(委員会、WG会議)

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

実施計画策定のミーティングを実施

【事業No.2】日本プラグフェスト 春季

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

HDMI 規格にて接続試験を実施

第 25 回 プラグフェスト 春開催

開催日時 2024 年 5 月 30 日(木) 10:00～18:30

2024 年 5 月 31 日(金) 10:00～17:00 ※2 日間にわたり開催

開催場所 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

参加人数 45 名 13 社

【事業No.3】日本プラグフェスト秋季

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

第 26 回 プラグフェスト 秋開催

開催日時 2024 年 11 月 28 日(木) 11:30～18:30

2024 年 11 月 29 日(金) 10:00～17:00 ※2 日間にわたり開催

開催場所 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター

参加者 20 社 45 名

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日]

HDMI 規格にて接続試験を実施

第 27 回 プラグフェスト 春開催

開催日時 2025 年 5 月 29 日(木) 11:30～18:30

2025 年 5 月 30 日(金) 10:00～17:00 ※2 日間にわたり開催

開催場所 横浜シンフォステージ ウェストタワー5 階

V 支部報告

北海道支部

1. 活動概要(2024年度の事業方針:事業予算案)

支部会員を増やす

セミナー開催

支部会の開催

2. 各事業についての報告

【事業No.1】支部運営会議 支部会議

目的・業務概要(セミナー開催計画打合せ)

2024年第1回JASA北海道支部会

日 時 2024年4月11日(木曜日)17:00~18:00

場 所 HIS ホールディングス株式会社 5階会議室

出席者 8名

- 概 要
- 1) 北海道支部の来期予算確定
 - 2) 北海道セミナー開催について
 - 3) 各社サブ要員の紹介について
 - 4) その他

2024年第2回JASA北海道支部会

日 時 2024年6月13日(木曜日)17:00~18:00

場 所 HIS ホールディングス株式会社 5階会議室

出席者 9名

- 概 要
- 1) 仮設検証ブートキャンプ
 - 2) 実践リーダー研修 2024
 - 3) 技術本部成果発表会(無料)
 - 4) 海外視察研修／台湾視察案内
 - 5) EdgeTech+ WEST(大阪)開催のご紹介
 - 6) 全国の行事日程
 - 7) 北海道セミナーについて
 - 8) その他

2024年第3回JASA北海道支部会

日 時 2024年7月26日(木曜日)17:00~18:00

場 所 HIS ホールディングス株式会社 5階会議室

出席者 10名

- 概 要
- 1) ET ロボコンについて
 - 2) JASA北海道セミナー
 - 3) その他

2024年第4回JASA北海道支部会

日 時 2024年8月21日(水曜日)17:30~18:00

場 所 魚桜-咲- G ダイニング 6階

出席者 11名(会員候補会社 3社)

- 概 要
- 1) JASAの紹介
 - 2) JASA北海道セミナーの募集について

3) その他

2024 年第 5 回 JASA 北海道支部会

日 時 2024 年 10 月 10 日(木曜日)17:00～18:00

場 所 HIS ホールディングス株式会社 5 階会議室及び Web 会議

出席者 10 名

概 要 1)JASA 北海道セミナー結果
2)ロボコン北海道大会結果
3)その他

2024 年第 6 回JASA北海道支部会&忘年会

日 時 2024 年 12 月 02 日(月曜日)17:00～20:00

場 所 魚桜-咲-

出席者 18 名

概 要 1)JASA北海道新会員について
2)EdgeTech+ 2024 について
3)その他(忘年会及び新会員との懇親会も兼ねて開催しました)

2024 年第 7 回JASA北海道支部会&忘年会

日 時 2025 年 2 月 13 日(木曜日)17:00～18:00

場 所 HIS ホールディングス株式会社 1 階会議室&WEB参加

出席者 12 名

概 要 1)北海道支部の来期予算(確定ではありません)
2)JASA北海道支部予定及び関連行事について
3)北海道セミナー開催について
4)北海道支部の体制について
5)北海道支部会員を増やす
6)その他

【事業No.2】国内外視察調査

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

事業計画なし

【事業No.3】技術セミナー

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

日 時 2024 年 9 月 15 日(木曜日)14:30～19:00

場 所 TKP ガーデンシティ札幌駅前

講 演 「DX を実現するための、生成 AI 活用のヒント

～AI 浸透後の社会を妄想する」

講師 中川 郁夫(株式会社ソシオラボ代表 大阪大学、招へい准教授)

講 演 「AI＋半導体で創出する北海道の新産業」

講師 山本 勉(北海道大学 名誉教授・総長特命参与)

<交流会(懇親会)>

ビジネス交流会

(結果)

来賓

8 名

(経済産業省 北海道経済産業局、札幌市経済観光局、
一般社団法人 北海道 IT 推進協会、札幌圏情報産業事業協同組合、
UOS 北海道支部)

講演者 2 名 (株式会社ソシオラボ 中川郁夫、北海道大学 山本 強)
運営関係者 8 名
セミナー参加者(56 名)(32 社)
計 74 名の参加

【事業No.4】その他セミナー

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)
事業計画なし

【事業No.5】研究会

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)
事業計画なし

【事業No.6】交流会

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)
事業計画なし

【事業No.7】ET/ETWEST/ETロボコン等 イベント参加

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

ET ロボコン : 日 時 2024 年 9 月 15 日(日曜日)12:00~19:00

場 所 函館未来大学

概 要 主催者としての挨拶

北海道会員 2 社参加予定

(結果)

参加チームがプライマリークラス 3 チーム、アドバンス
クラス 2 チームと少し 寂しい感じでした。(函館だったこ
とも影響しているかも知れません)

3. 活動成果 /成果物

12 月より DIT 様が支部会員になりました。

1 社が入会申込をして頂きました。

1 月よりCNS北海道様が会員になりました。

目標 10 社まであと 3 社。

4. 今後の予定[2025 年 04 月 01 日~2025 年 5 月 31 日]

●日 時 2025 年 04 月 10 日(木曜日)17:00~18:00

場 所 HIS ホールディングス株式会社 1 階会議室&WE B 参加

出席者 12 名予定

概 要 1)セミナー準備

2)その他

5. その他特記事項

東北支部

1. 活動概要(2024 年度の事業方針 : 事業予算案)

支部会員増と支部活動の活性化

2. 各事業についての報告

【事業No.1】支部運営会議 支部会議

支部会員相互の交流を図ると共に会員企業の発展に寄与する。

●第1回支部会議

1. 日 時 2024年8月26日(月) 10:15～12:45
2. 場 所 株式会社イーアールアイ会議室
3. 参加者 10名(本部：専務理事、事務局長、
支部：CIC、ビッツ、コア、イーエムエス、ERi)
4. 内 容 今後の東北支部のあり方について、会員間情報交換
5. 成 果 次年度以降の東北支部の体制・活動の方向性についての意見交換および、会員企業の最近の動向等の共有が出来た

●第2回支部会議

1. 日 時 2024年11月21日(木) 14:00～15:00
2. 場 所 パシフィコ横浜内会議室
3. 参加者 8名(本部：専務理事、事務局長／支部：CIC、ビッツ、コア、ERi)
4. 内 容 最近のJASA活動内容報告、会員間情報交換
5. 成 果 最近のJASA活動内容の理解および、会員企業の最近の動向等の共有が出来た

●第3回支部会議

1. 日 時 2024年12月20日(金) 15:00～17:00
2. 場 所 (株)ビッツ 東北事業所
3. 参加者 9名(本部：事務局長／支部：CIC、ビッツ、コア、EMS、ERi)
4. 内 容 ・25年度計画及び予算
・25年度支部体制
5. 成 果 25年度の計画・予算及び支部体制(支部長、副支部長、事務局含む)の大枠を決めることができた
(当初1月開催を予定していたが、前倒しで12月開催とした)

【事業No.2】国内外視察調査
計画なし

【事業No.3】技術セミナー

目的:会員企業にとり最先端の技術動向の提供を行い事業発展に貢献

●第1回:概要:IoT, AI等に関するセミナーを開催

1. 日 時:2024年8月26日(月) 13:30～17:00
2. 場 所:いわて県民情報交流センター アイーナ会議室
3. 開催方法:リアル、WEBのハイブリッド開催
4. 主催者等:主催者:盛岡市
JASA 東北支部共催、ビジネス交流委員会との共同開催
5. 内 容
 - ・タイトル「AI活用とKintone事例で学ぶ、成功する中小企業のDX」
 - ・講演① テーマ「DXを実現する為の、生成AI活用のヒント
～AI浸透後の社会を妄想する」
講演者 株式会社ソシオラボ 代表取締役 中川 郁夫氏
 - ・講演② テーマ「おとなりさんから学ぶ! kintone活用ストーリー」
講演者 サイボウズ株式会社 東北営業G 所長 田澤 宏尚氏
 - ・JASA紹介
6. 受講者:52名(内訳:リアル:31名／WEB:21名 事務局含む)

●第2回:概要:IoT, AI等に関するセミナーを開催

1. 日 時:2024年11月21日(木) 13:00～14:00

- 2.場 所:パシフィコ横浜内会議室
- 3.開催方法:リアル開催
- 4.内 容
 - ・講演テーマ「センサー・動画・自然言語の統合による行動分析」
 - 講演者 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 堀川 三好教授
 - ＊講演後に EdgeTech 展展示ブースへ出向きデモを見ながらの意見交換
- 5.受講者:9 名

【事業No.4】その他セミナー
計画なし

【事業No.5】研究会
計画なし

【事業No.6】交流会
計画なし

【事業No.7】EdgeTech+/EdgeTech+WEST/ETロボコン等 イベント参加
●2024 年 9 月 22 日(日) ETロボコン東北地区大会支援
JASA 東北支部より JASA 東北支部賞を 2 団体へ提供

3. 活動成果 /成果物

- 2024 年 5 月 17 日および 7 月 24 日に東北支部会員および本部事務局にて次年度以降の支部体制及び活動の方向性の意見交換を行った。これを受け、8 月 26 日の支部会議にて再度、その内容確認を行い、今後の支部活動の一つの方向性を示すことが出来た。
- 2024 年 12 月 20 日の支部会議にて 25 年度の計画・予算及び支部体制(支部長、副支部長、事務局含む)の大枠を決めることができた

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日～6 月 30 日]

特記事項なし

5. その他特記事項

特記事項なし

関東支部

1. 活動概要(2024 年度の事業方針)

- ①関東支部会員相互のビジネスに有用な場を提供する。
 - ②関東を拠点とするメリットを最大限に生かし、JASA 本部との連携を密とした組込みシステム事業を推進する。
- JASA 活動への”のべ参加率”100%、共に新入会員 5 社を達成目標とする。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】支部運営会議 支部会議
目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)
目的:支部企画運営、および支部会議運営推進
概要:支部企画運営 WG(原則月例)、および支部会議(例会)開催

1.支部会議

8 月度

日 時 2024 年 8 月 22 日(木)15:00～17:15
場 所 ハイブリット開催:TKP ガーデンシティ浜松町
参加者 現地 43 名
プログラム

15:00～15:05 支部長あいさつ
15:05～16:00 講演 「組込みエッジにおけるマシン知覚アプリケーション
のためのマルチモーダル LLM」
BeEmotion.ai 社 Colin Mason 氏
16:15～17:00 講演 「スズキがこれから目指すモビリティ連携基盤に
ついて紹介」
スズキ株式会社 次世代モビリティサービス本部 モビリティ連携
基盤担当 主幹 杉村 嘉秋氏
17:00～17:10 新入会企業紹介
17:10～ アンケート記入、終了

12 月度

日 時 2024 年 12 月 12 日(木) 15:00～17:30 (交流会 17:30～)
場 所 TKP 東京駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム 1A
参加者 40 名
講 演①VR の未来像(講談社 VR ラボの取り組み)」
石丸健二 氏(株式会社講談社 VR ラボ 代表取締役)
講 演②「この国の” アップサイクル” を加速する」
藤巻 圭 氏(appcycle 株式会社 代表取締役 / CEO)

3 月度

日 時 2025 年 3 月 6 日(木)16:30～17:00
場 所 WEB 会議(JASA 会議室)
議 案 2025 年度事業計画及び予算
2025 年度・2026 年度 支部長互選

本人出席・賛成・委任状併せ 54 社 過半数により、議案全てが承認された。

2.WG

(1)5 月度企画WG

日 時 2024 年 5 月 15 日(水)17:00～17:45
場 所 JASA 会議
参加者 会議室 6 名
議 題
1. 8 月 22 日支部会議について
2.勉強会
3.BBQ について
4.その他

(2)6 月度企画WG

日 時 2024 年 6 月 19 日(水)17:00～17:45
場 所 ハイブリット開催(JASA)
参加者 会議室 9 名 WEB 1 名
議 題
1. 8 月 22 日支部会議について

- 2.勉強会
- 3.BBQ について
- 4.その他

(3)7 月度企画WG

日 時 2024 年 7 月 17 日(水)17:00～17:30

場 所 ゼロソフト会議室

参加者 会議室 9 名 WEB 1 名

議 題

- 1. 8 月 22 日支部会議について
- 2.勉強会
- 3.BBQ について
- 4.その他

(4)8 月度企画WG

日 時 2024 年 8 月 7 日(水)17:00～17:45

場 所 インサイトワン会議室

参加者 会議室 9 名 WEB 1 名

議 題

- 1. 8 月 22 日支部会議について
- 2.経営者分科会について
- 3.国内視察について
- 4.その他

(5)9 月度企画 WG

日 時 2024 年 9 月 4 日(水)17:00～17:45

場 所 JASA 会議室

参加者 会議室 9 名 WEB 1 名

議 題

- 1.12 月支部会議について
- 2.国内視察について
- 3.その他

(6)10 月度企画 WG

日 時 2024 年 10 月 9 日(水)17:00～17:45

場 所 コンセプトアンドデザイン会議室

参加者 会議室 10 名

議 題

- 1.12 月支部会議について
- 2.国内視察について
- 3.経営者分科会について
- 4.その他

(7)11 月度企画 WG

日 時 2024 年 11 月 6 日(水)17:00～17:45

場 所 JASA 会議室

参加者 会議室 9 名

議 題

- 1.12 月支部会議について
- 2.国内視察について
- 3.経営者分科会について

4.その他

(8)12 月度企画 WG

日 時 2024 年 12 月 4 日(水)17:00～17:45

場 所 CIC 会議室

参加者 会議室 9 名 WEB 1 名

議 題

1. 12 月支部会議について
2. 経営者分科会について
3. 勉強会について
4. その他(来年度事業計画・予算作成について)

(9)1 月度企画 WG

日 時 2025 年 1 月 22 日(水)17:00～17:45

場 所 JASA 会議室

参加者 会議室 10 名 WEB1 名

議 題

1. 来年度事業計画について
2. 経営者分科会について
3. 勉強会について
4. その他

(10)2 月度企画 WG

日 時 2025 年 2 月 19 日(水)17:00～17:45

場 所 コア会議室

参加者 会議室 10 名 WEB1 名

議 題

1. 3 月支部会議について
2. 来年度計画
3. その他 経営者分科会について(報告)
勉強会について(報告)

【事業No.2】国内視察調査

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

目的 新規ビジネス検討、会員間相互交流の創出

概要 国内外企業、学術団体等を視察し、新規ビジネス検討／会員間相互交流を創生

日 程 2024 年 11 月 14 日(木)、15 日(金)に近畿支部と共同で実施

参加者 関東支部 14 名/ 12 社

近畿支部 13 名/ 11 社

視察日程:

14 日(木)

沖縄科学技術大学院大学(OIST)にてキャンパスツアー

IT 津梁パークにて概要説明と質疑応答

ホテルチェックイン 夕食 沖縄県庁を招き、関東・近畿合同で懇親会

15 日(金)

ResorTech EXP0 in Okinawa 視察

一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センターの概要説明と質疑応答

【事業No.3】技術セミナー

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

実施計画なし

【事業No.4】その他セミナー

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

第1回関東支部勉強会

「Z世代とのコミュニケーション術」

開催日時:2024年6月27日(木)15:00～17:00

開催場所:ソーバル大会議室

参加者:8社14名

第2回関東支部勉強会

「相談に乗る力」

開催日時:2025年2月14日(金)15:00～17:00

開催場所:ソーバル大会議室

参加者:11社25名

【事業No.5】研究会

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

事業計画なし

【事業No.6】交流会

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

異業種交流 BBQ Party

開催日時:2024年7月27日(土)12:00～14:00

開催場所:ITALIAN BBQ CARVINO 東京ドームシティ店

参加者:31名

【事業No.7】EdgeTech+/EdgeTech+West/ETロボコン等 イベント参加

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

事業計画なし

3. 活動成果 / 成果物

中部支部

1. 活動概要(2024年度の事業方針:事業予算案)

- ①本部及び本部事業との情報連携による、組込みシステム技術の普及啓発を行う。
- ②中部支部の特性を生かした事業を推進し、会員相互の親交の場を提供する
- ③中部地域における官公庁及び関連機関との情報交流を行い、地域産業の活性化を推進する。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】支部運営会議 支部会議

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

支部運営会議を5月と12月に実施し、事業案及び予算案の周知と会員の要望の確認
定例会を4回程度実施し、実施事業の内容決定や実績確認を行う

・支部会議

日時 2024年5月15日(水) 16:00～19:30

場所 ザ サイプレス メルキュールホテル

参加者 16名/11社

概 要

2023 年度の事業報告と 2024 年度の事業計画について議論をし講演会では中部経産局 柳沢係長様から「経済産業省の DX 推進施策について」お話していただいた後、懇親会を開催した。

成 果

久しぶりに中部経産局から支部会議、講演会に参加していただき、情報交換ができるとともに会員相互の懇親がはかれた

日 時 2024 年 11 月 20 日(水) 13:30～19:00

場 所 ザ サイプレス メルキュールホテル

参加者 25 名/9 校・10 社

概 要 名古屋の大学や専門学校の就職担当を招いて第一回就職情報交換と懇親会を開催。

スケジュール

13:30 懇談会

1.学校紹介 各校 5 分程度

2.企業紹介 各社 5 分程度

休憩

3.フリートーク

17:00 懇親会

成 果

学校 9 校、人事側 10 社 25 名の参加があり、まずまずも第一歩を踏み出すことができた。学校関係参加者や人事関係参加者とも有意義な会であったとお褒めの言葉をいただき、安堵した。実際 24 年度卒業者の紹介や人事担当者が学校を訪問することが決まったりした。次年度も今回の経験を活かし、更なる充実を図る。

日 時 2014 年 12 月 3 日(火) 17:30～17:55

参加者 8 社/10 名 奥村事務局長、佐藤

議 事 1. 令和 6 年度事業中間報告

2. 令和 7 年度事業計画・予算の件

講演会

1. アジャイル研究会の活動報告

2. 海外視察報告

忘年会(18:00～19:50) 8 社/14 名参加

年度の活動と今後の活動に関し熱心に議論いただき、活動報告を 2 件確認していただいた。また久しぶりに参加された萩原名誉会長をはじめとして、和気あいあいの忘年会となった。

【事業No.2】国内外視察調査

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

- ・国内の他地域の情報産業事情と協業の可能性を調査するとともに地場情報産業団体や企業との交流をする。東北地方を検討する
- ・東アジアを中心とする海外の情報産業の実情及び協業の可能性を調査するとともに交流などを介して中堅管理者の海外経験を積むこと
- ・国内視察調査を 11 月に計画をしていたが参加会社が少なく延期した
- ・海外視察調査 台北訪問(コンピュテックスを中心に)

日 時 6 月 4 日(火)～7 日(金)

場 所 台北、新竹

4 日 名古屋→台北 コンピュテックス台北視察

5 日 コンピュテックス台北視察 台北企業人と懇親会

- 6 日 台湾工業技術院訪問(新竹)と TSMC などサイエンスパーク内の企業の外観を見学
7 日 自由時間 台北→名古屋

成 果

コンピュテックスはテーマを AI 中心に据え、従来よりかなり盛況であった。併設された InnoVEX はスタートアップの展示会で今年は前回訪問した Tiwan Tech Arina (TAA)などの多数のアクセラレータが大きなエリアを確保し、日本をはじめとする世界に門戸を開いており、台湾のスタートアップに対する新規ビジネスに対する注力の度合いがうかがわれた。工業技術院訪問では AI 関係の研究内容の紹介をしていただき、議論ができた。AI 開発の最前線の成果に触れることができ、参加者にとってはよい経験になったと思う。

【事業No.3】技術セミナー

- 目的:・組込みシステム技術の現状と今後についての解説及び普及・啓発を図る
・地元大学教授(名古屋大学 高田教授)を講師に招き、自動車 DX の象徴でもある SDV について、その意義や課題について解説
・経産省・国交省のモビリティ DX 戦略の取り組みや、名古屋大学における Open SDV Initiative の取り組みについて紹介
・海外視察調査 台北訪問(コンピュテックスを中心に)
日時 6 月 4 日(火)~7 日(金)
場所 台北、新竹
4 日 名古屋→台北 コンピュテックス台北視察
5 日 コンピュテックス台北視察 台北企業人と懇親会
6 日 台湾工業技術院訪問(新竹)と TSMC などサイエンスパーク内の

3. 活動成果 /成果物

Bulletin JASA 7 月号に海外視察調査報告「台北国際コンピュータ見本市 Computex Taipei 視察報告」を投稿した

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日~2025 年 5 月 31 日]

2025 年 5 月 16 日 支部会議 講演会 懇親会 ザ サイプレス メルキュールホテル名古屋

5. その他特記事項

特になし

北陸支部

1. 活動概要(2024 年度の事業方針: 事業予算案)

ともに支部活動および JASA 活動に関わる連携先を増やし、地域産業への貢献度向上を目指した活動展開。

- 1)地域における関係業界団体との連携活動の推進。
- 2)支部活動広報を兼ねた、人材育成・交流活動の推進。

2. 各事業についての報告

【事業No.1】支部運営会議 支部会議

【事業No.2】国内外視察調査

【事業No.3】技術セミナー

【事業No.4】その他セミナー

【事業No.5】研究会

【事業No.6】交流会

【事業No.7】JASA 活動広報、会員獲得活動、ET ロボコン参加啓蒙活動

・e-messe KANAZAWAへのブース出展。

2024/5/16(木)～17(金) 金沢市・石川県産業展示館 1 号館 <https://www.e-messe.jp/>

【テーマ】繋げる願い 広がる未来 ICT で作る新しい世界

【主 催】一般社団法人石川県情報システム工業会

総来場者数:

リアル会場 6,657 名 出展:83 社団体 当方対応社団体数:20

3. 活動成果 /成果物

なし

4. 今後の予定

北陸支部会員の次年度転属について。

株式会社インテック 関東支部へ

株式会社アフレル 近畿支部へ、関東支部(支部会員)継続

5. その他特記事項

なし

近畿支部

1.活動概要(2024 年度の事業方針:事業予算案)

JASA ビジョン 2030 に則り、ローカルな支部としての価値を追求し、会員企業同士が交流できるポイントとしての活動を志す。懇親会以外にも各種セミナーや国内視察などについても各社の交流がより進むような仕掛けを工夫していく。また他団体の交流が近年できていなかったため、本年度は他団体との交流も積極的に企画斡旋していきたい。

2.各事業についての報告

【事業No.1】支部運営会議 支部会議

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

目的:支部事業計画に基づいた具体案の検討と本部・支部事業の連絡および報告、
官公庁・関連団体との情報共有

概要:4 月には前年度活動報告及び決算報告、新年度の活動計画及び予算案を確認する。
また春セミナーの案内、WG 活動の報告会を行う。6 月は春セミナーの活動報告、
EdgeTech+west の周知、近畿経済産業局との意見交換を行う。9 月には秋セミナーの
案内、EdgeTech+の周知、国内視察の案内を行う。12 月には近畿経済産業局との意見
交換、国内視察報告、他団体連携状況報告及び次年度事業検討、3 月は次年度予算
と事業計画について確認し、近畿圏での活動報告会等を行う。

(1)第 1 回支部会議

日 時 2024 年 4 月 17 日(水) 15:30～17:30

場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 701 号室

参加者 27 名/ 20 社

概 要

支部会議

1. 新年度事業方針説明
2. 小野副支部長の選任について
3. 春季セミナーについて
 - ① 営業セミナー
 - ② 総務セミナー
 - ③ 技術セミナー
4. 関連本部活動の案内
 - ① 実践リーダー
 - ② AI研究WG
 - ③ AI研究セミナー
 - ④ OSS活用WG
5. EdgeTech+west2024 について
6. 第 224 回理事会の報告
7. 近畿支部の移転について
8. その他(入退会案内等)

WG発表会

1. 実践リーダー研修選抜チーム発表
2. AI研究セミナー選抜チーム発表
3. OSS活用WG選抜チーム発表

(2)第 2 回支部会議

日 時 2024 年 6 月 19 日(水) 15:30～17:30

場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 906 号室

参加者 13 名/ 13 社

概 要

第一部 支部会議

1. 第 226 回理事会の報告
2. 第 38 回社員総会の報告
3. 春季セミナーの報告
 - ① 営業セミナー
 - ② 総務セミナー
 - ③ 技術セミナー
4. 関連本部活動の案内と報告
 - ① 実践リーダー
 - ② AI研究WG
 - ③ AI研究セミナー
 - ④ OSS活用WG
5. EdgeTech+west2024 関連の連絡
6. 国内視察について
7. 海外視察について
8. ゴルフコンペについて
9. その他(入退会案内等)

第二部 近畿経済産業局との意見交換

近畿経済産業省 近畿経済産業局
地域経済部 次世代産業・情報政策課
竹村祐樹 様
小松希大 様

2025NEXT 関西企画室

石原康行 様

(3)第 3 回支部会議

日 時 2024 年 9 月 18 日(水) 19:00～21:00

場 所 KPG RIVER CRUISE(大阪屋形船)

参加者 28 名/ 17 社

概 要

支部会議

1. 第 227 回理事会の報告
2. EdgeTech+West2024 報告
3. 秋季セミナーの案内
 - ① 営業セミナー
 - ② 総務セミナー
 - ③ 技術セミナー
4. 交流祭典 2024
5. 国内視察の案内(沖縄)

(4)第 4 回支部会議

日 時 2024 年 12 月 11 日(水) 15:30～17:30

場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 906 号室

参加者 26 名/21 社

概 要

支部会議

1. 第 227 回理事会の報告
2. 秋季セミナーの報告
 - ① 営業セミナー
 - ② 総務セミナー
 - ③ 技術セミナー
3. 国内視察研修の報告
4. 関係 WG の報告
 - ① 実践リーダー研修
 - ② AI 研究/OSS 活用
5. EdgeTech+2024 の報告
6. 交流祭典 2024 の報告
7. 賀詞交歓会の案内
8. その他(入退会案内等)
 - ① 株式会社 D-Ace 大阪支社 様
 - ② 株式会社 bubo 様

意見交換会

・近畿経済産業局との意見交換

経済産業局 近畿経済産業局

地域経済部 次世代産業・情報政策課

課長 土屋 貴史 様

情報化推進係長 中村 祐介 様

(5)第 5 回支部会議

日 時 2025 年 3 月 12 日(水)

場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 906 号室

参加者 17 名/ 16 社

概 要

支部会議

1. 第 228 回理事会の報告
2. 25 年度事業について
3. 支部役員の選任について
4. 関係 WG の報告/成果発表会について
 - ① 実践リーダー研修
 - ② AI 研究/OSS 活用

5. 賀詞交換会の報告
6. その他(入退会案内等)

【事業No.2】国内外視察調査

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

目的:国内外の組込みシステム技術の調査、現地の経済情勢を視察

概要:国内視察として地方の組込みシステム技術と地方情勢に関する調査及び意見交換を行い、組込みシステム技術の普及啓発に寄与する。

これまで近畿支部で実施してきた海外視察は役目を終えたと判断し、今後は国際委員会に任せることにする。

(1)国内視察研修

日 時 2024 年 11 月 14-15 日(木、金)

行き先 沖縄

参加者 関東支部 14 名/ 12 社

近畿支部 13 名/ 11 社

【事業No.3】技術セミナー

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

目的:技術担当社員の情報収集、技術啓発

概要:春季と秋季の 2 回、組込みシステム技術に関する先端の技術についてセミナーを実施し、技術担当社員の技術啓発や人材育成を行う。

講師の支払報酬を負担し、企業の枠を超えた研修の場を提供する。

(1)春季技術セミナー

日 時 2024 年 5 月 29 日(水) 15:30~16:30

場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 906 号室

参加者 15 名/ 8 社

講 演 「IoT 技術を使ったソリューション事例
～Cagou 誕生からソリューション化までの軌跡～」

講 師 株式会社コア 関西カンパニー

蛭原孝之氏

概 要 弊社製品のにおいセンサ(Cagou)の誕生から現状までのソリューション製品化までの取り組みを発表させていただき、内容として無線技術、AWS の活用等を取り入れることで技術的な面にも触れていこうと考えております。

(2)秋季技術セミナー

日 時 2024 年 10 月 23 日(水) 16:30~17:30

場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 906 号室

参加者 37 名/ 8 社

講 演 「生成 AI with AWS ～AWS で始める生成 AI への取り組み～」

講 師 株式会社コア 関西カンパニー 賀恩徳氏

アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 田中里絵氏

概 要 生成 AI を運用する上でのガイドラインと AWS の最新生成 AI 技術を紹介します。

生成 AI の可能性とビジネス活用方法について具体的な事例を交えて解説していきます。

【事業No.4】その他セミナー

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

目的:総務・管理部門担当社員及び営業担当社員の人材育成

概要:総務セミナーと営業セミナーのそれぞれについて春季と秋季の 2 回、各方面から講師を招聘し、総務・管理部門担当社員及び営業担当社員を対象とするセミナーを実施する。講師の支払報酬を負担し、組込みシステムに特化した会員企業では比較的貧弱な

分野である技術以外の分野へのスキルアップ、情報収集に役立てる。

(1)春季総務セミナー

日 時 2024 年 6 月 5 日(水) 16:30～17:30
場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 906 号室
参加者 18 名/ 10 社
講 演 「部下を自立させる究極の人材育成」
講 師 株式会社 FYS コンサルティング 高橋光久氏
概 要 1) 人材育成ができない本当の理由
2) 人を動かすにはどうしたらいいのか
3) 人をやる気にさせるリーダーのあり方とやり方
4) 人を心から動かす重要なこと

(2)春季営業セミナー

日 時 2024 年 5 月 22 日(水) 15:30～16:30
場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 901 号室
参加者 11 名/ 6 社
講 演 「お客様との関わり方で、700 週間連続で紹介頂ける様になった訳」
講 師 プルデンシャル生命保険株式会社
エグゼクティブ・ライフプランナー 営業部長 樋口 順一氏
概 要 大手企業がひしめく競争の激しい生命保険業界において「お客様獲得の極意は紹介である」と語る樋口氏による日々のお客様との関わり方(Core Values,Vision,Mission,Strategy)、行動管理、そして習慣化により顧客獲得数を伸ばすことができた大変興味深いお話です

(3)秋季総務セミナー

日 時 2024 年 10 月 23 日(水) 16:20～17:35
場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 901 号室
参加者 11 名/ 6 社
講 演 「部下のモチベーションを高める 1on1 ミーティング術」
講 師 アドベンチャーリンク 代表兼メイントレーナー 前田裕輔氏
概 要 部下との信頼関係を築き、組織全体の活性化につなげるための 1on1 ミーティング術を学びます。部下に話させることの重要性を体感し、日々のマネジメントに活かせるスキルを習得します。
1)1on1 が上手いいかない 3 つのポイント
2)1on1 を通じて相手のやる気を高める
3)1on1 ミーティングの 3 つの実践パターン

(4)秋季営業セミナー

日 時 2024 年 10 月 23 日(水) 16:30～17:30
場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 907 号室
参加者 16 名/ 6 社
講 演 「生成 AI の今とこれから～生成 AI 活用のヒントとコツ～」
講 師 NTT コミュニケーションズ株式会社 吉國大稀氏
概 要 生成 AI の基礎を学び応用事例を中心とした最新の動向を知ることで、会員企業における今後のビジネス企画のヒントやビジネス展開のコツなどを掴んでいただきます。

【事業No.6】交流会

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

目的:会員企業社員相互の親睦や他団体との交流を図る

概要:4 月には次世代の経営層を見据えた親睦会、9 月には納涼月見会を実施する。

また 12 月には忘年会、1 月には他団体と合同での賀詞交歓会を行う。

大阪万博を見据え官公庁及び関連団体との交流を密に情報収集し、また開催イベント

に協賛して地域の活性化に寄与する。

(1)懇親会

日 時 2024 年 4 月 17 日(水) 18:00～20:00
場 所 兆-KIZASHI-
参加者 55 名/ 23 社

(2)夏季ゴルフコンペ

日 時 2024 年 7 月 20 日(土)
場 所 グランベール京都ゴルフ倶楽部 イーストコース
参加者 10 名/ 7 社

(3)月見会

日 時 2024 年 9 月 18 日(水) 18:00～20:00
場 所 KPG RIVER CRUISE(大阪屋形船)
参加者 28 名/ 17 社

(4)ゴルフコンペ

日 時 2024 年 12 月 10 日(火)
場 所 ダイヤモンド滋賀カントリークラブ
参加者 10 名/ 6 社

(5)忘年会

日 時 2024 年 12 月 11 日(水) 18:00～
場 所 博多味処いろは 北新地店
参加者 35 名/ 20 社

(6)賀詞交歓会 (8 団体合同)

団 体 KEIS、JISA、JASA、WAKASA、KCA、HISCO、Ruby 協、SP21
日 時 2025 年 1 月 23 日(木)
場 所 大阪科学技術センタービル 8 階
参加者 JASA:23 名/ 15 社 全体:220 名/126 社

(7) 春季ゴルフコンペ

日 時 2025 年 3 月 15 日(土)
場 所 枚方国際ゴルフ倶楽部

【事業No.7】ET/ETWEST/ETロボコン等 イベント参加

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

目的:支部会員の ET 出展を促進する

概要:JASA ビジョン 2030 を見据え会員企業のビジネスマッチング推進として、7 月に予定させている Edge Tech + west への支部会員の出展を斡旋する。

(1) Egde Tech + west

日 時 2024 年 7 月 11-12 日(木-金)
場 所 グランフロント大阪

3. 活動成果 /成果物

特記事項なし

今後の予定[2025 年 5 月 1 日～2025 年 6 月 30 日]

【事業No.1】支部運営会議 支部会議

(1)第 2 回支部会議

日 時 2025 年 7 月 2 日(水)
場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 906 号室

【事業No.3】技術セミナー

(1) 春季技術セミナー
日 時 2025 年 5 月 28 日(水)
場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 901 号室

【事業No.4】その他セミナー

(1) 春季総務セミナー
日 時 2025 年 6 月 11 日(水)
場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 901 号室
(2) 春季営業セミナー
日 時 2025 年 6 月 18 日(水)
場 所 アットビジネスセンター大阪梅田 901 号室

5.その他特記事項

特記事項なし

九州支部

1.活動概要(2024 年度の事業方針：事業予算案)

これまでの九州支部事業実績と「JASA ビジョン 2030」および「JASA3 か年計画」を踏襲し、以下を遂行していく。

- (1)九州地区の特性を活かした事業を推進し、会員企業への貢献と組込みシステム技術の普及啓発を行う。
- (2)九州地区における官公庁及び関連機関との情報交流を行い、地域産業の活性化へ寄与する。
- (3)モノづくりフェアへ JASA 九州支部にて出展する

2.各事業についての報告

【事業No.1】支部運営会議 支部会議

目的・業務概要(事業計画詳細：事業予算案)
支部事業について報告及び検討・調整を行う。
また、会員間の情報交換・交流を図る。

(1) 第 1 回支部会議

日 時 2024 年 6 月 27 日(木) 16:30～17:30
場 所 オンライン(Zoom)
参加者 11 名/5 社
概 要 1)活動計画 2)モノづくりフェア 2024 3)JASA 理事会 4)その他
成 果 各議題についての情報共有や意見交換を行った

(2) 第 2 回支部会議

日 時 2024 年 9 月 18 日(水) 16:30～17:30
場 所 (株)コア 会議室
参加者 4 名/3 社
概 要 1)モノづくりフェア 2024
2)JASA 理事会
3) 国内外優良企業視察
4)その他
成 果 各議題についての情報共有や意見交換を行った

(3) 第 3 回支部会議

都合がつかず非開催

(4) 第4回支部会議

日 時 2025年3月12日(水) 16:30~17:30

場 所 ㈱コア 会議室

参加者 9名/4社

概 要 1) JASA 九州支部長の交代
2) モノづくりフェア 2025
3) JASA について
4) その他

成 果 各議題についての情報共有や意見交換を行った

JASA 本部から武部専務理事をお呼びし、JASA の意義、活動について改めてご紹介いただいた。

【事業No.2】国内外視察調査

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

2024 年度としては実施しない方針とし、2025 年度実施に向けて議論を行った。

【事業No.3】技術セミナー

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

モノづくりフェア 2024 内で行われた以下のイベントに JASA として参加。

これについては各委員会や本部より別途報告。

・JASA 九州地域交流セミナー2024(セミナー、交流会)

【事業No.4】その他セミナー

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

事業計画なし

【事業No.5】研究会

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

事業計画なし

【事業No.6】交流会

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

事業計画なし

【事業No.7】EdgeTech+/EdgeTech+WEST/ETロボコン等 イベント参加

目的・業務概要(事業計画詳細:事業予算案)

(1)モノづくりフェア 2024 出展

九州支部事業として、以下の展示会へ九州会員企業 3 社と
近畿地区企業 1 社、JASA の委員会 1 つが出展。

日 時 2024 年 10 月 16 日(水)~8(金) 10:00~17:00(最終日は 16:00)

場 所 福岡マリンメッセ B 館

出展者 柳井電気工業株式会社

株式会社コア

株式会社メック

近畿地区企業 1 社

・大阪エヌデーエス

コモングラウンド委員会

3. 活動成果 /成果物

該当事項なし

4. 今後の予定[2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日]

【事業No.1】支部運営会議 支部会議 2025 年 5 月、8 月、11 月、2026 年 2 月

【事業No.2】国内外視察調査 優良企業視察

【事業No.3】技術セミナー 協業セミナー開催検討(ビジネス交流委員会と連携)

【事業No.7】イベント参加 モノづくりフェア 2025 で JASA ブース出展

5. その他特記事項

該当事項なし

VI 事業報告の附属明細書

2024年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成しない。

2024年度財務諸表

令和 6 年度

財 務 諸 表 等

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

一般社団法人 組込みシステム技術協会

目 次

(ページ)

I. 財務諸表

- 1. 貸借対照表 1
- 2. 正味財産増減計算書（損益計算書） 2～3
- 3. 財務諸表に対する注記 4

II. 財務諸表の附属明細書 5

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(第2号議案) 2024年度財務諸表(案)の承認について

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	218,504,235	191,876,708	26,627,527
未収会費	320,000	0	320,000
未収入金	3,353,886	13,280,487	△ 9,926,601
前払費用	808,330	742,179	66,151
貸倒引当金	△ 21,000	△ 78,000	57,000
流動資産合計	222,965,451	205,821,374	17,144,077
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	23,758,185	36,107,085	△ 12,348,900
特定資産合計	23,758,185	36,107,085	△ 12,348,900
(2) その他固定資産			
建物附属設備	2,266,615	2,520,068	△ 253,453
機械装置	3	3	0
器具備品	9	98,315	△ 98,306
ソフトウェア	1,765,867	2,247,467	△ 481,600
電話加入権	324,056	324,056	0
差入敷金保証金	6,157,080	6,157,080	0
長期預金	50,000,000	50,000,000	0
その他固定資産合計	60,513,630	61,346,989	△ 833,359
固定資産合計	84,271,815	97,454,074	△ 13,182,259
資産合計	307,237,266	303,275,448	3,961,818
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	983,448	1,339,017	△ 355,569
未払法人税等	13,752,500	11,289,500	2,463,000
未払消費税等	2,686,400	2,908,500	△ 222,100
前受会費	2,860,000	5,180,000	△ 2,320,000
前受金	3,232,927	2,392,527	840,400
預り金	688,526	548,491	140,035
流動負債合計	24,203,801	23,658,035	545,766
2. 固定負債			
退職給付引当金	23,758,185	36,107,085	△ 12,348,900
固定負債合計	23,758,185	36,107,085	△ 12,348,900
負債合計	47,961,986	59,765,120	△ 11,803,134
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
	259,275,280	243,510,328	15,764,952
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	259,275,280	243,510,328	15,764,952
負債及び正味財産合計	307,237,266	303,275,448	3,961,818

正味財産増減計算書（損益計算書）

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

（第2号議案）2024年度財務諸表（案）の承認について

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	(8,347)	(643)	(7,704)
特定資産受取利息	8,347	643	7,704
② 受取会費	(39,902,666)	(37,959,332)	(1,943,334)
正会員受取会費	35,982,666	34,039,332	1,943,334
賛助会員受取会費	3,920,000	3,920,000	0
③ 事業収益	(168,370,739)	(165,288,769)	(3,081,970)
普及啓発等事業収益	135,479,350	125,491,000	9,988,350
その他事業収益	32,891,389	39,797,769	△ 6,906,380
④ 受取補助金等	(266,356)	(766,884)	(△ 500,528)
受取国庫補助金	266,356	766,884	△ 500,528
⑤ 雑収益	(585,338)	(782,291)	(△ 196,953)
受取利息	346,338	208,006	138,332
雑収益	239,000	574,285	△ 335,285
経常収益計	209,133,446	204,797,919	4,335,527
(2) 経常費用			
① 事業費	(115,281,425)	(123,126,664)	(△ 7,845,239)
役員報酬	12,810,000	13,608,000	△ 798,000
給与手当	14,318,374	17,525,760	△ 3,207,386
退職給付費用	3,650,368	2,226,712	1,423,656
退職金共済掛金	247,200	312,000	△ 64,800
福利厚生費	3,990,823	4,553,600	△ 562,777
会議費	3,146,691	1,784,344	1,362,347
旅費交通費	5,675,598	4,946,521	729,077
通信運搬費	1,237,662	1,399,226	△ 161,564
減価償却費	481,600	160,533	321,067
消耗品費	779,200	660,363	118,837
印刷製本費	2,940,568	4,383,732	△ 1,443,164
賃借料	1,506,648	1,815,582	△ 308,934
支払報酬	4,238,983	7,448,121	△ 3,209,138
支払手数料	303,256	644,519	△ 341,263
新聞図書費	38,462	54,450	△ 15,988
水道光熱費	203,002	300,254	△ 97,252
租税公課	173,800	2,000	171,800
会合費	8,179,332	8,409,014	△ 229,682
E D P 費	1,337,010	1,453,742	△ 116,732
業務委託費	49,836,121	51,338,561	△ 1,502,440
広報費	158,733	64,900	93,833
保険料	20,950	730	20,220
雑費	7,044	34,000	△ 26,956

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
②管理費	(64,280,261)	(57,561,296)	(6,718,965)
役員報酬	9,390,000	8,592,000	798,000
給与手当	13,956,974	10,549,340	3,407,634
退職給付費用	1,694,161	1,620,768	73,393
退職金共済掛金	232,800	168,000	64,800
福利厚生費	4,391,590	1,804,463	2,587,127
会議費	1,311,803	3,408,046	△ 2,096,243
旅費交通費	1,806,579	1,379,340	427,239
通信運搬費	605,507	529,749	75,758
減価償却費	949,559	1,622,648	△ 673,089
消耗品費	130,264	170,970	△ 40,706
印刷製本費	93,470	104,036	△ 10,566
賃借料	7,523,736	7,214,802	308,934
支払報酬	7,410,634	7,136,200	274,434
支払手数料	200,728	186,967	13,761
新聞図書費	83,016	96,816	△ 13,800
水道光熱費	309,304	328,556	△ 19,252
租税公課	8,136,300	7,304,550	831,750
会合費	1,334,260	1,276,400	57,860
E D P 費	1,977,428	1,552,387	425,041
業務委託費	462,000	462,000	0
広報費	10,000	76,000	△ 66,000
諸会費	1,969,375	1,669,375	300,000
保険料	237,928	233,262	4,666
貸倒引当金繰入	0	21,000	△ 21,000
雑費	62,845	53,621	9,224
経常費用計	179,561,686	180,687,960	△ 1,126,274
評価損益等調整前当期経常増減額	29,571,760	24,109,959	5,461,801
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	29,571,760	24,109,959	5,461,801
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	29,571,760	24,109,959	5,461,801
法人税、住民税及び事業税	13,806,808	11,321,449	2,485,359
当期一般正味財産増減額	15,764,952	12,788,510	2,976,442
一般正味財産期首残高	243,510,328	230,721,818	12,788,510
一般正味財産期末残高	259,275,280	243,510,328	15,764,952
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	259,275,280	243,510,328	15,764,952

財務諸表に対する注記

(第2号議案) 2024年度財務諸表(案)の承認について

- (1) 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 令和2年5月15日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法(ただし、当年度は該当なし。)
- ①満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)
 - ②その他の有価証券
 - a. 時価のあるもの……期末日の市場価格等に基づく時価法
 - b. 時価のないもの……移動平均法による原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
- ①建物 ……………定額法による。
 - ②建物附属設備 ……………定額法(平成28年3月31日以前取得分は定率法)による。
 - ③機械装置 ……………定率法による。
 - ④器具備品 ……………定率法による。
 - ⑤ソフトウェア ……………定額法による。
- (4) 引当金の計上基準
- ①退職給付引当金………期末要支給額の一部を外部積立てし、残額を債務に計上している。
 - ②貸倒引当金………法人税法に基づく繰入限度額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (6) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、原則として通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当預金	36,107,085	5,344,529	17,693,429	23,758,185
合 計	36,107,085	5,344,529	17,693,429	23,758,185

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する 額)
退職給付引当預金	23,758,185	0	0	23,758,185
合 計	23,758,185	0	0	23,758,185

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	4,823,555	2,556,940	2,266,615
機械装置	1,467,680	1,467,677	3
器具備品	4,050,090	4,050,081	9
ソフトウェア	4,052,000	2,286,133	1,765,867
合 計	14,393,325	10,360,831	4,032,494

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
技術協力活用型・新興国市場 開拓事業補助金	経済産業省	—	266,356	266,356	—	—
合 計		0	266,356	266,356	0	

財務諸表の附属明細書

(第2号議案) 2024年度財務諸表(案)の承認について

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退職給付引当預金	36,107,085	5,344,529	17,693,429	23,758,185
	特定資産計	36,107,085	5,344,529	17,693,429	23,758,185

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	78,000	0	0	57,000	21,000
退職給付引当金	36,107,085	5,344,529	17,693,429	0	23,758,185


監査報告書

一般社団法人 組込みシステム技術協会

会長 竹内 嘉一 殿

令和7年 5月 9日

監事

場田 英貴 

監事

小森谷 豊 

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 財務諸表及びその附属明細書の監査結果

財務諸表及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上